

・景気の現状に対する判断理由等

景気の現状に対する判断の理由及びそれに対する追加説明等について、その主だったもの及び特徴的と考えられるものを取りまとめると以下のとおりであった。

1. 北海道（地域別調査機関：（株）北海道二十一世紀総合研究所）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (北海道)	良く なっている	住宅販売会社 (経営者)	お客様の様子	・円安や株高の影響で消費が上向いてきており、消費税が上がる前の駆け込み需要も徐々に出てきている。
	やや良く なっている	商店街（代表 者）	お客様の様子	・天候に左右される日が続いているが、気温のかなり低い日が続いたため、今月前半から半ばにかけて冬物がかかり消化でき、特に単価の高いコートが売れ続けた。また、春物を探している客が多く、春物の動きも比較的早い。
		一般小売店〔土 産〕（経営者）	お客様の様子	・大雪による交通の寸断が多い中でも、前年売上をクリアしている。台湾、香港からの観光客に加えて、シンガポールやタイからも観光客が訪れるようになった。また、市内では大雪の影響で除雪の回数が増えており、建設業者の笑い声が聞こえるほどである。
		コンビニ（エリ ア担当）	来客数の動き	・工事現場従業員の来店が増加している。
		家電量販店（地 区統括部長）	販売量の動き	・前年は、地上デジタル放送への完全移行後にテレビの不振が継続していたが、ここへきて回復傾向にある。
		乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・来客数が増加しており、自社の販売は順調である。他業種でも受注量の増加がみられることから、やや良くなっている。
		乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・周りの競合店も販売台数が増えてきており、暖かくなるにつれて、全体的に景気が上向いてきている。
		乗用車販売店 (営業担当)	販売量の動き	・受注量が増加している。新年になってからも、前年末の予測を10%程度上回る状況が続いており、メーカーが今年の計画を上方修正する動きもみられる。
		自動車備品販売 店（店長）	来客数の動き	・クッションやマット、芳香剤等の車内用品の動きが前年よりも良い。客の車も新しい車両が目につくことが多く、買換えよりも新規購入が増えている。
		スナック（経営 者）	来客数の動き	・前年や前々年と比べると客が増えており、やや良くなっている。
		観光型ホテル (経営者)	来客数の動き	・冬のイベントと中華圏の春節が重なったことから、今月の来客数は改善した。しかし、前月の反動で増えている部分もあり、3か月前に比べて本当に景気が良くなっているか判断に難しい面がある。
		観光型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・大型イベントやスポーツ団体の宿泊客を効率良く取り込むことができた。
		旅行代理店（従 業員）	お客様の様子	・3～4月の旅行商品に駆け込みでの依頼が目立つ。
		旅行代理店（従 業員）	来客数の動き	・1月半ばに流水が接岸し、東京～女満別線の供給座席数が増えたこともあり、2月の流水観光が好調である。また、前年に続き、春の甲子園に当地区の高校が出場することで、地域に明るい話題を提供している。
	タクシー運転手	来客数の動き	・2月は例年より雪が多く、寒い日も多かった。天候の影響もあるが、雪まつりなどのイベントに前年よりも多くの人を訪れているため、タクシー1台当たりの売上も前年より5%程度増えている。	
	美容室（経営 者）	販売量の動き	・前年12月から前年比5%増の売上が持続しており、今月も同じような勢いが続いている。客の来店周期も若干短くなっている。	
	住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・分譲マンションのモデルルームを訪れる客の数が増加傾向にあるなど、客が活発に動いている。このような状況の中、分譲マンションの販売戸数も順調に伸びている。	
	変わらない	商店街（代表 者）	来客数の動き	・来客数が減っている。例年のない寒さと雪が要因となっている。
		商店街（代表 者）	お客様の様子	・今月は例年のない豪雪の影響で、高齢者が多く来街する商店街にとっては来街者が少なくなっている。また、観光客も減少している。
		商店街（代表 者）	お客様の様子	・客の中でも景気が上向いているとも下がっていると判断が付かない状況にある。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		商店街（代表者）	来客数の動き	・スケート等の大会及び合宿が組まれていないため、当地への来街者はビジネスを除きほぼゼロの状態である。そのため、交通、宿泊、土産等の売上は伸びていない。また、円安及び株高の影響で景気が上向くとの希望も聞かれるが、農産物等の輸出時期にはまだ早い一方で、寒冷地である当地の実生活は原油価格等の高騰により厳しくなっており、地域住民の足も商店街から遠のいている。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・中国人客は相変わらず減っている。その代わり、流水が早く来たことで日本人の来客数は若干増加している。売上は前年の80%程度である。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・景気の高揚感があるが、円安が進み、資材関係が値上がりしたため、納入単価や資材の値上げ要請があり、難しい状況にある。特に北海道は大雪の影響で客が家から出ようとしなため、消費への影響は多大である。
		一般小売店 〔酒〕（経営者）	単価の動き	・ここ数か月、販売量がより不振の傾向にあるが、前月からは客単価も非常に低下してきており、より安い商品にシフトする傾向が顕著に表れている。
		百貨店（売場主任）	お客様の様子	・冬物のコート、ジャケット、ニット、パンツといった商材の販売量が前年実績を10%以上上回っている。例年であれば、2月下旬から春物の動きも出てくるが、今年は特に寒いこともあり、冬物バーゲンの動きが好調である。
		百貨店（売場主任）	来客数の動き	・前年の悪天候によるマイナス分を今年のプラス要因として見込んでいたが、2月24日現在の売上は前年並みとなっている。前年よりも営業日数が1日減るため、2月の売上予測は前年比95%の見通しとなっている。買上客数も2月24日現在で前年比98.7%と前年割れが続いている。
		百貨店（販売促進担当）	単価の動き	・記録的な大雪と低温の影響で、来客数に大きな影響が出ている。また、客単価も低下傾向にあり、雪害の影響が収まるまで、しばらくこの傾向が続く。
		百貨店（販売促進担当）	それ以外	・プレタブランドの値上げ直前の駆け込み需要が全体を押し上げているものの、特需的な要因を除いた全体的な基調に変化はない。円安にともない灯油やガソリンが値上がりしている影響で、客が余計なものを買控えている。
		百貨店（役員）	単価の動き	・全体としての景気が良くなっているとは感じないが、先日行われたホテル催事においてクレジット客の客単価が前年比130%を超えた。宝飾品や時計の高額品が売れていた。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・前月に引き続き販売量が前年比91%となっており、3か月前と比較しても数値は右肩下がりで足踏み状態にある。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・世間で言われているような株高や円安の動きは、まだ現場まで波及してきていない。販売量の動きは相変わらずあまり良くない。
		スーパー（企画担当）	単価の動き	・販促チラシを出す頻度が相変わらず高く、特売価格の強度にあまり変化のない中で、一部食品品の値上げが発表されている。ガソリン代、電気料金の値上げ等もあり、足元の動きは景気対策の効果よりも家計の圧迫要因の影響が大きい。
		スーパー（役員）	来客数の動き	・2月に入り、過去数か月と異なり、来客数が前年比で1%前後上回っているが、商品単価や買上率が前年より低下しており、客単価が前年比で1.5%程度低下している。結果として、既存店ベースの2月の売上は前年比で1%前後のマイナスで終える見込みであり、厳しい状況に変わりはない。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・今年は大雪と低温の影響により、早朝と夜間の来客数が前年よりも2%減少している。
		衣料品専門店（店長）	お客様の様子	・客の話を聞いていても、客の様子を見ていても、あまり景気の回復は感じられず、停滞したままである。
		衣料品専門店（店員）	お客様の様子	・円安傾向にともなう暖房や灯油、ガソリン等の値上げが消費者の家計を圧迫している。売上も前年から減少している。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明	
		家電量販店（店員）	販売量の動き	・2月は来客数、売上ともに前年を上回ることができなかった。客単価も前年から横ばいである。必要以外の商品には手を出さない傾向がある。	
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・時期的に人の動きは良くなってきているが、前年比較でみると3か月前と変わらない傾向で推移している。	
		その他専門店〔医薬品〕（経営者）	単価の動き	・2月は営業日数も少なく、大雪等の天候の影響による来客数の減少は甚大であった。	
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（経営者）	販売量の動き	・石油製品価格が高水準にあるため、客の節約志向が強い。	
		高級レストラン（経営者）	来客数の動き	・今年の雪の多さが大きな影響を及ぼしている。	
		高級レストラン（スタッフ）	販売量の動き	・2月上旬は外国人観光客の入込も良く順調であった。大雪の影響で交通機関が運休したことで苦戦した日もあったが、全体では売上が前年比でプラス10%とまずまずであった。	
		高級レストラン（スタッフ）	販売量の動き	・前年並みの売上となったが、夜は早い時間帯の予約客が中心で、フリー客が少なかった。飲食店のランチ価格帯は、地方よりも当地域の方が安い、当地域では価格競争が進み、安いメニューから先に売れている。また、札幌圏と十勝圏の飲食業界では、北海道フード特区事業の影響で加工食品に勢いがある。	
		高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・世論では新政権の経済政策などの景気対策の効果で回復の兆しがあるように報道されているが、現実の身の回りの動向に変わりはない。	
		スナック（経営者）	来客数の動き	・今月は相当天候に左右された。	
		タクシー運転手	来客数の動き	・問い合わせの件数や注文数が前年並みの実績であった。	
		通信会社（企画担当）	お客様の様子	・春の新商品に対する評価が一部商品を除き想定よりも低く、想定された客の新規獲得数に至っていない。	
		その他サービスの動向を把握できる者〔フェリー〕（従業員）	来客数の動き	・厳冬期が続く中、気候の悪化やしけ、さらに流水の影響もあり、継続して輸送量が減少している。	
		住宅販売会社（従業員）	単価の動き	・変化がみられない。	
		やや悪くなっている	スーパー（役員）	来客数の動き	・2か月連続の大雪となり、客の外出が少なくなっている。特に商圏の広い大型店の売上が苦戦している。
			タクシー運転手	来客数の動き	・ここ3か月の動きとして、前年12月、1月については受注状況の改善がみられるなど、上向き傾向にあったが、今月に入って受注状況の動きが落ち着きを取り戻しており、前月よりも受注件数がやや減っている。現状では、まだはっきりとした上向き傾向とは言えない。
タクシー運転手	販売量の動き		・2月に入ってイベントが少なくなり、タクシーの売上も徐々に落ち込んできた。3か月前と比較すると、約1.3%の減少である。また、前年と比較しても、売上が約4.9%の減少であるため、やや悪くなっている。		
観光名所（従業員）	来客数の動き		・3か月前の利用客数は前年比で約130%、東日本大震災前の前々年比で約117%であった。一方、2月の利用客数は、25日現在で前年比こそ約127%となっているが、震災前の前々年比では約90%と減少している。		
パチンコ店（役員）	単価の動き		・原油の値上がりによるダメージが大きい。飲食業界では、野菜の高騰による利益率の低下も響いてきている。		
美容室（経営者）	来客数の動き		・年末年始を過ぎ、例年2月は停滞期となる。		
悪くなっている	コンビニ（エリア担当）		販売量の動き	・明らかに消費者の支出が減少している。	
企業動向	良く なっている	—	—	—	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
関連 (北海道)	やや良くなっている	家具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・住宅産業の活況につられて、家具インテリア産業も上向いている。
		建設業（従業員）	取引先の様子	・政権交代による公共事業増大の一環で、医療施設の耐震化に対する交付金支給に期待して、耐震診断や建て替えの引き合いが増えている。
		通信業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・スマートフォンへの乗換え需要に加えて、その他のシステム及びIT投資も今後の成長への期待含みで案件が増加傾向を示しており、景況感は回復しつつある。
		コピーサービス業（従業員）	受注量や販売量の動き	・公共事業関連の企業の受注状況が伸びている。
		その他非製造業〔鋼材卸売〕（役員）	受注量や販売量の動き	・取引先である鉄工関連の仕事量は増加傾向にある。一般消耗品の販売量はまだ少なめだが、中型案件に相当する機械設備の納入が予想以上であったことから、景気は良くなっている。
	変わらない	食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・荷動きが悪い。
			食料品製造業（団体役員）	それ以外
		輸送業（営業担当）	取引先の様子	・東北向けの震災復興貨物の今年度分は3月で終了となるが、次年度も北海道より相当量のコンクリート製品の出荷が予定されている。
		輸送業（支店長）	受注量や販売量の動き	・当社の取扱量は、貨物の種類によりばらつきがみられるものの、全体では前年と変わらない。3か月前と比べると季節的に扱う量は落ちているが、例年と比較しても横ばいと言える。
		金融業（企画担当）	それ以外	・設備投資は医療福祉施設の新増設やメガソーラーの建設で底堅い。各地の冬のイベントは、中国圏の春節と日程がほぼ重なったことから、東南アジア諸国の観光客でにぎわった。しかし、例年にない大雪と寒波で商店街の客足が鈍っているほか、流通業にもマイナスが生じている。
司法書士		取引先の様子	・不動産取引並びに建築業関連ともに、一時的には上向き状態にあったが、最近に至っては停滞気味の状態が続いている。	
司法書士		取引先の様子	・株高、円安など、景気に対する状況が変化しているが、期待だけであり、実際には変化がみられない。	
その他サービス業〔建設機械リース〕（支店長）		取引先の様子	・円安による原油高騰の影響が深刻である。特に運送業者は燃料費の高騰を運賃に転嫁できず、物量が増えたとしても恩恵を受けづらい状況にある。業種にかかわらず原材料費、資材価格の高騰による停滞感は否めない。	
やや悪くなっている	食料品製造業（役員）	受注量や販売量の動き	・2月は通常月より稼働日が少ないにもかかわらず、生産調整のために工場稼働を休止せざるを得ない日があり、受注量が落ち込んできている。	
	司法書士	取引先の様子	・例年であれば、春先から住宅建設のための土地の売買が増加する時期であるが、売買事例が減少したままである。	
	その他サービス業〔ソフトウェア開発〕（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・受注案件の数は増えているようだが、条件は一向に改善されない。また、小規模のもの、短納期のものが多く、本格的な投資の気配はまだ感じられない。大手も景気が良くなりそうな気配を感じつつも、まだ様子見と言った感が否めない。	
	悪くなっている	—	—	—
雇用 関連 (北海道)	良くなっている	○	○	○
	やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・求人が増加傾向にある。求人の中でも正社員の求人が増えており、前月比で20%弱の増加を示している。また、政権交代の影響から、ここ10年ほど必要のなかった建設技術者の問い合わせが目立ってきた。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	・スキルやクオリティのミスマッチはあるものの、求人広告入稿件数は前年比で12%の増加となり、求人が売手市場になってきつつある。
		求人情報誌製作会社（編集者）	周辺企業の様子	・政権交代前は先行き不安感が強かったが、政権交代後の現在は先行きに対する期待感が強くなっており、前向きな印象を受ける。求人広告数についても前年と比較して増えている。
		求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	・公共事業への期待感と大雪の影響からか、建設系と貨物輸送で求人の活発な状況が続いており、いつもの年よりも早い動きを感じる。コンビニやスーパー、衣料品など個人消費関連も堅調に推移している。福祉介護の募集はもう一段上がっており、ニーズの高さを感じる。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は前年比で8.6%増加しており、36か月連続で前年を上回った。また、月間有効求人数も前年比で11.0%増加しており、36か月連続で前年を上回った。
	変わらない	人材派遣会社（社員）	雇用形態の様子	・雇用形態として直接雇用が増えている。ただし、給与水準がアップしているとは言い切れず、景気としては横ばいで推移している。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・前年と比較して募集広告の件数が258件増加しており、売上で35%の増加と大幅に増えた。毎月約7割のクライアントが入れ替わっており、幅広い裾野から出稿がある。特に地元企業からの出稿が増えており、医療、小売が売上の上位を占めた。また、公共事業投資を反映して、土建不動産、運輸の求人が前年比で8～9割増えている。
		職業安定所（職員）	それ以外	・1月の管内の有効求人倍率は、0.62倍と前年を0.10ポイント上回り、管内としては高い水準となっている。
		職業安定所（職員）	雇用形態の様子	・1月の新規求人数は前年から9.6%の増加となった。新規求職者数は前年から0.5%の増加となった。月間有効求人倍率は0.73倍となり、前年の0.59倍を0.14ポイント上回った。新規求人数のうち、正社員求人の占める割合は48.6%と、求人者と求職者との間における職種や労働条件のミスマッチも少なくないことから、依然として厳しい状況にある。
	やや悪くなっている	—	—	—
	悪くなっている	—	—	—

2. 東北（地域別調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連 (東北)	良くなっている	—	—	—
	やや良くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・各商店とも売上は若干上昇し、明るくなってきているようである。春の気候と同様で一進一退しているが、少しずつ良くなっている。
		一般小売店〔書籍〕（経営者）	販売量の動き	・郊外のロードサイド集積に対する車の量は若干ながら増えており、郊外の売上、集積は伸びている。一方で、街なかにはなかなか厳しい。基本的には催事によって売上が伸びる状況が続いている。
		一般小売店〔医薬品〕（経営者）	販売量の動き	・雪が続き来客数の動きは良くなかったが、販売量は増えている。出てくることができるときにまとめて買物をしているようで、1日多かった前年と大体同じくらいの数字になると見込んでいる。
		百貨店（売場担当）	販売量の動き	・前年比では良くなっているが、前年は降雪により大打撃を受けた年であるため、前々年比では決して良くなく、90%を切っている状況である。2月は百貨店にとって強みであるオケージョンの月である。また、今年の降雪量は前年と比較しても少なく、春物ファッションの立ち上がりも売れ筋が非常に明確であるため、反応は良く上々である。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・前月も販売量に注目したが、今月も同様のデータが出ている。特に天候の悪い時には、遠方のスーパーに行かず近くの店舗で買物をすませている様子が見られる。そのおかげで売上、買上点数共に伸びている。
		衣料品専門店（店長）	お客様の様子	・天候に左右され、冬物商材と春物商材の売行きにばらつきが出ているが、商品価値と価格を照らし合わせ、ワンランク上の商品を購入する傾向が強くなってきている。
		家電量販店（店長）	お客様の様子	・白物家電にやや持ち直しの傾向が見られる。特に洗濯機、冷蔵庫、高級クリーナー等々の購入が以前よりも増えている。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・エコカー補助金終了直後の反動減も落ち着き、新型車効果もあり、新車販売が上向いてきている。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・軽自動車を中心に、豪雪にもかかわらず初売りから継続して売行きが好調である。3、4月の前倒しではないか。
		住関連専門店（経営者）	販売量の動き	・初売りから契約数は伸びてきているので、若干上向きとみられるが、まだまだ厳しきは変わらない。前年度と比較すれば、少し懐が寒くなってきているようである。
		その他専門店 〔白衣・ユニフォーム〕（営業担当）	販売量の動き	・政権交代による期待感が少しずつ出ているようである。また、実際に売上を伸ばしている企業もあり、制服受注につながっている。
		その他小売 〔ショッピングセンター〕（統括）	販売量の動き	・売上高の前年比の伸び率が、3か月前と比べアップしている。
		高級レストラン（経営者）	お客様の様子	・皆が何となく景気が良くなっていくと思っていて、少しずつ財布のひもも緩んできているのではないかと。経済も活性化してきているようである。
		高級レストラン（支配人）	来客数の動き	・年度末に向けて、食事会や宴席の本数が増えてきている。日中の動きも主婦層を中心に来客数が増えている。
		観光型ホテル（スタッフ）	お客様の様子	・株高に加え、今後はデスティネーションキャンペーンも控えている。一時の風評被害等による不安よりも期待に対する声が大きくなっており、催しなど今まで控えていたものが、少しずつ増加している。
		都市型ホテル（スタッフ）	お客様の様子	・過去にないほどの豪雪となっており、車の通行も歩くのも大変である。当社のショッピングセンターのレストラン部門が良かったが、どうやら客は1か所に集中して、あまり大きな動きをすることがないようである。土産も必然的にそこで買い、総菜も買うなど、完結型で当社が使われているようである。売上が落ちるかと思われたこの豪雪だが、とんとんかそれ以上を保っているという状況である。
		通信会社（営業担当）	来客数の動き	・新政権に代わって自民党の主導になり、徐々に景気が上向きになっているようである。ガソリンの高騰などは気になるが、おおむね前に向かって進んでいるようであり、来客数も前年以上に活況を呈している。
		テーマパーク（職員）	単価の動き	・前月に比べ来客数の伸び率は向上し、単価の伸び率は更に上昇している。
		その他サービス 〔自動車整備業〕（経営者）	お客様の様子	・来客数、販売額共に増加している。見積件数や1件当たりの金額も増加している。
		変わらない	商店街（代表者）	来客数の動き
商店街（代表者）	販売量の動き		・週末ごとの降積雪に客足も遠のき、押しなべて苦戦続きである。	
商店街（代表者）	来客数の動き		・寒さが厳しく、商店街には活気がない。	
商店街（代表者）	お客様の様子		・2月に入り、長びく寒波や積雪の影響から消費がやや停滞していることに加え、野菜中心に価格が高騰しており、飲食店、スーパーが特に苦戦している。全体的に消費動向が弱い。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		一般小売店〔医薬品〕（経営者）	来客数の動き	・今年は前年と比較にならないほど雪が多く、その雪も氷点下で凍る日が続き、歩く人が非常に不便を感じているようで、街には人が本当に出てこなくなっている。来客数は非常に少ないが、その分、何とか単価で震災前と同じような経営を維持しているというのが現状である。
		百貨店（売場主任）	お客様の様子	・例年にない降雪、低温と悪天候が続いたため、日により来客数に幅があり、シニア層の来店が少なくなっている。ギフト関連や入学、卒業、新生活など、目的を持った客の来店により、総体的にみるとほぼ計画どおりの動きとなっている。
		百貨店（総務担当）	販売量の動き	・前半は比較的販売量も好調に推移したが、中旬以降は天候、特に雪や気温の影響で、販売量及び来客数が落ち込んでいる。
		百貨店（企画担当）	販売量の動き	・前半はバレンタイン需要など前年を5%上回ったが、後半は降雪量が多く、足元が悪くなり、シニア層の買上の落ち込みが顕著となっている。一部輸入品の値上げもあり、値上げ後の動向が懸念されたが、値上げ数日後にはほぼ前年並みに回復している。
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・売上は引き続き前年を上回るペースであるが、特に大きく伸びているわけではなく、堅調に推移している。しかし、特選ブランド品の売上が良いことが目立つ一方で、物産展は苦戦している。
		百貨店（買付担当）	販売量の動き	・当地においては、積雪量及び気温の低下の影響もあり、冬物処分が図られている。
		百貨店（経営者）	お客様の様子	・前年と比較すれば降雪の影響が少なく改善しているが、直近状況は変わっていない。来客数は増えず、珍しい催事や人気催事、美術、宝飾といった高額品は高水準で推移するものの、デイリー性の強い商品が厳しい。特に食品の生鮮の推移が厳しい。
		スーパー（経営者）	来客数の動き	・前年に比べ降雪が少なく来客数は多いものの、買上点数が減少している。また、競争で価格は低下している。2月は営業日が前年よりも1日少ないのもダメージになっている。
		スーパー（経営者）	単価の動き	・1品単価の推移は変わらないが、買上点数の伸びが鈍化してきた。買上客数の伸びも1年で最も低い。競合店の新規出店もあるが、その他の店舗の伸びも鈍化してきている。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・集客状況は安定しているが、買上点数、1品単価、客単価の減少で売上ダウンの流れは変わっていない。買物における客の儉約傾向が続いている。
		スーパー（店長）	単価の動き	・今年は寒さが厳しく、前年に比べカイロ等の暖房用品や鍋物食材が好調である。灯油タンクは売切れとなっている。来客数は変わらない。
		スーパー（物流担当）	販売量の動き	・生鮮商品、ドライ商品の動きは良くなってきているが、大きな要因は特売商品の動きであり、本来の定番商品の動きは変わらない。円安が進み、冬期の石油価格の上昇は直接消費に影響し、客の動きはより価格の安いもの、価格の安い特売商品へと動いている。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・既設店舗の来客数の前年割れが継続している。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・来客数のトレンドに変化が無く、前年を下回る状況が続いている。
		コンビニ（エリア担当）	競争相手の様子	・自他含めて新規出店が増えており、競争は激化している。
		コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・相変わらずたばこの前年割れが継続している。それに伴い単価も微減している。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・大雪や低温の日が多かったため、来客数が大きく減少し、売上も低迷している。
		衣料品専門店（経営者）	単価の動き	・入札等々では価格破壊的な落札価格で利益を度外視した風潮が見られる。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・本当に人が出てこない。来客数が少なすぎる。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		衣料品専門店 (店長)	来客数の動き	・このところの寒さで春物を含めて服に客の目が向いていないのか、服の買換えや買足し、特にこの時期は買換えに動きがいくところだが、まだそんなに動いていない状況である。景気が上向きになっているとは判断しかねる。寒さが足を引っ張っているのは事実である。
		衣料品専門店 (店長)	来客数の動き	・フレッシュャーズ客の来店は増えているが一般の客は減少しているため、トータルで見ると来客数は前年並みである。
		衣料品専門店 (総務担当)	販売量の動き	・週末の度に降雪があり、来客数の減少につながる要因はあったが、この時期売れている品目が売れないといったこともあり、景気が改善されている様子はいかがえない。
		家電量販店 (店長)	来客数の動き	・景気の底は脱したようだが、すぐに改善することも考えられない。
		家電量販店 (店長)	単価の動き	・当県の場合、震災の追加の賠償金が出ているので、こちらでの買物が若干見受けられるが、売上を押し上げるには至っていない。長期的には新政権の経済対策に対する期待感が持てるという話は客からも聞くので、期待はしている。
		乗用車販売店 (経営者)	販売量の動き	・年度末商戦に突入し、客は少しずつ店頭に戻りつつある。しかし、今月の大雪の影響を受けて思ったほど増えず、新車の受注販売共に、2、3か月前と比べて減少幅は縮小しつつあるものの、前年に比べ20%前後ダウンする見通しである。
		乗用車販売店 (経営者)	お客様の様子	・最近の流れは間違いなく良い方向に向かっているのだろうが、当市ではその改善の流れが感じられない。その原因は当市での建設ならびに土木業界の脆弱化にあるのではないかと。今更だが、この業界の景気のけん引力は大きい。
		乗用車販売店 (店長)	販売量の動き	・直近3か月、販売量は前年比7～8割と低水準で推移している。サービス収益は前年並みを何とか維持している。
		その他専門店 [食品] (経営者)	販売量の動き	・冬期間のガソリン、灯油のコストアップ、電力会社の値上げ申請などで消費者の意識が明らかにマイナスになっている。そのため、来客数も販売量も落ち込んでいる。
		その他専門店 [ガソリンスタンド] (営業担当)	販売量の動き	・震災復興需要で、建設関連需要が前年を大幅に上回っているにもかかわらず、燃料油需要は前年比95%程度と前年割れが続いている。
		一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・3か月前も悪かったので、変わらない。
		一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・弱含みの状況は続いているが、下げ止まっているようでもあり、何ともいえない一進一退の状態である。しばらく今のような状態が続き、やがて上向いてくれればいいが、今のところはまだ回復している様子はいかがえない。
		一般レストラン (経営者)	お客様の様子	・年明けから続いている静かな流れが継続している。具体的な景気復興へ向けての政策や、今後のTPPにおける地元農家の不安感なども影響しているようである。
		都市型ホテル (スタッフ)	販売量の動き	・デパート地下の総菜販売は、好調な百貨店に支えられ、単価は下落しているものの利用人員の増加により増収となっている。しかし、ホテル内のレストランに関しては、総じて単価は下落しており、商品ベースにおいてもその傾向がはっきりしている。新年会は規模が縮小しており、同じ仕事をしていても実入りが少なく、売上が減少している。
		都市型ホテル (スタッフ)	それ以外	・現金収入の外販事業が定着し、県内の自治体、団体主催イベントへの飲食出店依頼が増え、売上も前年比250%と驚異的に伸びている。しかし、売れ残り等廃棄処分の製品も多く、人件費及び諸経費など収支を精査する必要がある。柱となる一般宴会の法人利用は伸び悩んでいる。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		都市型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・被災地の特需で、宿泊、レストラン、会合等すべての部門で来客数が増加していた状況が落ち着き、今年に入ってからの来客数は前年を下回り始めているが、売上自体は極端な落ち込みはなく、来月以降の予約状況も前年に近い状況で推移している。
		旅行代理店(経営者)	販売量の動き	・個人旅行の動きが落ち着いてきている。また、円安に振れて旅行業界は多少収益性が悪くなってきている。グアムでの通り魔事件の影響もあり、先行きが分からないというのが本音である。
		旅行代理店(店長)	お客様の様子	・年度末3月の個人の海外旅行の受注が前年比250%である。また、販売系会社を中心に、社員全員やインナーインセンティブとしての海外旅行や沖縄、北海道といったロング方面のオーダーが相次いでおり、予算も高めである。
		タクシー運転手	来客数の動き	・雪が降ればその時は忙しくなるが、雪がやむとこれまでどおりの状況である。雪が降ると車の数もかなり少なくなるし、それと同時に車も持ち出す人が多いので、状況がつかめないでいる。
		タクシー運転手	来客数の動き	・昼も夜も客足が非常に少ない。客の節約している状況がよく見える。
		通信会社(営業担当)	競争相手の様子	・金融緩和の影響が果たして消費者へ還元されるかの見通しがまだ立たない。過去の家計のマイナス分が賃金上昇に繋がるのは夏以降がカギとみられ、実際はまだ景気については変わっていない。
		通信会社(営業担当)	お客様の様子	・景気回復傾向との声はあるが、身の回りで良くなっている実感はない。
		通信会社(営業担当)	お客様の様子	・政権交代後約2か月が経過しているが、株価は上昇傾向にあるものの、客の様子からは景気改善の兆しはみられない。
		通信会社(営業担当)	お客様の様子	・顧客の設備投資意欲に変化はみられない。
		通信会社(営業担当)	お客様の様子	・客との商談においても一部の報道にあるような好況感はない。地場企業のほとんどは好況感を感じていないどころか、むしろ円安のデメリットがあるようである。
		通信会社(営業担当)	お客様の様子	・豪雪の影響もあって客の購買意欲が生活必需品に偏っており、テレビ、通信への支出は優先順位が低いいため、新規加入者も停滞している。2月は一段落した状態で客の動きに変化が見られない。
		観光名所(職員)	来客数の動き	・天候不順により、JR等の交通機関を利用して訪れた客は少なくなっている。しかし、団体客の利用が増加したため、来客数は前年同時期を上回っている。
		観光名所(職員)	来客数の動き	・大きなイベントがあり前年を上回る来客があったが、その開催期間以外の人の動きは鈍い。
		遊園地(経営者)	お客様の様子	・休園期間であるため、具体的な動きは学校、団体の予約や客からの問い合わせのみであるが、前年と比べてまずまずという印象である。
		美容室(経営者)	単価の動き	・客単価は横ばいがずっと続いており、なかなかプラスの注文がある状況にはなっていない。
		設計事務所(経営者)	来客数の動き	・先月の状況とほとんど変わらない。
		住宅販売会社(経営者)	販売量の動き	・予定していた受注が順調に契約に至っている。
		その他住宅[リフォーム](従業員)	来客数の動き	・3か月前と比べて、問い合わせ件数は増えていない。
	やや悪くなっている	商店街(代表者)	来客数の動き	・2月に入り連続的な豪風雪、大雪があり、客や人の出入りが大きく減少し、厳しい状況である。
		一般小売店[カメラ](店長)	販売量の動き	・低価格商品の動きは横ばいで推移しているものの、高額商品の販売量が減少している。売上額も減少傾向である。
		百貨店(経営者)	販売量の動き	・16日以降は寒波の影響もあり客足が減っている。冬物クリアランス、春物定価品共に動きが止まり苦戦している。売上の前年比は3か月前よりも厳しい状況である。
		スーパー(経営者)	それ以外	・週末ごとに寒波の影響で雪が降り、来客数が減少している。なおかつ、夕方の道路状況により客の買い回りが狭くなっている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		スーパー（店長）	販売量の動き	・乗客数は相変わらず微減で推移しており、買上点数は横ばいである。節分、バレンタインのイベントはいずれも前年実績を下回っており、身の回りの景気は悪くなっている。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・販売量や買上点数が伸び悩むとどうしても厳しくなる。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・これまで同様、放射能の影響もあるが、それに加えて前月同様雪の量が多く、客の動きはかなり鈍くなっている。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・競合店の出店が大きな原因だが、同エリアのオーナーたちとの会話でも、売上前年比は95%前後だという。客単価よりも来客数の減少が大きい。
		コンビニ（店長）	来客数の動き	・天候が悪いこともあり、客足が久しぶりに落ち込んでいる。また、震災特需も徐々に薄れており、現在、当市内の景気は下降気味のようなのである。
		コンビニ（店長）	来客数の動き	・連日の大雪に加え、近隣の競合オープンの影響がまだまだ続いている。雪の対処で朝の来客数とシニア層の来客が著しく減少している。
		コンビニ（店長）	お客様の様子	・レジで接客をしているが、来店客からは企業の倒産だとか取引が無くなったといった話が聞こえてくる。今後に対して非常に不安を感じているということもあり、購買点数など、当店の販売傾向においてもかなり下向きになってきている。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・雪が多く、暖くなるまで販売はなかなか伸びない。
		自動車備品販売店（経営者）	それ以外	・灯油、ガソリンの値上がりに加え、長引く積雪、低温のため、それらの消費量が増えて経費を圧迫している。反面、排雪業者はまだまだ仕事が減らないようである。
		住関連専門店（経営者）	販売量の動き	・例年2月は暇な時期なので販売量は少ないが、最近では同業者の大手が新店舗の出店や売出しに力を入れており、それが売上減の原因になっている。
		その他専門店 [パソコン]（経営者）	お客様の様子	・季節的なものか、問い合わせが少なく、客の動きは悪くなってきている。
		その他専門店 [酒]（経営者）	お客様の様子	・今年は積雪量が多く、消費者に経済的にも心身的にも余裕がない。夜の飲食店も例年に比べて静かである。このため、支払がスムーズにいかない得意先も出てきている。今まではなんとかしてきたが、今月は本当に苦しい様子がうかがえる。
		その他専門店 [靴]（従業員）	販売量の動き	・豪雪と低温で買物客の出足が鈍い。
		その他専門店 [酒]（営業担当）	来客数の動き	・地元は、様々な行事に加え、豪雪の影響で、仕事場でも個人でも除雪作業に追われている。また、インフルエンザや風邪、除雪作業の疲労により体調を崩す人が多く、飲食店への影響が大きい。
		その他専門店 [ガソリンスタンド]（営業担当）	販売量の動き	・長引く寒波の影響で暖房用の燃料の需要は堅調に推移しているが、ここにきて円安の影響で原油の輸入価格が上がってきており、価格転嫁とのタイムラグが発生して収益を圧迫している。また、単価の値上がりで、需要を抑制しようとする意識が高まってきており、販売量も頭打ちの傾向が強まってきている。
		高級レストラン（支配人）	来客数の動き	・今冬は天候に泣かされている。客の来館動機を萎えさせる厳しい冬である。
		一般レストラン（経営者）	それ以外	・今月は忙しいが、3月の予約があまり入っていないので、景気はあまり良くないようである。
		観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・震災から約2年たったことと冬の寒さにより厳しい入込であり、前年11月以降、前年比で右肩下がり傾向である。かろうじて例年の人生の節目の厄払いや同級会など、地元のリピーターが善戦している。
		観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・平日の宿泊客が更に少なくなっている。土曜日も直前まで予約が入らず、満室にならない土曜日も出てきている。全般的に宿泊客は低調に推移している。
		都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・復興関連での宿泊は前年より少なくなっている。宴会関係ではまだ前年並みだが、いつまでも続くとは思えない。料飲関係では大雪の影響もあり、夜の利用者が少なかった。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		タクシー運転手	お客様の様子	・乗車する車を選ぶ様子が非常に多く見受けられる。
		通信会社（営業担当）	販売量の動き	・来月の繁忙期を見越して買い控えをしているためか、販売量が減少している。
		美容室（経営者）	お客様の様子	・最近、結婚式に招待され髪をセットされた方に、着物を着ることを勧めたが、着物の購入も着付け料も出費がかさむのでスーツで行くとのことだった。まだまだ余分な出費は抑えようとする傾向があるようである。
	悪く なっている	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	単価の動き	・震災後2年がたとうとしているが、その間でも今月の来客数は最低水準であり、客単価は底を割っている。ここ半年ほどは徐々に改善し、底固さを感じただけに、悪化しているという感じをひととき強く受けている。当店の地域に積雪はほとんど無く、悪化要因を気候に求めることはできない。
		一般小売店〔寝具〕（経営者）	販売量の動き	・例年2月は商品の動きが鈍いが、今年もそのとおりである。
		衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・大雪で除雪に時間をとられることと、除雪作業で疲れ果てて来店が少ない。雪が降らない日は、気温が低くて出かけない。
		住関連専門店（経営者）	販売量の動き	・中旬までは前年並みの売上であった。前年も大雪のために苦しんだが、中旬以降は豪雪のため交通が麻痺状態で来客数が極端に減少してしまい、更に大幅に落ち込んでいる。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・来客数及び1人当たりの単価が落ちている。
	観光型旅館（スタッフ）	販売量の動き	・例年より多くの休館日を設定したため、基本的に売上が少ない。また、オフシーズンの主力となる団体客の取り込みに失敗したことも大きく影響している。	
企業 動向 関連 (東北)	良く なっている	その他非製造業〔飲食料品卸売業〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・物量、売上、利益のいずれも前年比約110%になっている。景気が良くなっているようである。
		その他非製造業〔飲食料品卸売業〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・被災地復興計画がようやく青写真になってきたからだろうか、県内の飲食店向け、スーパーマーケット等の小売向け出荷が好調である。県外出荷は好調とまではいかないまでも、まずまずの出荷量である。
	やや良く なっている	木材木製品製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・住宅部材の需要がおう盛であり、かつ販売単価の改善も進んでいる。
		電気機械器具製造業（企画担当）	受注価格や販売価格の動き	・当社関連の電子部品の販売価格が回復していることに加えて、円安の影響で業績も大きく回復している。
		建設業（従業員）	受注量や販売量の動き	・自治体発注の大型公共工事等の受注が堅調である。
		通信業（営業担当）	取引先の様子	・円安の影響がみられる。
		広告業協会（役員）	それ以外	・テレビ、ラジオ、新聞、雑誌のマスコミ4媒体はラジオを除き震災以前に戻りつつある。3月の季節的要因も加わっているが業種も広範にわたっているのが今回の特徴である。不動産関係は依然好調であるが、東北以外の地域からの新規参入企業が増えている。震災後の復興需要が続くのを見込んでの進出とみられる。
		経営コンサルタント	取引先の様子	・Web制作会社では2月以降ホームページ作成依頼が急増している。
		司法書士	取引先の様子	・分譲地の販売が好調であり、消費税増税前の駆け込み需要としての住宅着工が増えることにつながっている。
		コピーサービス業（経営者）	それ以外	・体感はしていないが、取引先や周りの状況、話の内容からは景気が良くなってきた様子がうかがえる。
		その他企業〔工場施設管理〕（従業員）	取引先の様子	・当地を舞台にしたドラマ放映の影響により、関連商品の売上や観光客が増えて、地元の景気が上向ってきている。納品業者や関連商品の食品会社の人たちも受注が増えたと話している。
		変わらない	農林水産業（従業者）	それ以外
	食料品製造業（総務担当）		受注量や販売量の動き	・受注量の前年比を見ても、消費者の購買意欲の向上は見られない。
	繊維工業（経営者）		受注量や販売量の動き	・周りの雰囲気的には良くなっているが、取引先の状況では予想以上の寒波により季節商材の店頭での売上が良くないため、受注も良くない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・自動車部品については、輸出は比較的堅調だが、エコカー補助金が終了した国内向けがやや減少傾向にある。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新年に入ってから小口工事の受注が続いている。また、マスコミも景気が良くなるような数値や記事が増えているので、客は心理的にも動かされているようである。
		建設業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・土木関係で国及び自治体より多くの案件が出件されるも、現状で大きな変化は無い。
		輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・状況が良くなる要素も少なく、当分この状態が続く。
		通信業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・全体では減少傾向にあるが、一部の大口顧客からの引き合いがあり、これをカバーする形になっている。
		通信業（営業担当）	取引先の様子	・震災が風化しつつあり、復興スピードが鈍化している。政治の影響もあり、企業が活性化できる土台ができていない。
		金融業（営業担当）	取引先の様子	・例年のない寒波、大雪で建設土木関連の除雪需要は多い。設備関連ではソーラー関連の需要が多い。
		金融業（広報担当）	取引先の様子	・特に大きな動きは見られない。
		広告代理店（経営者）	受注量や販売量の動き	・期待していたほど案件数が増えていない。年度末の駆け込み需要も、前年と比べると激減している。予算を消化せずに繰り越す企業が多くなっている。
		公認会計士	取引先の様子	・クライアントの月次、決算状況から判断すると、建設関係は好調であるが、それ以外の業種は売上、利益とも目立った伸びは見られない。
		その他企業〔企画業〕（経営者）	取引先の様子	・震災関連需要はあるものの、基礎用生コンの高騰や資材調達の逼迫、職員の賃金高騰と不足、外注工事の遅延や順番待ちなど供給体制を整わせることに困難を極め、利益率の激減状態が続いている。
やや悪くなっている		農林水産業（従業者）	取引先の様子	・米の取引業者からの精算金の入金が遅れている。
		食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・前年よりは良いものの、2、3か月前との比較ではやや悪くなっている。牛タンの人気にここへきて陰りが出てきているのではないかと。
		出版・印刷・同関連産業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・3か月前の受注残は前年を上回っていたが、今月の受注残は過去数年を下回る95%くらいになっている。
		土石製品製造販売（従業員）	競争相手の様子	・同業者内での打ち合わせでも、年度末の新規発注工事がほとんどない状態ということで話が沈んだ。予算と実績を照らし合わせても、今年度末は実績が大いにダウンしている状態である。
		電気機械器具製造業（営業担当）	取引先の様子	・地域企業を訪問していると、工場に製品が少なくがらんとしているところが多い。
悪くなっている	—	—	—	—
雇用関連 (東北)	良く なっている	アウトソーシング企業（社員）	それ以外	・細かい仕事だが確実に増えている。
	やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	採用者数の動き	・人材紹介サービスを利用しないまでも、個人がハローワーク求人へ積極的に応募しており、実際に決定していつている。ただし、求人意欲のある企業が大分絞られてきているのも事実である。
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・サービス業や警備業を中心に、今の大学4年生を追加で採用したいという問い合わせが増えてきている。
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・建設関連やコールセンターを中心に企業からの注文依頼が増えている。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・業種に偏りはあるが、小売や建設関連の募集広告が目につくようになってきている。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・運送、医療関係に加え、サービス業においても求人への動きが出てきている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数の前年同月比の増加率が1けた台から2けた台に戻ってきている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は4か月連続で前年比2けたの増加となっている。また、月間有効求人数は23年5月から21か月連続で前年比20%以上の増加となっている。
	変わらない	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・求人数の動きは大きな変化は無い。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・2月は前年の臨時的な広告出稿を除けばほぼ例年並みとなっている。しかし、3月の申込は出だしこそ良かったが、それからの伸びが見られない。
		職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・引き続き休業などの雇用調整の動きが続いている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・企業整備などもあったが、求人数が高水準で推移していることから、求人倍率も前年8月から1倍前後で推移している。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人倍率は引き続き改善が持続しているが、このことで景気が上向いているということを実感する場面は少ない。
		職業安定所（職員）	求職者数の動き	・求職者数は前年比で増加傾向に転じているものの、求人数の増加は続いており、有効求人倍率はほぼ1倍で推移している。
		職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・当所の基幹産業である製造業の求人の落ち込みが止まらない。中央では政権交代により景気浮揚感があるようだが、地方に波及するにはもう少し時間が掛かる。
	やや悪くなっている	人材派遣会社（社員）	求職者数の動き	・派遣業務の注文案件数に対する登録者数が減っており、そのため成約率が前年に比べて半減している。3か月前と比べて悪化している。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・やや下向き傾向に落ちているのが現状である。前年末までの復興景気及び総選挙も一段落し、その反動が出始めている。
		職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・求人等については増加傾向にあるものの、製造業の不調が目立つ。ここへきて工場閉鎖や業務縮小が相次いであり、建設業や医療福祉業での人手不足感はあるものの、全体的には状況が悪化している。
	悪くなっている	—	—	—

4. 北関東（地域別調査機関：（株）日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向 関連 (北関東)	良くなっている	乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・車の販売が絶好調である。前年はエコカー補助金のおかげもあったが、今年はエコカー補助金がなくとも前年を上回るペースで車が売れている。また、サービスのほうにも入庫がかなりあり、前年の約2割増しである。そのため、良くなっている。
		乗用車販売店（統括）	競争相手の様子	・同業他社の販売台数が非常に良い。
	やや良くなっている	商店街（代表者）	お客様の様子	・内閣が変わって、これから景気が良くなるのではないかという気分が何となくあるようで、子ども用品の注文も1着でいいところを2着注文するという感じである。客の気分がそうさせているのではないかと思う。
		商店街（代表者）	販売量の動き	・卒業式や公務員の退職時期を迎えるが、前年と比較しても客の動きが良くなってきており、気のせいかな注文数も増えてきている。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	販売量の動き	・年度末を迎え、太陽光発電の契約が順調に伸びている。
		百貨店（営業担当）	単価の動き	・時計など的高額商品の動きが、良くなり始めている。
		コンビニ（経営者）	お客様の様子	・今月は天候不順で降雪が多かったが、前年比で売上、客数共に同水準である。
		家電量販店（営業担当）	お客様の様子	・必要な商品は購入している。最近では花粉、大気汚染対策で空気清浄機の動きが大変良くなってきている。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・業界の最需要期の2、3月を迎えたためである。
		自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・エコカー補助金の終了などによるマイナスの効果が終わり、やや元に戻りつつある。販売量も戻ってきている。
住関連専門店（店長）	販売量の動き	・来客数と販売数量が増えている。		

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		スナック（経営者）	来客数の動き	・来客数、客単価共に、若干上向いてきている。2月は年間を通じて一番悪い時期であるため、この時期に上向いてくるのは驚きである。
		観光型ホテル（営業担当）	来客数の動き	・イベントを実施した影響もあり、今月に入って来客数がやや増加傾向である。
		旅行代理店（経営者）	来客数の動き	・来客数の増加に伴って、契約する客が増えてきている。
		旅行代理店（所長）	来客数の動き	・3か月前と変化がない。円安や株価上昇による景気回復感と個人消費が連動していない感がある。観光地への来客数は、特に、団体ではなく個人の外国人が増えている。また、日本人の来訪者も、学年末ということもあってか、卒業旅行と思われる若い客層が目立っている。また、集中的に行なった観光客向けの冬のイベントも功を奏したようである。
		遊園地（職員）	来客数の動き	・一般団体客の減少や雨天の影響により来客数が落ち込んだ3か月前と比較すると、週末に好天に恵まれ、来客数は堅調に推移している。
		設計事務所（経営者）	販売量の動き	・いくつもの仕事が重なっており、工期に追われる毎日が続いているなか、計画の依頼も増えている。
		住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・アパート、店舗、一般建築の底堅い需要があるなかで、戸建住宅も持ち直しており、受注は好調である。
	変わらない	一般小売店〔精肉〕（経営者）	お客様の様子	・当店の近隣は高齢者が多く、連日の厳しい寒さで外出する人が少ないため、変わらない。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	お客様の様子	・灯油、ガソリンの価格上昇に伴い、生活費の負担が増し、他の物への購買意欲はさらに低下している。消耗品の消費だけでは売上単価も上がらず、相変わらず売上増は厳しい状況である。
		一般小売店〔青果〕（店長）	お客様の様子	・幼稚園、施設等の取引先は、ほとんど売上に変化がないが、居酒屋、食堂、レストラン等飲食店はかなり売上が落ちている。
		百貨店（販売促進担当）	来客数の動き	・降雪や気温の低下により、来客数が減少しており、特に来客数と連動する傾向にある食料品の売上減が目立っている。
		百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・売上増を見込んだ週の気温が極端に低くなり、売上、来客数共に苦戦した。また、売出しの初日に雪が降るなど、天候や気温により来客数と売上が大きく左右されている。それ以外の3週は3か月前と比べてあまり変わらない。
		百貨店（販売担当）	来客数の動き	・来客数が天気によって左右されることが多い2月であった。なかなか売上増にまで結びついていない。
		百貨店（店長）	販売量の動き	・ムードが良くなったため、高額品の購入などに結び付いていると思われるものの、寒い冬となったため、来客数が減少し、全体での底上げにはもう少し時間が掛かると考えている。
	スーパー（店長）	単価の動き	・数か月間、単価に変化はみられない。	
	スーパー（総務担当）	来客数の動き	・今月も来客数は前年割れしているが、各月平均すると微減の状況である。必要な物を吟味して買う傾向が続いている。	
	スーパー（統括）	販売量の動き	・ハレの日である節分やバレンタインなどのモチベーションは前年を上回る実績であったが、普段の日の買物が落ちてきている。年金支給日には、米や酒などの高単価品の動きがあるが、前年実績を下回っている。	
	スーパー（商品部担当）	販売量の動き	・3か月前と比較して、売上、客数、客単価に変化がない。	
	スーパー（経営企画担当）	来客数の動き	・来客数、売上共に12、1月とダウントレンドであったが、今月は決算セールなどもあり、11月の水準に戻すことができています。	
	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・周りの景気は、横ばいで変わらない。しかし、コンビニ業界としては、売上構成比で30%を占めるたばこの客離れが、売上には大きく影響している。円安、株高で気持ちは上向きである。	
	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・ここしばらく、客数の減少と販売高の前年比5%減が続いている。	
家電量販店（店長）	販売量の動き	・先月と同様、映像関連商材の回復は程遠い。白物家電は前年を超える程度で動いている。		

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		乗用車販売店 (経営者)	お客様の様子	・整備、車検の入庫は増加傾向にある。しかし、入庫した車両の年式、走行距離などを踏まえて考えると、新しい車に乗り換えようとする気持ちが薄らいだようにみえる。
		乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・販売台数を見る限りでは前年比でやや上昇しているが、収益面は前年比でやや減少している。
		乗用車販売店 (管理担当)	販売量の動き	・円安になり輸入品が値上がりしている。特にガソリン、灯油の値上がりは家計費を圧迫している。
		乗用車販売店 (販売担当)	販売量の動き	・例年2月はニッパチとあって、とにかく観光客が少ない。当店の客はホテル関係者が多く、そのため例年どおり2月はあまり車の販売が良くないのだが、それ相応に台数は出ている。しかし、単価が安い中古車ばかりであるため、売上はさほど伸びておらず、例年並みである。
		住関連専門店 (経営者)	販売量の動き	・新聞やテレビ等では、為替や株価等で景気の回復が報道されているが、従来と変わりなく商品動向は低迷している。実質的な給与が昇給するまでは変化はないのではないか。
		その他専門店 [ガソリンスタンド] (従業員)	販売量の動き	・販売量は、前年比ほぼ横ばいである。
		一般レストラン (経営者)	単価の動き	・3か月ほど前と比べても、1人当たりの客単価は、ほぼ横ばいである。客は、まだまだあまりお金を使える状況にはないようである。
		一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・日本のトップの世界では、かなり明るい要素も出てきていると思うが、地方で実感できるまでには、かなり時間は掛かると思う。
		スナック(経営者)	来客数の動き	・毎回同じような回答だが、来客数、競合店と様々な問題があり、この2月はますます良くない。本当に毎回のことだが、何か良い策がないだろうか。
		都市型ホテル (支配人)	販売量の動き	・当月は例年底の時期であるため、なかなか景気の判断は難しい。
		都市型ホテル (支配人)	販売量の動き	・当地域の観光施設が2月に始まったが、例年より非常に寒いため、客がまだ動いていない。
		都市型ホテル (スタッフ)	お客様の様子	・政権交代し、景気が良くなるといわれているが、今は、皆見比べているような感じで、まだまだ浸透していない。景気は決して良いということではなく、普通の状態であると思う。これからどう変わっていくかは、今後の政策によって大分違うのではないかと思うが、市内においては、やはり空き店舗などが非常に目立っている。まだ客の懐はかっちり固く、潤ってはいない。
		旅行代理店(従業員)	お客様の様子	・旅行に行きたいと思う人は多くなってきたが、単価が上がらない。
		旅行代理店(営業担当)	販売量の動き	・この3か月、当業界には特に大きな変化をもたらす要素がない。
		旅行代理店(副支店長)	お客様の様子	・来客数、成約数が伸びてこない。出張、受験の受付が多く、国内旅行自体の申込が少ない。海外旅行の申込や問い合わせは、少しずつだが増加傾向にある。
		通信会社(経営者)	単価の動き	・円安により仕入価格が高騰している。
		通信会社(経営者)	お客様の様子	・広告やチラシを入れても反応が良くない。
		通信会社(局長)	お客様の様子	・3か月前と変化がない。円安や株価上昇による景気回復感と個人消費が連動していない感がある。
		テーマパーク (職員)	来客数の動き	・入園者数は微増だが客単価が下がっており、全体的には変化がない。
		ゴルフ練習場 (経営者)	来客数の動き	・依然として、商店街では廃業や空き店舗が増えている。新政権になり円安や株高になっても、地方まではなかなか景気に反映されていない。
		ゴルフ場(業務担当)	来客数の動き	・入場者が大変多く、今までにない数字を計上することができたが、単価は下がっている。
		競輪場(職員)	お客様の様子	・入場者数、購買単価共、ほとんど変化がみられない。
		その他サービス [清掃](所長)	それ以外	・量販店の新聞折込の目玉商品は早めに売れているが、その他の商品は大きな変化はみられず、全体的には良い方向に向かっていない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		その他サービス [立体駐車場] (従業員)	お客様の様子	・各テナントを含めた来客数がやや伸びているが、売上単価が下がっているため、総売上等は横ばいとなっている。
		設計事務所(所長)	来客数の動き	・今月までの売上高は、当社始まって以来の最低を記録している。今月は何件かの問い合わせがあったため、その分今後に期待したいが、その可能性は半々といったところである。
		設計事務所(所長)	お客様の様子	・今月は稼働日数が少ないため、客の対応も難しい。厳しい状況ではある。
		住宅販売会社 (従業員)	お客様の様子	・例年の倍以上の積雪、零下20度近くまで下がった強烈な寒さにより、来客がほとんどない。
		住宅販売会社 (経営者)	販売量の動き	・円安や株高の影響はまだない。消費税増税の影響はここ2か月ほど急激に強まったが、それも落ち着いてきてしまっている。
		住宅販売会社 (経営者)	お客様の様子	・相変わらず賃貸住宅、貸店舗等については、家賃のデフレが進んでいる。まだまだ借りの側が大変強気で、もっと下がるだろうと値段交渉してくる。土地についても値引きが当たり前というのが現在常識でおっている感じがしており、まだ不動産に関してはデフレが全く止まらない状況である。
	やや悪くなっている	商店街(代表者)	来客数の動き	・寒さのためか商店街の人通りが極端に少ない。
		商店街(代表者)	販売量の動き	・2月は例年売上の少ない月であるが、買換えの客を含めても非常に動きが悪い。百貨店の催事の売上が戻ったとの話もあるため、ほのかな期待はある。
		コンビニ(経営者)	販売量の動き	・気温が非常に低いため、外出が控えられてしまった感じがする。また、節目ごとに雪が割と大量に降ったことなども、やはり影響していると思う。
		コンビニ(店長)	来客数の動き	・このところ客単価は若干上がっているが、来客数が落ちてきており、そのため当店の景気は若干悪くなっている。
		衣料品専門店 (販売担当)	来客数の動き	・寒さの影響も相当あると思うが、1月の後半くらいからずっと客の動きがかなり鈍い。先行きの不透明感もあってクレジットカードの使用率は低く、客は見て歩く様子もない。街に客が出てきていないというのが実感である。天候と同じように、経済的にもかなり冷え込んでいる。
		高級レストラン (店長)	販売量の動き	・月の前半は前年とほぼ同水準で推移したが、後半になり急激に悪化した。トータルで前年比80%と最悪の状況である。
		一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・例年になく降雪量が多く、また寒さの厳しい日が続いている影響もあり、客の動きが悪い。
		一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・夜の来客数が激減している。
		タクシー(経営者)	お客様の様子	・昼も夜も全体の動きが悪く、前年同月比19%減である。
		ゴルフ場(支配人)	それ以外	・当月は降雪回数、積雪量も多く、加えて低温が続くクローズ日数が増し、売上は激減している。融雪剤や人件費もかさみ、商売にならなかった。
		その他レジャー施設 [アミューズメント] (職員)	来客数の動き	・北関東地方は気温が例年と比べてかなり寒く、客の出足が鈍っている。ある程度の寒さであれば、暖を求めて当店のようなアミューズメント施設に入ってくる客もいるのだが、特に2月中はかなり寒いため、外出自体が少なくなっているようである。特に当地域の場合は車で移動するケースが非常に多いため、今年の場合はこの寒さの悪影響もあると考えている。
		美容室(経営者)	それ以外	・来年度の美容組合立の美容専門学校の入学者数が、久しぶりに定員より多くなっている。その原因は県内志向が強いためであり、県外だと入学金及び他の生活費が増加するため、地元の専門学校に集中しているようである。また、今月の美容院の売上は、1月中旬から客の動きが鈍いため、個人消費が弱く感じられる。
	悪くなっている	一般小売店[衣料] (経営者)	来客数の動き	・当地域はたびたび降雪があり、最近も道路が白くなるぐらい降っている。また、最近では当地域で地震等が発生しており、大変な状況になっている。新聞報道では客は戻ったと言っているが、どうも実感としては戻っていない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		スーパー（経営者）	競争相手の様子	・オーバーストアによる競争激化のため、悪くなっている。
		タクシー運転手	お客様の様子	・例年2月は悪い。当地域では電話がかかってきて迎えに行くのだが、その電話の数が極端に少なくなり、タクシーを利用する客がいなくなっている。
		通信会社（経営者）	販売量の動き	・デザインや広報の費用は必ず最初に削られ、景気が回復するまで戻ってこない。Web系のサイト新設やECサイト構築の流れは多少あるにせよ、実店舗を閉店しサイト販売に絞るのでは、街にお金は落ちない。
企業 動向 関連 (北関東)	良くなっている	その他製造業 〔環境機器〕 (経営者)	受注量や販売量の動き	・環境装置の本業は、エアゾール缶、ガス缶、ライター処理装置、自社製品の直接レンタルリースとプラントメーカーへの販売で安定している。同じく自社製品のフロン回収機は3年間隔の波があり、今は底辺で安定している。現在、太陽光発電の42円買取制度に合わせて、高圧太陽光発電の準備中だが順調に進んでいる。
	やや良くなっている	食料品製造業 (営業統括)	受注量や販売量の動き	・高速道路も回復して工場見学者も増加してきており、販売量は徐々に増えつつある。また、円安が進み、ワインの輸出努力もあり、業界全体が順調に回復しつつある。
		窯業・土石製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・政権が変わり、明るい見通しとなってきている。
		一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・新たな注文ではなく、試作品関係の注文が多くなっている。
		輸送用機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・大手自動車メーカーの今月の実収入の実績をみると、前年比では若干落ち込んでいるが、北米を中心に、全体的に増加傾向に入ってきている。2～3月にかけてピークをむかえつつあるようだ。
		不動産業（管理担当）	受注価格や販売価格の動き	・建物の修繕管理について、今までは複数の見積を取って更に価格を下げようとするが多かったが、それが減ってきている。また、当社ではそれより安くは受けられないと一度断った仕事で、その金額でいいからやってほしいと依頼されるなど、価格の下げ止まり傾向がみられる。
		広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・年度末で販売促進予算を削らない企業が多い。ここ数年、年明け早々から決算対策で予算削減となっていたため、好転しているように思う。
		その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・引合案件が増えつつある。年度末という要因もあるが、投資マインドに変化が見られる。
	変わらない	化学工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・1月の成績は非常に悪かったが、2月に入ってから3月の期末に向けての駆け込み需要がどんどんと出始めている。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・相変わらず動向に変化はない。
		金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・特装車両であるコンクリートミキサー車は、引き続き復興需要があり、受注量はかなり高い水準が続いている。
		一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・油圧ショベル関連の仕事ははまだ回復せず、ベースとなる売上が上がってこない。非常に厳しい状況にあり、内外製の見直しを推進している。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・仕事がない。また、仕事があっても安い。決まった仕事が確保できず、幅広く仕事を探している。悪い状態で変わらない。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・取引先、競争相手等の様子は、この1、2か月は若干落ち気味だが、あまり変化はない。
建設業（総務担当）		受注量や販売量の動き	・年度末を控えているためか、特に変わりはない。	
	輸送業（営業担当）	取引先の様子	・2月は、新入学、新社会人向けの白物家電やインテリア商材、雑貨などの物量を前年並みに確保している。そのなかで、やはりインターネット通販向けの物量は伸びているが、その他は落ちている状況である。また業界として、円安、原油高による燃料高負担により、利益が落ち込んでいる。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		金融業（経営企画担当）	取引先の様子	・観光業は、インバウンド客が低調であり、先行きも不透明である。製造業は、円安の影響が中小下請企業までは届かず、大手企業が生産拠点を海外に移す気配が感じられ、先行き不透明である。
		金融業（調査担当）	取引先の様子	・製造業の受注状況は引き続き厳しい状況にある。非製造業でも所得環境が改善しておらず、消費の伸びもみられない。
		新聞販売店〔広告〕（総務担当）	取引先の様子	・百貨店では、バレンタイン商品を除いて低調で、前年を下回っているとのことである。寒さが長引いていることや降雪日が多いことなどが要因で、春物はさっぱり売れず、外出も控えられているようだと話している。今月のチラシ出稿量は、前年比94%と落ち込んでいる。
		司法書士	受注量や販売量の動き	・やや良くなっていると言えないくらいだが、ほんの少しは良くなっている。また、周囲を見回しても期待感は大変に強く、皆、景気は良くなっていくだろうという見方が多い。
		経営コンサルタント	取引先の様子	・ニッパチの2月であり、地域経済に大きな変化はない。ただし、補正予算の絡みで建設業などに動きがある。
		社会保険労務士	取引先の様子	・以前より景気が話題になることが多くなってきているが、自分の会社の話になると、ほとんどの事業主が何も変わらないと言う。
	やや悪くなっている	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・前年と比べて、当社の受注量は2割程度落ちている。また、知り合いの会社なども、仕事がないため週休3日にするという話がちらほら聞こえてきており、株価と景気が良いという話は全く実感できない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		電気機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・客先が海外生産を新規に立ち上げるとの情報がある。
		その他製造業 〔宝石・貴金属〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・1月は多少動きがあったが、2月になってまた売上の動きが鈍ってきている。店頭は相変わらず低調で、購買単価は低い。高額品も動いていない。円安は、地金の高騰だけでなく、ダイヤモンド等の材料の高騰にもつながり、商品作りが難しく、積極的な展開ができない。昨年の2月より落ち込んでいる。
		不動産業（経営者）	それ以外	・賃貸アパートマンションにおいて、それほど古くない物件での空室が目立ってきているのに、新規物件の建設が多くみられる。多くは土地所有者の税金対策のようであるが、東日本大震災による需要を差し引いても、空き物件増加への不安感を抱かざるを得ない。
	悪くなっている	食料品製造業（製造担当）	それ以外	・円安の影響で原材料価格の改定依頼がきたが、今のところ当社製品の値上げはできず、利益が出ない状態である。
		建設業（開発担当）	受注量や販売量の動き	・受注額は2月末時点で前年比10%以上落ち込んでいる。3月決算で売上高も10%以上落ち込む。今期は人員が自然減で補充もせず原価も削減したが、前期以上の利益計上は難しい。営業に力を注ぎ受注確保にまい進していきたい。
雇用 関連 (北関東)	良くなっている	—	—	—
	やや良くなっている	人材派遣会社（営業担当）	それ以外	・アベノミクスによる円安、株高で、心理的な景況感が上昇している。また、円安により輸出企業が元気である。
	変わらない	人材派遣会社（管理担当）	採用者数の動き	・派遣社員の採用人数の動きは、取引先で採用が増える企業もあれば減る企業もあり、全体的には特に変化はない。
		求人情報誌制作会社（経営者）	周辺企業の様子	・報道などでは、景気が全体的に上向きになっていると報じているものの、近隣の中小零細企業では円安、株高による景気の上昇はまだ感じられない。そのため、求人広告に掲載する企業も先月と同様、少ないのが現状である。
		職業安定所（職員）	求職者数の動き	・新政権に対しての期待感もあり、求職者の活動にも活発な動きがみられ、年末の自己都合退職者や4月の就職を考えての在職者など、新規求職者数は増えている。
		職業安定所（職員）	求職者数の動き	・在職中での求職申込に来所する相談者が、前年同時期に比べて増加している。男性はフルタイム希望のケースで、20代後半と40代前半の年齢層での増加が目立ち、女性はパート希望での44歳以下の年齢で増加している。県内企業の人員整理報道が増えているなかでの雇用に対する不安が、転職への意識を高めている要因の一つと考えられる。
		学校〔専門学校〕（副校長）	求人数の動き	・工場の操業増加などにより非正規雇用の求人数は増加してきている。しかし、正規雇用の求人は、依然として厳しい状況である。
	やや悪くなっている	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・3か月前から比べると、今月は大手企業から引き取りがあり、当社は少し景気が悪い。
		人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・住宅の新築、増改築等については非常に少なく感じられる。募集傾向としては、介護サービスやデイサービスでのサービス業務の募集が目立っているが、製造業については本当に数が少ない。募集用件が自動車関連部品、携帯電話等の電子部品等の一部からはあったが、非常に厳しい。ガソリン、灯油も140円後半と値上がり傾向で、これもまた非常に厳しい感じを受ける。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・それぞれの指標に目立った動きはないが、求人倍率が下降気味である。
	悪くなっている	—	—	—

4. 南関東（地域別調査機関：（株）日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
----	---------	-------	-------	----------------

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向	良く なっている	百貨店（店長）	単価の動き	・アベノミクス効果が、単価の高い物が好調なことからも分かる。円安、株高が本物になりつつある。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明	
関連 (南関東)		その他小売〔雑貨卸〕(経営者)	販売量の動き	・政府の方針が、明確に発信されているからである。	
		都市型ホテル(スタッフ)	販売量の動き	・ひなまつり関連の販売が好調である。	
		住宅販売会社(従業員)	販売量の動き	・昨年末から徐々に客の動きが良くなっており、今年に入って1月下旬から急速に良くなってきた。当社に限らず他の業者からも順調と聞こえてくる。	
	やや良くなっている	商店街(代表者)	それ以外		・クレジットカードの取扱高が前年同月比で6%増である。当地域の特性として、株価が良いと消費量が増えるため、アベノミクスが完全に良い方向に作用している。
		商店街(代表者)	販売量の動き		・商店街全体としては、まだまだ客足が戻ってきているとはいえないが、個人店でみれば客が以前より回帰してきたように感じられる。
		一般小売店〔家具〕(経営者)	来客数の動き		・販売に結び付くにはまだ難しいが、最近、来客数が少し増えてきている。
		一般小売店〔文具〕(販売企画担当)	来客数の動き		・外商系の法人客の物件は、金額は少ないが件数が多くなっているため来客数が多い。また、小売はセールを行っている際に、隣のパン屋がテレビに出たこともある等、様々な要因が重なって来客数が大変増えている。客単価は若干減っているが、それでも何とか押し上げてくれている。
		一般小売店〔茶〕(営業担当)	販売量の動き		・茶葉の販売に加え、抹茶の甘味を併売したことにより、売上、客数共に伸びている。
		百貨店(総務担当)	販売量の動き		・新聞やニュース等で言われているほど、まだまだ景況感は良くなっているとは思えないが、本当に緩やかだが、消費も回復の兆しが若干みえる。
		百貨店(広報担当)	競争相手の様子		・政権交代後は円安基調となり、株価が上昇し、製造業などに明るい兆しがみえている。このことが百貨店顧客の買上心理に影響し、アベノミクス効果が出ている。実際、首都圏の百貨店からは高額品の売行きが好調との声もあり、途中経過であるが2月は売上が前年を上回る店舗が大半で、なかには2桁増の店舗も出ている。
		百貨店(営業担当)	単価の動き		・数十万円クラスの高級時計や絵画が動き始めてきている。
		百貨店(営業企画担当)	販売量の動き		・気温が低いため冬物衣料が好調である。宝飾、時計などの高額品も動きがあり、前年比プラスで推移している。
		スーパー(店長)	来客数の動き		・3か月前と比べて客単価はそれほど変わらないが、衣料と住居関連品の客数は増えている。食品はそれほど変わらないが、冬物の衣料品はやや動きが鈍ってきている。客は購買意欲があるような動をしている。
		スーパー(営業担当)	販売量の動き		・単価はまだまだ上がりきってはいないが、その分を販売数量でカバーしている。円安、株高の影響が徐々に始まってきているのではないかと。
		コンビニ(経営者)	来客数の動き		・政府の景気対策に好感を持っているためか、客の購買意欲が非常に高くなっている。この調子が続けば良い。
		コンビニ(商品開発担当)	お客様の様子		・もくろみ値に対して、今までは全くかけ離れていたが、ほぼもくろみ通りの数値となってきた。
		衣料品専門店(店長)	単価の動き		・1品当たりの購入単価が上がっている。
		衣料品専門店(営業担当)	お客様の様子		・今年は例年にない寒さで、冬物衣料が思いがけず売れている。
		家電量販店(営業統括)	販売量の動き		・時計やデジタル一眼カメラを中心に、高額商品の動きが良くなってきている。その反面、洗濯機、冷蔵庫、テレビなどの耐久消費財は高額商品が伸び悩んでいる。インターネット通販の世界では、値引き、配送スピード改善など、引き続き厳しい競争が繰り広げられている。
		乗用車販売店(経営者)	お客様の様子		・円安が進み、株価も上がり来客が増えてきている。車の売上も伸びてきている。
乗用車販売店(経営者)	販売量の動き		・2月の2週目までは客の動きが良かったが、後半にきて失速している。		

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		乗用車販売店 (経営者)	販売量の動き	・自動車の整備と販売をしており、整備は順調に入っている。販売は先月まではあまり芳しくなかったが、来年から消費税が上がるということで駆け込み需要がそろそろ始まり、今月は良くなってきている。
		乗用車販売店 (総務担当)	販売量の動き	・政権交代し、景気が上向き傾向のなか、自動車販売も若干ではあるが動きが活発化しつつある。ただし、高額のため急増にはつながってはいない。整備面については、安定した収益が得られている。
		乗用車販売店 (営業担当)	お客様の様子	・内閣への期待なのかは不明だが、客全体が景気への期待感からか買換えムードになっている。
		乗用車販売店 (販売担当)	お客様の様子	・新車の商談が随分出てきており、受注も増えている。中古車も復興需要もあって価格が上がってきている。特にダンプカー、ミキサー車、クレーン車の値段が上がってきており、在庫がなく、数が足りないくらいになってきている。徐々に景気が良くなってきているのではないかと。
		その他小売 [ショッピング センター] (統括)	販売量の動き	・3か月前は前年割れとなっていたが、今月はほぼ前年並みである。ただし、円安、株高等による具体的な景気向上は定量的には表れていない。
		高級レストラン (店長)	来客数の動き	・昨年未まで不調だったレストラン利用の来客数及び客単価の傾向がやや良くなっている。
		一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・来客数も増えているが、客が注文する品物の数も若干多めであり、少し高級な品物を注文するような動きがみられる。
		都市型ホテル (スタッフ)	単価の動き	・宿泊は多忙日、閑散日に大きなメリハリをつけて販売し単価が少しでも上がるように工夫した結果、単価が少し上がり客数は大きく増加した。レストランは高単価商品を期日限定で1～1.5割程度値下げして販売したところ、来客数が少し減少した程度でレストラン全体では客単価が上昇し、売上が確保できている。宴会は婚礼で料理単価が限られたパッケージ商品で値下げをしたり、オプション商品の値下げをしたり等の工夫をして新規来館組数の減少を最小限に抑えているため、決定件数が上がり受注が進んでいる。法人宴会は料金の値下げ圧力が強く、受注件数、客数の割には売上が伸びない。
		旅行代理店(従業員)	お客様の様子	・団体旅行の見積、問い合わせ件数が増えてきている。また、年度末の駆け込み需要と思われる間際の予約も増えてきている。
		タクシー運転手	お客様の様子	・昔から2、8月はニッパチとあって景気が良くないと言われていたが、今年は悪くはない。深夜、都心の中遠距離客が多い。遠距離客はグレードの高い車である個人タクシーを選ぶようである。タクシー仕様のプロバン車、法人タクシーはその点、惨めである。しかし、着実にタクシー利用客は増えている。
		タクシー運転手	お客様の様子	・一般的に2月は良くないといわれているが、意外にも売上があり、年明けから少しずつ動きが良くなっている。客からも明るい話題を耳にすることが多く、期待できそうである。
		通信会社(経営者)	それ以外	・新政権の政策期待により、円安、株高となり景気の先行きに明るい兆しが見え始めた。
		通信会社(経営者)	販売量の動き	・昨年未だに販売開始した商品が好調である。2月はテレビ、インターネット関連の顧客の獲得が、当初の計画に比べ20%増となる見込みである。
		通信会社(社員)	お客様の様子	・ここ2か月くらいは、提供しているサービスへの加入件数が安定して獲得できている。
		通信会社(営業担当)	単価の動き	・単価が高くなる付加価値が付いた新サービスの契約数が好調である。消費者はニーズに合ったサービスに対して支出する傾向は上向きにある。
		通信会社(管理担当)	販売量の動き	・政権交代によるアベノミクス効果である。
		通信会社(局長)	販売量の動き	・景気が良いと表現するにはちゅうちょするものの、引越しなどが動く繁忙期のため通信業界の特需は少なからずあり、やや良くなっていると表現できる。
		ゴルフ場(支配人)	来客数の動き	・今月まで冬季料金のためゲストが来場しやすく、予定どおりの来場数を確保できた。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		その他レジャー施設 [アミューズメント] (店長)	単価の動き	・前々月より傾向の出ていた客単価の向上が継続しており、客数の変動によって売上全体が左右されることがほぼなく、安定した売上となっている。
		その他サービス [福祉輸送] (経営者)	単価の動き	・昨年12月末に発表された当社取扱の大型車種が、新車効果で売れており、景気が若干上向きに感じられる。
		その他サービス [保険代理店] (経営者)	販売量の動き	・客の購買意欲が感じられる。数か月前までは、新規の購買が後回しになっていたように感じる。安価な商品で我慢をしていたが、今月は割に高額商品が出ている。
		住宅販売会社 (従業員)	来客数の動き	・展示場への来場が2～3割アップしている。契約数も前期より良い。
		住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・今月の販売量は目標数字の約95%となり、景気はやや良くなっている。3か月前と比べても販売量だけでなく来場客数、商談数も増えてきた。消費税増税の前に動かなければという駆け込み需要が出てきている。
	変わらない	商店街 (代表者)	来客数の動き	・例年より非常に気温が低く、朝は非常に客が動いているが、午後からさっぱり来ない状況であり、総体的に普段と変わらない状況が続いている。
		商店街 (代表者)	来客数の動き	・最近の寒さによって、高齢の客の動きが悪くなっている。少し暖かくなると動きが良くなるとは思えないため、少し心配している。
		商店街 (代表者)	お客様の様子	・昨年12月までと、今年1、2月に状況の変化がある。当店は着物の販売をしているため、振袖の予約状況であるが、昨年場合はまあまあ順調だったが、今年に入ってから急激に悪くなっている。また、単価がかなり下がっている。
		一般小売店 [家電] (経理担当)	販売量の動き	・今月は商品ごとには売れていないが、一式まとめて買う客が多かった。ただし、量販店との値段の競争が激しく、利益が少ない。
		一般小売店 [印章] (経営者)	来客数の動き	・非常に厳しい状況が持続している。政権が交代してから景気が良くなると言ってるが、まだまだ時間が掛かるのではないかと。
		一般小売店 [祭用品] (経営者)	単価の動き	・まだまだ消費を控える傾向が見られる。
		一般小売店 [靴・履物] (店長)	単価の動き	・相変わらず低価格志向の客が増えているが、それと同時に中堅クラス、当店でいえば5千円クラスの注文をする客が増えており、良くなっているのか、悪くなっているのか分からないような状況である。
		百貨店 (売場主任)	お客様の様子	・昨年より気温が低い影響か、セレモニースタイル以外の春物の動きが悪い。まだまだ春スタイルの関心が盛り上がっていない。
		百貨店 (総務担当)	来客数の動き	・今月も来客数の減少が続いており、売上も大変厳しい状態である。景気自体は上向いていると思うが、客は消費に対しては大変慎重であり、目的以外のものの買物は控えている。生活必需品、特に食料品を強化し、デイリーの買物を促進していく。
		百貨店 (営業担当)	単価の動き	・変化はみられず下振れのままである。顧客の関心はやはり価格にあり、今後の不安からかまだまだ反応は弱い。デフレ脱却というが、肝心の給与が上がっていない現状では価格対応は避けられない。
		百貨店 (営業担当)	お客様の様子	・全店改装ということもあり、セール展開を継続しているが、2月に入り売上の伸びが鈍化している。円安基調、株価上昇ということで、一部の高額品については動きがあるが、全体的な数字の底上げにはなっていない。一方、春物の動きが徐々に出てくるはずであるが、気温の低下が続いていることもあり動きが悪い。一般の個人消費についてはまだ回復の兆しは見えてこない。
		百貨店 (販売管理担当)	お客様の様子	・株価の回復もあり、宝飾品や時計などの高額品の購買に関して、今までより強い動きが見られることと、客の購買数量や平均単価に回復が見られる。しかし、来客数は減少傾向にあることから、現在の状況から大きく変わることはない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		スーパー（店長）	競争相手の様子	・競合各社がチラシで値段を出すのは当たり前であり、ポイントカードの2～3倍、または5倍還元を目玉にして集客を図っているが、当社は、そういった販売促進ができないため、客を相当取られている。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・広告初日に客が集中して来店しており、通常日との売上の開きが以前より増してきている。単価や点数も同様の現象で、安い時のまとめ買いが如実に表れている。
		スーパー（仕入担当）	お客様の様子	・今月も来客数、客単価共に前年度を下回っているが、節分が日曜日であったため、週末型の店舗を中心に前年度を10%程上回った。
		スーパー（仕入担当）	それ以外	・競合店が増えるにしたがい価格競争が激しくなり、客の買い回りが増えている。来客数は前年を維持しているが、買上点数や一品単価が徐々に下がってきている。
		コンビニ（経営者）	お客様の様子	・良質なプライベートブランド商品の売上が順調に伸びている反面、ナショナルブランド商品を中心に安価な商品への需要も多く、客の嗜好に変化が生じてはいるものの、売上、客数共に大きな動きはない。
		コンビニ（経営者）	お客様の様子	・近隣の工場の景気が悪く、週休3日になっている。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・客数は増えているが、販売量が落ちている。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・日経平均株価の向上はみられるが、足元の来客数は依然として前年比97～98%で推移しており、3か月前と比べるとトレンドはあまり変わっていない。
		コンビニ（店長）	来客数の動き	・客数が若干戻ってきているが、まだ本調子ではない。
		コンビニ（商品開発担当）	来客数の動き	・来客数の減少については、若干の下げ止まり感があるものの、依然として回復しているとはいえない状況が続いている。
		衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・今月は降雪が多く、その前後は客が減り、非常に客足が良くない。商品はバーゲン価格になっているが、来客数が落ちているため昨対に届かない。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・今月は寒さのため客が少なく、客も春物に興味を示さない。また商店街全体でも通行人が少なく、気候に大きく左右された月である。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・2月は気温が低すぎて外出を控える客が多く、売上は昨対では辛うじてアップしたが、来客数は3か月前に比べて10%落ちている。
		衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・寒い日が多く、冬物衣料の最後の追い込みは順調に進んでいる。しかし、バレンタインに衣料品をプレゼントする人が年々増えていたが、今年は少なかった。景気が悪い状態が続いており、衣料品より安い価格のものになったと思う。
		家電量販店（店員）	お客様の様子	・3か月の傾向をみると、大きな動きがない状態である。
		家電量販店（統括）	来客数の動き	・来客数の減少傾向が依然として続いている。
		その他専門店 [ドラッグストア]（経営者）	販売量の動き	・今季は昨年よりも花粉関連の動きが良いが、全体の数字を上げるには至らない。
		その他小売 [ゲーム]（開発戦略担当）	販売量の動き	・年末に比べると当然ながら全体の景気は落ちるものの、大型タイトルの発売があり、また定番商品の動きも堅調で、国内市場は2月としては盛り上がったほうである。海外市場は特に大きな動きはなく低調である。
		高級レストラン（支配人）	来客数の動き	・法人に比べ個人はやや動きが良くなってきたが、全体的にはまだ景気が回復したとはいえない。件数は前年比プラスになっているが、客単価は低いまま推移している。
		一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・客は価格に対して敏感になっている。若い人は節約で外食は控え、高齢者は高価でも品質を求めている。
		一般レストラン（経営者）	販売量の動き	・3か月前の11月、11月1日～28日までの前年比は、売上91.5%、客数89.76%である。今月、2月1日～26日までは売上98.01%、客数97.7%である。
		一般レストラン（店長）	来客数の動き	・とにかく人が少なく、客が来ないため、3月に閉店することを決断した。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		都市型ホテル（スタッフ）	お客様の様子	・2月は閑散期ということもあり、大きな動きは少ない状況である。景気が上向いているという報道もあるが、数字的には例年並みかそれ以下のため実感はない。
		旅行代理店（経営者）	お客様の様子	・東北、北陸方面が豪雪のため、それに関連した客の動きは非常に鈍い。
		旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・新規の見積、受注が思わしくない。
		旅行代理店（営業担当）	販売量の動き	・新商品の申込状況が悪い。
		旅行代理店（支店長）	販売量の動き	・2月は、海外旅行はなかなか動かないが、その分国内旅行がスカイツリーの関係もあり、動いているため販売量としては良い。しかし、3か月前と比べても変わらない。
		通信会社（営業担当）	お客様の様子	・新聞やテレビのニュースでは好景気になるといわれているが、顧客である地元の小売業やマンション賃貸のオーナーから良くなっているとの声を聞かない。もうしばらく時間が掛かりそうである。
		通信会社（局長）	販売量の動き	・2月のケーブルテレビ契約数は昨年並みで、インターネットはやや上昇の傾向にある。ただし、これは当社営業のマンパワーだと思う。市場自体はあまり変化はない様子である。
		通信会社（営業担当）	お客様の様子	・加入動向や解約理由から、特に変化は感じられない。相変わらずサービス内容よりも料金を理由に加入サービスコースは選択され、解約にしても、家計の見直しといった無駄を省こうとする理由が多いことに変わりはない。
		観光名所（職員）	来客数の動き	・3か月前の12月はやや旅客が多い月であるが、2月は一番の閑散期になるため、どちらとも言えない。
		パチンコ店（経営者）	単価の動き	・夜もそうだが、特に朝のスタート時に約7割ぐらいの客は、低玉貸しといってあまりお金を使わないで遊べるコーナー、1発が1円のイチパチで遊ぶ。単価の動きから、変わらない。
		設計事務所（所長）	お客様の様子	・建築設計の情報は少ないが、コンサルタント業務のみ多く、実質の動きはない。
		設計事務所（職員）	それ以外	・具体的な変化は感じられない。
		住宅販売会社（経営者）	単価の動き	・当社は住宅を扱う不動産開発業と総合建設業であるが、不動産価格は下がり続けて今まさに底値の状態である。多少インフレ気味に進行しないと良くならない。工事の請負では、東日本大震災の復興関係の影響で工事原価が高騰しているにもかかわらず、公共工事を含めた請負価格は低いままの状態のため、赤字になってしまうこともある。このままでは景気は良くならない。
		住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・契約については、消費税増税を意識したユーザーが出始めている。一方、ローン控除の見直しをしているユーザーもあり、それほど駆け込み需要は見られない。いずれにしても売上は変わらず横ばいである。
		住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・アベノミクスにより、景気回復に対する期待感の高まりは随所に感じられるが、今のところ販売拡大という具体的な成果には結びついていない。
		その他住宅〔住宅資材〕（営業）	販売量の動き	・建材の客を中心に景気の良い話は聞くが、具体的にはまだ何も動いていない。
やや悪くなっている		一般小売店〔家電〕（経理担当）	販売量の動き	・3か月前の年末と比べると、やや悪くなっている。細かい仕事が多く、手間の掛かる仕事の依頼が多い。粗利は良いが、月商がなかなか伸びない。
		一般小売店〔茶〕（営業担当）	販売量の動き	・現在の中小企業に対するお茶の販売を左右するアイテムとして、自動給茶機は大きな売上を築いているが、自動給茶機本体の売上が、ほぼなくなってきた。企業の福利厚生費では機械の買取はほとんどなく、レンタルばかりである。お茶のランクはますます徳用煎茶クラスが伸びている。
		百貨店（販売促進担当）	お客様の様子	・客の動向として、まだまだ必要なもの以外は購入せず、無駄にお金を使わないという傾向がみられる。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		スーパー（経営者）	来客数の動き	・3か月前の12月は比較的良かったため、今月はそれよりは少し悪い。その理由の1つとして雨などが多く、天候が安定していないことがあると思うが、来客数が減って客単価が少し上がっているような感じである。
		スーパー（総務担当）	お客様の様子	・2月はこれだけ気温が冷え込んだにもかかわらず、衣料品の売上が前年比でほぼ同じである。しかし、頻度性の高い食品の売上が前年よりも10%近く落ちている。特に魚関係、加工食品等の伸びが非常に悪くなっている。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・近隣のスーパーの影響があり、また、今年の2月は気温が低く、来客数が減っている。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・天候が非常に悪かったため、この1～2か月は来客数が非常に悪かった。
		衣料品専門店（営業担当）	販売量の動き	・今月は前年比ぎりぎり100%を取ることができた。しかし昨年の前年比が85%だったため、比較にはならない。今年は寒さが長く、冬物がある程度引っ張ったことが良かった。また、細かな動きでは、仕入を週3回くらいにし、売れ筋だけを少しずつ回しているという状況である。客の様子は極めて厳しい。
		住関連専門店（統括）	販売量の動き	・土日の来店客数はある程度あるが、100%販売に結び付かないのが現実である。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・来客数が少ない割にはコンスタントに来る客も増えているため、少しずつ景気は上向いているような気がする。しかし、2月は当業界では一番暇な時期であり、3か月前と比べると確かに悪くなっている。
		タクシー運転手	お客様の様子	・今月は景気が上向くかと思ったが、逆に悪くなったような気がする。当業界の景気が良くなるのは、まだまだ時間が掛かるのではないか。
		タクシー運転手	来客数の動き	・12、1月が1年のなかでも一番良い状況のため、今現在は少し悪くなっている。
		タクシー（団体役員）	お客様の様子	・マスコミ等は、円安、株高などで景気が改善する見通しであると報道しているが、今月は輸送実績、営業収益共に3か月前と比較して約10%減少した。
		通信会社（営業担当）	販売量の動き	・主力商品であるデジタル多チャンネルサービスの契約数が、昨年の実績を大きく下回っている。
		通信会社（総務担当）	お客様の様子	・収入が増えず、逆に減っていることから購買、飲食等の支出抑制が進んでいるようである。家庭内でも同様に支出抑制が浸透し、できるだけ安価なものという傾向にある。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・卒業式、入学式、入社式があるため、いくらか人の動きが出てくる。
		設計事務所（経営者）	それ以外	・当社は行政の仕事が約6～7割を占めている。2月末においては行政の年度末ということになり、新しい仕事の発注は出ていない。また指名も出ていない。行政の仕事が少なく、民間の仕事もホームページを通じてPRを重ねて頑張っているが、全体的に動きが鈍く足踏みをしている。
		設計事務所（所長）	競争相手の様子	・この不況下で倒産業者が多いが、倒産する業者から分裂して同じような業者がまた増えるため、個人営業をしている会社が非常に増えている。そのなかで、仕事量が逆に少なくなるという現象が起きており、非常に競争激化、なおかつ景気が上向かないというのが現状である。
	悪くなっている	商店街（代表者）	販売量の動き	・世間では景気上昇の話になっているが、私の周りには依然として冷え込んでいる。
		一般小売店〔和菓子〕（経営者）	来客数の動き	・雪の影響や厳しい寒さが続いたため、来客数が減少して売上につながらない。
		一般小売店〔文具〕（経営者）	販売量の動き	・当地域は鉄道会社の計画のため、商店街では店舗が閉められたり、計画に入っている関係で人通りがない。客はこの寒さの影響で、必要以外の物は買わないため、売上が非常に落ち込んでいる。
		一般小売店〔食料雑貨〕（経営者）	来客数の動き	・競合店の影響が大きく、世間の景気とはかけ離れている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・当店は駅に近いということもあり、比較的来客数は安定している。例年7～8月が一番ピークであり、一番の底が1月になる。1月から2、3月と、本来であれば客数は上がるが、今年に限っていえばその兆候がみられない。今年は降雪の予報が出ると、買い控え、あるいは前日に買物を済ます、ネットスーパーで運んでもらい、出歩かないでいいようにする傾向が顕著に現れて客数が減っている。
		その他小売〔生鮮魚介卸売〕（営業）	販売量の動き	・円安による輸入商品の便乗値上げや、天候不順の影響で売れなくなっている。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・3か月前と比べて予約、特に宴会等が随分減った。そのため来客数が随分減っている。景気動向がまだまだおかしいのではないのではないか。
		一般レストラン（スタッフ）	単価の動き	・テレビでは円安、株高といっているが、まだまだ景気は良くない。明るい兆しがみえ、良い方向にいっているが、皆のところへ回ってくるのはまだまだ先だと思ふ。来客はあるが、客単価がかなり安い。業種にもよるが、給料が上がらない限り、客はあまりお金を使えないと思ふ。
		ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・ゴルフ場は天候の影響を大きく受け、1月の降雪等で、今冬も昨年以上に厳しい状況である。しかし、天候だけの要因ではなく、やはり景気は緩やかだが悪化している。
企業動向関連 (南関東)	良く なっている やや良く なっている	—	—	—
		食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・店頭販売は前年割れの状態が続いているが、額の大きな注文が入り、売上は良くっている。
		出版・印刷・同関連産業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・印鑑やゴム印、名刺の印刷などを行っている。問屋の支払は通常15万円前後だが、今月は20万円以上あった。また、会社の設立品がどれだけ売れたかが1つの目安となるが、5、6本が例年並みのこと、今月は7本あった。通常木製のつげの一番安い物が多いが、今回は黒い水牛、白い水牛という珍しい注文が出ており、つげの値段の高い良い物も注文する客が出てきている。
		金属製品製造業（経営者）	取引先の様子	・生産調整や帰休を行っている得意先もあり、生産量が減っている得意先のほうが多いように思うが、生産量が増えている得意先もある。
		精密機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・今月よりは来月が微増である。客先の生産の3か月見通しでは各月5%程度の動きであり、業種によっては2桁の伸びである。ただし、昨年春までの回復にはなっていない。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・とにかく人手不足になっている。ただし、これが本当の回復基調なのか、消費税増税前の駆け込み需要なのかは微妙なところである。また、復興に人手がとられているのかもしれない。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・年度末ということもあって小さい工事ではあるものの、動き出している。ただし、職人不足で困っている状況である。
		建設業（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・景気対策や株価の上昇に伴い、物資価格が上がり始めている。
		輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・このところ景気が上向きであるような動きが出てきつつある。しかし、これが実体なのかまだはっきりとつかめないところがあるが、いずれにしても明るさが出てきたという感触はある。
		金融業（統括）	取引先の様子	・円安と株高によりマインドが多少良くなっている。
		金融業（支店長）	取引先の様子	・アベノミクス効果による円安、株高が進行し、国民が金融市場に興味を示し始め、投資意欲もおう盛になってきている。
金融業（役員）	取引先の様子	・全体的には景気上向きという実感に乏しいが、一部業種、例えば不動産については、確実に改善されている。		

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		不動産業（総務担当）	取引先の様子	・仲介業者を介しての入居の場合は、相変わらずフリーレント6か月が常識的になっていることが不満ではある。しかし、3か月前と比べれば、明らかに当社賃貸ビルに対する新規入居問い合わせのほか、既存テナントからの増床要望等が増えている。
		税理士	取引先の様子	・アベノミクスの効果で期待がもてるため、消費活動も活発になりつつある。
		経営コンサルタント	取引先の様子	・企業間の格差はあるが、前年同月より売上増の企業がある。
		経営コンサルタント	取引先の様子	・消費財、飲食関係は、業績を伸ばしている。消費者の財布のひもが緩んだわけではなく、選択的購買行動ではあるが、良いものを購入する人の動きが大きくなっている。機械加工などの製造業には、まだ良くなっている雰囲気はない。
		その他サービス業〔ソフト開発〕（経営者）	それ以外	・株価上昇のためか、デパートの人出は多くなっている。ただし、飲食はまちまちである。
		その他サービス業〔情報サービス〕（従業員）	受注量や販売量の動き	・インターネット対応のマンションにグレードアップする取組みを実施しており、2月に入ってから新規での受注件数が伸びてきた。前年同時期にはまだほど遠いが上旬より中旬、中旬より下旬が良くなってきており、着実な回復基調となっている。
変わらない		繊維工業（従業員）	受注量や販売量の動き	・昨年秋以降、天候不順の影響で衣料品の売上が思うように伸びていない。
		出版・印刷・同関連産業（経営者）	取引先の様子	・アベノミクスと言われているが、現実にはいまだ直接影響してきているとは感じられない。
		出版・印刷・同関連産業（経営者）	競争相手の様子	・官公庁関連の仕事は年度末のため例年並みに発注があるが、一般企業からの発注が少なく、先行きが不安である。
		出版・印刷・同関連産業（所長）	受注量や販売量の動き	・年度末関連の受注の落ち込みが目につき、前年の数字確保には程遠い状況である。
		出版・印刷・同関連産業（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・受注件数は前年同月の目標を3か月間達成できたが、販売価格の下落で売上は未達である。
		出版・印刷・同関連産業（総務担当）	競争相手の様子	・同業社は皆、受注に苦労してる様子がうかがえる。
		プラスチック製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・最近の円安で輸出関連の受注が若干増加したが、内需関連は一進一退を繰り返しており、景気回復状況には程遠い。
		プラスチック製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・政権交代し、アベノミクスといわれているが、まだ具体的な動きは出てきていないため、特に景気が良くなったという結果は出ていない。
		金属製品製造業（経営者）	取引先の様子	・年度末で仕事は忙しいが価格が厳しく、利益につながらない。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・株価が上昇し気分的にはやや明るくなっているが、実際には当社の受注が増えているわけではない。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・景気ウォッチャー調査開始時から、もう10年以上経っているが、リーマンショック後から景気の内容が全然変わってしまっている。皆、海外へシフトしてしまい、町工場がどうのではなく、国内の仕事量の絶対数が少ない。そのため少しのことで上がったたり下がったり、伸びたり縮んだり安定しない。困ったことである。
		その他製造業〔靴〕（経営者）	取引先の様子	・仕事の量、内容についてはこのところ安定している。ただし、得意先の意見としては一生懸命努力してのことであり、厳しいことには変わらない。
		建設業（経理担当）	受注価格や販売価格の動き	・ここに来て工事案件がいくつか出てきているが、相変わらず予算が厳しい案件ばかりで受注に結び付かない。材料費、人件費の値上がりだけが目立ち始めている。
		輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・配送先であるコンビニの新規出店が、ここ数か月増加をしており、好材料になるかと期待しているが、1店舗当たりの納品量の減少が続いており、手間の増加に収入が伴わず、収支のバランスが悪化してきている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明	
		輸送業（経営者）	取引先の様子	・荷主の話では、景気が良いとも悪いとも言えない。たまたま先月あたりから荷物の動きが少しあるため、我々に荷物が流れてきている。	
		金融業（渉外・預金担当）	取引先の様子	・為替、株価動向は好転し、機運も高まっているが、足元の実態には動きはなく、受注量等も大きな変化はない。	
		金融業（支店長）	受注量や販売量の動き	・当社取引先の受注量は、ここ2、3か月は変わらず少ないとのことである。また、円安、株高になっているが、取引先の中小企業の製造業、小売業に関してもやはり受注が少なく、売上が少なくなっているのが現状であり、上がる見込みがあまりない。	
		不動産業（経営者）	競争相手の様子	・駅から3分の鉄筋RC4階建て19所帯、ワンルーム25平米が、先月までは8戸未契約だったが、この繁忙期に残り1室になった。昨年6月完成で8か月経過しているため、苦戦している。先日新築をしたいと相談に来た客がいたが、状況を説明して中止にした。	
		広告代理店（経営者）	受注量や販売量の動き	・売上の下落傾向が改善されないままずっと続いている。打開策を模索しているが結果に結びつかず、時間ばかりが過ぎていく状況が続いている。	
		広告代理店（従業員）	取引先の様子	・世間は景気回復に向かっているが、4月以降の明るい話は少ないようである。	
		広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・年度内予算のせい、現状はあまり変化がない。クライアントを含め、来年度は期待している。	
		経営コンサルタント	取引先の様子	・駅前商店街の酒店店主の話では、酒類の買物にも価格志向の傾向が強くなってきた。一頃好調だった第3のビールも、これまでの価格では売れなくなってきた。スーパーが安売りをしており、加えてプライベートブランド商品が幅を利かせ、価格が一段落ちている。財布のひもを締めている主婦の目は、こちらを向いてくれないとのことである。	
		税理士	それ以外	・最寄駅に向かっいつも歩いているが、商店街の飲食店、食堂や飲み屋は、昔は皆そこそこ入っていたが、夜、外から見ると限りでは全く客が入っていない。	
		社会保険労務士	取引先の様子	・給与計算を請け負っているが、給与の遅配等が見られる会社がある。	
		その他サービス業〔映像制作〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・全体的には上向きの傾向だと思うが、映像の業界では、いまだ顕著な傾向はあまり見られない。	
		その他サービス業〔廃棄物処理〕（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・にわかには忙しくなっている気配はあるが、価格が抑えられ、結果的に売上減少を招いている。まだデフレ傾向が続いている。	
		その他サービス業〔警備〕（経営者）	取引先の様子	・公共事業の受注が増えている。	
やや悪くなっている		一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・景気が良くなるよう頑張っていくしかないと思うが、政治の影響は大きい。少しでも良くなるよう頑張ってもらいたい。皆で頑張らなければならない。	
		一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・全体的に注文が低迷している。	
		輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・年末は受注量も多かったが、新年に入り減少してきている。3月も不透明である。	
		輸送業（総務担当）	取引先の様子	・荷主の出荷量は、年度末にかけて増えてきたが、計画を下回る量である。	
		通信業（広報担当）	受注量や販売量の動き	・2月は前年比でマイナスに落ち込んでいる。	
		悪くなっている	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・引き合いは少し増えているが、成約率はほぼ変わらない。全般的な景気の見通しは良くなっているようだが、当業界の状況は決して良くない。
			建設業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・商品が売れない。
雇用関連 (南関東)	良くなっている	—	—	—	
	やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・年度末ということもあるが、企業からの求人が増加している。特に今まで依頼が減少傾向にあった事務系のオーダーも増加傾向にある。	
		人材派遣会社（社員）	周辺企業の様子	・業界別に強弱はあるものの、ならしてみても顧客からの需要は活発である。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		求人情報誌製作会社（営業担当）	周辺企業の様子	・求人数は従来と同様に低調のままだが、今月は学習塾やエステ関連、飲食などのオープニングスタッフの募集が目立った。起業あるいは業務拡張の機運が高まっているのではないかと。
		求人情報誌製作会社（営業担当）	求人数の動き	・4月に向けての需要が、今月あたりから高まっている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・1年前の状況と比べると、電子、電気の製造業等では、求人が少し増加している。また、食品加工の関係で大型求人が出ている。今までなかった求人のため、求人だけをみると、やや良くなっている。
		民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・先行きの不安はまだあるが、かなり前向きな思考となってきた感じがする。幅の広い職種で期待できそうである。
		民間職業紹介機関（職員）	求人数の動き	・3か月前の12月は新規求人数が少し減少し、採用実績の前年比の数値も落ちてきていたが、直近は持ち直してきている。
		民間職業紹介機関（職員）	求人数の動き	・全体的な傾向ではないが、担当する医療業界に関しては求人数が若干増えている。
	変わらない	人材派遣会社（営業担当）	採用者数の動き	・時期的に求人、求職者が増えている傾向がある。しかし、時期的傾向を超える増加には至っていないようである。
		人材派遣会社（営業担当）	採用者数の動き	・全体的に見ても求人数は微増である。特に住宅、建設、土木等の業界は求人数が増加傾向にある。しかし、採用者数は求人数に比例して増加しておらず、各企業が求めるスキルレベルが高くなり、従来より採用が困難になってきている状況である。
		人材派遣会社（支店長）	それ以外	・前年同月と比べて派遣依頼数は増えているが、契約終了数を補う程度の成約数しか見込めない。
		求人情報誌製作会社（編集者）	採用者数の動き	・新卒マーケットは、人事部が学生対応の佳境にあり、新規案件の問い合わせは少ない。
		職業安定所（所長）	求職者数の動き	・求職者は減少しているが、その幅は小さい。上向きになるとまでの判断はしにくい。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は9か月連続で上昇しており、今月においても10%以上の増加が見込まれる。パートタイムの求人の増加が特に目立っており、フルタイムとパートタイムの求人数がきつ抗している。景気は上向いているようにも思えるが、正社員の求人の増加には至っていない。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・一般、パート求人共に前年比で増加しているが、増加率は低くなっている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・大手宅配フランチャイズ会社より大量求人も見られるものの、雇用形態はアルバイトで正規雇用求人は増えていない。
やや悪くなっている	学校〔短期大学〕（就職担当）	求人数の動き	・保育系の業界の求人はいまだにあるが、一般企業の求人はなく、届くのは次年度の求人票である。それも前年同月において少ない感じがする。	
	学校〔専修学校〕（就職担当）	求人数の動き	・今年度及び来年度の卒業予定の学生向け求人において、前年同月比ベースで微増状態であり、大きな変化はみられない。	
悪くなっている	新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・今月は2月にもかかわらず、新規で22件獲得できた。しかし、廃業1社、倒産2社、大口のユーザー2社が激減したのが相当こたえた。新規獲得数にもかかわらず、その影響で売上は少し下がった。	
		—	—	—

5. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング（株））

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連 (東海)	良く なっている	商店街（代表者）	お客様の様子	・アベノミクスでどんどん良くなっていく。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	来客数の動き	・遷宮関連行事が、これから連続して行われる。地域住民が熱心に活動していることに加えて、参拝客数、観光客数も増えている。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	販売量の動き	・遷宮が近づき、周辺を中心に活況である。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		スーパー（総務担当）	販売量の動き	・乗客数は、前年同月比で3.6%以上も増えている。
	やや良くなっている	一般小売店〔酒類〕（経営者）	来客数の動き	・前年の同時期と比べると、飲食店街への人の流れが出てきている。特に若者が出入りする店に、変化が出てきている。
		百貨店（売場主任）	お客様の様子	・クリアランスは例年ならば2月初めで終わるが、今年は26日までクリアランス商品を出している。セールでは客は立ち止まって見てくれるが、セール品よりも定価品を買っていく客が多い。夕方来店する客は、ほとんどが目的買いであり、夕方6時以降の売上が良くなっている。
		百貨店（経理担当）	来客数の動き	・自社を含む小売業全般で、コストパフォーマンスを重視した選択型消費の傾向は変わっていない。しかし、前年同月を上回る来客数の動きから、消費意欲は持続的に改善している。
		百貨店（販売促進担当）	来客数の動き	・クリアランス、バレンタインデー、物産展などにより、好調に推移している。アベノミクスによって、消費マインドがやや上向きになっている。
		百貨店（販売担当）	来客数の動き	・富裕層は安定しており、その次の上位顧客にも動きがある。景気に影響されやすい層でも、活発ではないものの動きが出始めている。提案に対して無反応ではなく、反応が出やすい状態へと変化している。ただし、天候等の影響を受けやすく、安定はしていない。
		百貨店（販売担当）	競争相手の様子	・今月の売上は前年同月比で150%を超えており、非常に好調である。同業者も同様であり、全体的に好調である。消費税増税前の需要もあるかもしれないが、久しぶりに明るい様子である。
		百貨店（経営企画担当）	お客様の様子	・寒さの影響もあり、衣料品の動きは鈍い。しかし、宝飾時計、海外輸入ブランド等の高額品の動きは、引き続き活発である。
		スーパー（商品開発担当）	販売量の動き	・厳しい状況は続いているが、下限価格帯であるプライベートブランドのヨーグルトや豆腐を中心に販売は伸び、下げ止まり感が出てきている。
		家電量販店（店員）	来客数の動き	・来客数が、前年同月を上回るようになってきている。ただし、全体的な平均単価は依然として低く、前年同月を上回るのに苦戦を強いられている。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・新型車の投入効果により、販売台数は堅調に推移している。
		乗用車販売店（経営者）	来客数の動き	・車検等による来客数が、多くなっている。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・年末と比べて、1、2月の販売台数は大幅に増加している。ただし、前年同月の販売台数と比較すると、エコカー補助金の終了に伴い、2～3割は減少している。
		乗用車販売店（従業員）	来客数の動き	・販売量の動きは、少し良くなっている。少し高い車が売れている印象がある。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・以前と比べると、店頭への来客数が増えており、活気も出てきている。ただし、前年同月と比べると、受注台数は1割程度減少しており、市場はまだ厳しい。
		乗用車販売店（総務担当）	販売量の動き	・株高による資産効果と、ガソリン高に伴う低燃費車への買換え効果で、新車販売は上向いている。
		住関連専門店（営業担当）	販売量の動き	・一戸建て住宅、分譲住宅、分譲マンション、賃貸共に、上昇傾向である。リフォームも伸びている。消費税増税を前提に、早めに購入する動きが出ている。また、公共投資も増加傾向にある。
		高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・来客数が減少傾向にあるなか、客単価は持ち直している。また、イベントに対する客の反応も、やや改善してきている。
		一般レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・週末の客の動きが良くなっている。
		その他飲食〔仕出し〕（経営者）	販売量の動き	・政権が安定し、株高などの好影響のもと、少しずつではあるが良くなっている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		観光型ホテル (販売担当)	単価の動き	・ここ数か月間は時期的な理由もあるが、宿泊稼働率の低下が気になる。しかし、周囲の競合他社の動きをつぶさに見渡して、単価上昇を図った施策により、収入は予算目標、前年同月共にクリアしている。宴会部門は、最近では製菓関連の動きが明るく、利用頻度が上がっている。今後は、住宅関連などの駆け込み需要がターゲットになるかもしれない。
		都市型ホテル (経営者)	お客様の様子	・政権交代後の景気の動きに、民間は敏感に反応している。
		旅行代理店(経営者)	お客様の様子	・来客数は順調に伸びており、客の様子も期待を込めて明るい感じがする。
		旅行代理店(経営者)	販売量の動き	・1月中旬以降、受注は右肩上がりの傾向にある。一時的なものかと思っていたが、爆発的な受注はないものの、今月も比較的堅調に受注している。
		旅行代理店(従業員)	お客様の様子	・急激に円安が進む中、卒業旅行シーズンともあいまって、海外旅行の駆け込み申込が増えている。3月までは、旅行申込の増加が続くと予測する。
		タクシー運転手	来客数の動き	・寒い日が続いているにもかかわらず、夜の利用客が多い。中距離、長距離の客がある。
		通信会社(企画担当)	販売量の動き	・解約数はあまり減っていないが、新規契約や新規加入の問い合わせが増えており、反応は良くなってきている。
		通信会社(サービス担当)	来客数の動き	・光回線の最高スペックへの切替えと、長期割引のサービス申込が増えている。また、引越シーズンに入ったため、移転に伴う新規申込も増えている。
		通信会社(営業担当)	お客様の様子	・デパート等へ買物に出掛けると、中年夫婦の買物客が前年と比べて増えている感じがする。
		テーマパーク (職員)	来客数の動き	・わずかながら、来場者数は増えている。良い方向に向かっている。
		美顔美容室(経営者)	販売量の動き	・ホワイトニングの商品が、出るようになってきている。
		住宅販売会社 (従業員)	お客様の様子	・客は、少しばかり前向きに住宅新築を考えるようになってきている。
	変わらない	商店街(代表者)	それ以外	・長年付き合いのある取引業者が、3月いっぱいまで廃業する。また、別の業者からも、夏を目途に廃業するとの連絡が入っている。中小企業ではまだまだ試練が続いており、厳しい景気状況である。
		商店街(代表者)	販売量の動き	・売上の前年同月比は変わっておらず、下げ止まっている。ただし、来客数は増えているが、客単価が下がっている。
		商店街(代表者)	販売量の動き	・来客数が少ない。客単価も低く、販売量や売上に結び付かない状態がずっと続いている。
		商店街(代表者)	販売量の動き	・客に購買意欲は見られるが、それが売上に繋がっておらず、あまり変わっていない。
		一般小売店〔高級精肉〕 (企画担当)	販売量の動き	・食品には、景気好転の兆しはまだまだ見られない。
		一般小売店〔生花〕 (経営者)	販売量の動き	・円安になっても、景気が上向いているとは思えない。必要なものだけ買う傾向はまだまだ続いており、依然として財布のひもは固い。
		一般小売店〔時計〕 (経営者)	来客数の動き	・客単価が低い。
		一般小売店〔薬局〕 (経営者)	来客数の動き	・厳しい寒さのため、客の動きが悪い。飲食店も含めてどこの店に聞いても、暇とのことである。この寒さでは、買物に行きたくないのも当然かもしれない。インフルエンザ、風邪も、全体的には流行していない。今年は多いとされる花粉症次第である。
		一般小売店〔自然食品〕 (経営者)	販売量の動き	・前年と同じような推移で動いている。
		一般小売店〔食品〕 (経営者)	お客様の様子	・例年になく寒さが続いており、商店街の来客数もやや少なめである。客からは近くで用事を済ませようとする様子が感じられ、前年同月と同程度の実績である。野菜や輸入食材が値上がりしているが、価格転嫁できない厳しさがある。
		一般小売店〔贈答品〕 (経営者)	お客様の様子	・全体としては変わっていないが、良い先と悪い先が混在して二極化している。プラスの傾向もマイナスの傾向もなく、収支はとんとんである。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		一般小売店〔書店〕（経営者）	単価の動き	・小売店では政権交代に非常に期待しているが、まだ実感できるところには至っていない。客が単価の高い商品を買いはじめたと思う日もあれば、やはり変わらないと思う日もある。少しずつ良くなっているが、現在はまだ波があり、全体としては変わっていない。
		百貨店（売場主任）	お客様の様子	・例年よりも寒いせいか、春物がまだ動いていない。その代わりに、例年ならば動きが終わっている冬物の手袋、マフラー等の小物が、まだ売れている。
		百貨店（経理担当）	来客数の動き	・円安、株価上昇に伴い宝飾品等の動きが良くなっているとの報道があったが、そうした実感はまだない。気温がなかなか上がらないため、売場では春物へと移行した衣料品も低調である。
		百貨店（営業企画担当）	販売量の動き	・このところ、購入率が低下しており、前年同月比はマイナスが続いている。高額品の動きはまずまずであるが、大きな変化は見られない。
		スーパー（経営者）	お客様の様子	・円安が続き、デフレは徐々に収まってきている。円安は原油価格の上昇につながり、電気・ガス、クリーニング等の料金が値上がりしている。景気はまだ良くなっていないため、本年入学する大学生の親の収入も増えておらず、東京方面の大学に行きたいのに我慢して地元の大学に行くという人が増えている。景気が良くなっているという実感はない。
		スーパー（店長）	単価の動き	・客単価は前年同月比96%前後で推移しており、低迷が続いている。特に買上点数が増えていない。必要な物だけ購入し、余分には買わないといった節約行動が続いている。
		スーパー（店長）	単価の動き	・単品単価の下落は、まだ続いている。それによって、客単価も前年同月を下回る状態にある。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・株価は上がっているが、それが賃金上昇に結び付いていない。そのため、販売量もすぐには増えない。
		スーパー（店員）	販売量の動き	・年末と比べると、必要最低限の買物で済まそうとしている様子がうかがえる。単価が高い牛肉などの商品は控えられている。
		スーパー（店員）	単価の動き	・単価はずっと変わっていない。必要な物しか買っていかない状態が続いている。
		スーパー（店員）	販売量の動き	・販売量は、悪い状態が続いているわけでもなく、良かったり悪かったりを繰り返している。良くも悪くもなっていない。
		スーパー（営業担当）	販売量の動き	・販売点数は変化しておらず、単価も上がっていない。変化はない。
		スーパー（販売促進担当）	お客様の様子	・今月も、前年同月比4ポイントほどのマイナスである。2月後半は、食品を中心として多少上昇傾向が見られるが、当店全体では変わっていない。
		スーパー（支店長）	お客様の様子	・買い控えは、まだ続いている。
		スーパー（販売担当）	来客数の動き	・来客数は、平均するとずっと変わっていない。
		コンビニ（企画担当）	来客数の動き	・円安によって輸出は上向きと言われているが、来客数の前年同月比は変わっていない。
		コンビニ（エリア担当）	それ以外	・売上は、前年同月を上回らない状態が継続している。良くなってはいない。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・来客数の前年同月比は、前月と同様に大きく落ち込むことなく、横ばいで推移している。しかし、単価は少し低下しており、消費者は景気動向の様子を見ている。
		コンビニ（店長）	来客数の動き	・客が無駄な物を買わない状態は、ずっと続いている。3か月前とほとんど変わっていない。
		衣料品専門店（販売企画担当）	販売量の動き	・販売量の前月比は確かに伸びてきており、良くなりつつあるが、前年同月比で見ると、まだ少ないくらいである。全体的にまだまだ景気は回復していないが、客との会話からは、最悪期を脱した雰囲気は感じられる。
		家電量販店（店員）	販売量の動き	・販売不振は底を打ち、上昇に転じると予想していたが、実際には特に伸びていない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明		
		家電量販店（店員）	お客様の様子	・建築業では、消費税増税前の駆け込み需要がある。東北地方の復興関係に伴う人手不足や品薄も、入り混じっている。ただし、消費面には、あまり影響は出ていない。		
		乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・販売量は増えてきているが、客との会話では、景気が良い人と悪い人の差が激しい。		
		乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・一部の企業では景気回復の兆しを感じているかもしれないが、中小企業の多くは厳しい経営を続けている。		
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・政権交代に伴い、多少良い状態が続いている。		
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・1月から決算に向けての取組により、販売台数は目標値を達成している。来客数も前年同月を上回っており、活況と言って良いかもしれない。ただし、維持費を安くしたいためか、燃費の良い小型車ばかりが売れており、点検等も受けない傾向が増えているため、収益は前年同月と変わっていない。特に夫婦世帯、家族世帯では奥様の維持費に対する目が厳しく、今まで以上に詳しい説明を求められるケースが多くなっている。		
		乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・人気の輸入車種もあるが、在庫が少なく、登録台数には結び付いていない。		
		その他小売 [ショッピングセンター]（経理担当）	販売量の動き	・政権交代があり、マインドは上向きになっていると推測されるが、具体的な数字には表れていない。		
		都市型ホテル（支配人）	来客数の動き	・企業の宴席は、相変わらず伸びていない。宿泊については、件数は悪くないが価格に敏感であり、また間近での予約ばかりである。		
		旅行代理店（経営者）	お客様の様子	・景気回復の兆しは、まだ感じていない。何の実感もない。		
		旅行代理店（経営者）	単価の動き	・依然として、単価は横ばいである。円安のため、時期によっては航空運賃が高くなりつつあるが、その分は格安航空会社が埋めていくと思われる。		
		タクシー運転手	来客数の動き	・例年2月は落ち込みが激しい時期であるが、それほど極端な落ち込みはない。		
		タクシー運転手	お客様の様子	・今月は天候が非常に荒れて、みぞれ等が降ったりし、通勤時間帯のタクシー利用客が多かった。風邪等も流行っており、病院へ出掛ける利用客も多かった。ただし、金曜日以外の夜間の利用客数は、特に月、火曜日が少ない。		
		タクシー運転手	来客数の動き	・動きはあまり良くない。夜の繁華街、飲食店街の出入が少なく。飲食店の経営者や客の中には、良くなってきたと話す人もいるが、全然良くなっていないという声の方が多い。		
		通信会社（営業担当）	販売量の動き	・次世代ネットワークサービスの販売動向は、あまり変わらず推移している。		
		観光名所（案内係）	お客様の様子	・前月は少し良くなりそうな明るい雰囲気があったが、それほどでもなく、元に戻った感じである。		
		ゴルフ場（企画担当）	来客数の動き	・今月前半の各ゴルフ場の予約数は、前年同期比5～25%上昇しており、順調であった。しかし、中旬頃からは寒波に伴う降雪の影響があり、現時点では予算目標比でかなりのマイナスになっている。ただし、前年と比べると来場者数は好転しており、景気はあまり変わっていない。		
		住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・横ばい状態にある。		
		その他住宅 [不動産賃貸及び売買]（経営者）	お客様の様子	・株価の上昇など世間では回復傾向に向かっているようであるが、当店の来客数や客単価には表れていない。客の購買意欲は、上がっていない。		
		やや悪くなっている		百貨店（販売担当）	販売量の動き	・寒さに加えて、生活必需品等の値上がりによる影響のためか、買い控えが感じられる。
				スーパー（経営者）	お客様の様子	・中小の小売店や飲食店では、前年同月比で2けたほど来客数が減っており、大変悪い状態が続いている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明	
		スーパー（店長）	競争相手の様子	・競合店では、日配食品の特売が激しくなっている。その他の主力品でも他店を価格調査して、他店を5～10円下回る価格に変更している。その影響で、当店の日配食品の前年同月比は大幅に落ち込み、店全体の来客数も前年同月比で2%減少している。	
		乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・来客数や客の会話内容も含めて、全体的に良くない。景気の良くない話ばかりを聞く。注文があっても、経済的な車を求められることが多い。特別何かが悪いわけでもないが、景気は良くない。	
		その他小売〔ショッピングセンター〕（営業担当）	販売量の動き	・来客数は前年同月並みであるが、販売量に結び付いていない。	
		スナック（経営者）	来客数の動き	・例年2月は静かな月ではあるが、今年は天候の悪い日が多く、人出が少なく、売上は減少している。4、5月は歓送迎会の予約が入ってくると思われるため、今月は出控えていると思われる。	
		観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・前年同月比は若干プラスで推移していたが、ここに来て、宿泊客、昼食客、夕食客共に、前年同月比90～95%と減少傾向にある。前年は東日本大震災の1年後で、復興需要への期待もあったが、その効果は薄れてきている。アベノミクスの波及効果も、まだ見えてきていない。	
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・雪が非常に多く、客の動きは今一つ良くない。	
		理美容室（経営者）	来客数の動き	・例年2月は暇であるが、今年は更に来客数が少ない。	
		美容室（経営者）	来客数の動き	・例年2月の来客数は減るが、今年は更に減っている。イベントがない限り、来店しない傾向にある。	
		美容室（経営者）	単価の動き	・総理大臣が変わっても、美容院への波及効果は出てこない。	
		設計事務所（職員）	お客様の様子	・来客者の話によると、東京ではそろそろであるが、名古屋ではまだまだであると聞く。	
		悪くなっている	商店街（代表者）	販売量の動き	・競争が激しく、販売量はなかなか伸びてこない。高額品は出にくい。
			コンビニ（店長）	販売量の動き	・来客数、売上単価、買上単価共に、かなり低下している。ただし、例年の傾向もあり、それほど心配はしていない。
			コンビニ（店長）	販売量の動き	・低温のせいもあり、ソフトドリンクの売上が非常に悪い。ペットボトルでは、500ミリリットル、2リットル共に、スーパーとの価格差が以前より増しているのも、一因と思われる。
			衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・シーズン中に正規価格で買っていた客が、バーゲンで買っていく傾向がずっと続いている。客の来店回数で、売上は大きく変わっている。
			その他専門店〔貴金属〕（店長）	お客様の様子	・消費者は政治の行く先を眺めている状態であり、セール中でも売上は前年並みである。景気が良くなった実感はない。経済の活性化に期待する。
			一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・来客数が、とにかく少ない。
			一般レストラン（従業員）	来客数の動き	・雨が降ると外出しない人が多いが、寒いためもっと外出しなくなっている。
			パチンコ店（経営者）	販売量の動き	・来客数の動きが良くない。
			美容室（経営者）	来客数の動き	・景気が悪いと、パーマをかける回数は減る。景気の悪さを痛感している。
理容室（経営者）	お客様の様子		・巷には景気の良い話題が流れるが、周囲では景気の良い話は聞かれない。客は、相変わらず安い店に流れている。		
住宅販売会社（経営者）	競争相手の様子		・他業者も含めて、全般的に売上は悪い。値下げしても、今一つの状況である。		
企業動向関連（東海）	良くなっている		—	—	—
	やや良くなっている	食料品製造業（経営企画担当）	受注量や販売量の動き	・外食チェーン店などでは、来客数が伸びていると見られる。自分自身の外食機会も増えている。景気回復への期待感からか、消費意欲は上向いてきていると感じることが多い。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明		
		化学工業（人事担当）	受注量や販売量の動き	・医薬品業界には特段の変化は見られないが、政権交代による期待感から株価が上昇し、スーパー等でも財布のひもが緩んできたように思われる。		
		窯業・土石製品製造業（社員）	取引先の様子	・これまでは円高で海外製の耐火物を使用していた客が、円安によって日本製品の使用を積極的に検討するようになっている。		
		一般機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・円安になり、今まで止まっていた引き合いやプロジェクトが動き始めている。また、今までは値引きしても決まらなかった商談がまとまり、受注できている。		
		電気機械器具製造業	取引先の様子	・地域の情報通信インフラの高度化に向けた公共投資の増加により、設備投資計画が進みつつある。		
		電気機械器具製造業（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・円安傾向で、発注量が安定してきている。		
		輸送用機械器具製造業（財務担当）	受注価格や販売価格の動き	・円安により、輸出の採算が改善している。		
		輸送用機械器具製造業（総務経理担当）	受注量や販売量の動き	・多少は良くなっている。ただし、世界経済がまだ持ち直していないためか、前年の今頃と比べると悪い。		
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・不動産開発業では、マンション、戸建共に、好調な売行きである。		
		輸送業（経営者）	取引先の様子	・円高の是正を背景に、輸出型メーカーの生産量が戻ってきている。		
		輸送業（エリア担当）	取引先の様子	・電車の貨物用台車やトレーラーなど、10～15台のまとまった荷物の出荷が多く出るようになってきている。		
		通信会社（法人営業担当）	それ以外	・アベノミクスによって、消費者マインドは向上している。百貨店では、腕時計やネックレス等の高級品の売上が増えている。		
		金融業（法人営業担当）	取引先の様子	・取引先では、自動車部品メーカーの受注が総じて増加しており、工場稼働率が向上している。		
		金融業（企画担当）	取引先の様子	・これまで個人投資家は株や投資信託で損していたが、前年11月以降の円安株高の流れを受けて、損は回復しつつある。一部では儲けが出ている。消費者マインドも上がり、消費に向けた動きはより活発になると思う。		
		企業広告制作業（経営者）	それ以外	・アベノミクスへの期待が、景気を刺激している。株高や円安など、景気回復の気分が実体化したことは大きい。		
		公認会計士	それ以外	・円高の改善が見られる。		
		その他サービス業〔ソフト開発〕（社員）	受注量や販売量の動き	・大手自動車メーカー関連で、大小様々な案件の依頼がきている。		
		その他サービス業〔広告印刷〕（従業員）	受注量や販売量の動き	・やっと少し動きが出てきたようである。このまま上向きになっていって欲しいものである。		
		その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	取引先の様子	・安定した円安に対して経済界では安どの声やしきりであるが、これが安定するかどうかは疑問である。より一層の対策と、各企業の努力が必要である。金融界にも、適切な対応を要望したい。競合他社も忙しそうである。		
		変わらない		パルプ・紙・紙加工品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・新政権になり良い雰囲気になっているが、景気に具体的な変化はない。
				出版・印刷・同関連産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・取引先の飲食店の売上が、年明け以降低迷している。
化学工業（企画担当）	受注量や販売量の動き			・政権交代に伴う円安、株高は、輸出依存度が高い企業にとっては、利益貢献度が高い。しかし、原料メーカーなど生産財企業では、効果が遅れることが予測される。		
鉄鋼業（経営者）	受注量や販売量の動き			・受注量、販売量共に、前年よりも若干下回っている。悪い状況から良くなっていく兆候も、中小企業の仕事の中ではまだ見えてこない。		

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・いったん上昇した後、安定的に推移している。
		電気機械器具製造業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・円高が是正されつつあるが、為替予約などもあり、直ちに業績に反映される状況にない。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・当社は最終的には輸出商品になる部品製造メーカーであるが、為替が安定的ではないため、まだ受注に踏み切れない。数か月間は、横ばいが続いている。
		輸送用機械器具製造業（品質管理担当）	取引先の様子	・取引先の生産計画は、3か月前と比べると変わっていない。
		建設業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・下水道関係で減っている部分もあるが、一戸建てが増えてくる時期と重なり、受注量は増えてくる。
		輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・一定した傾向はみられない。
		輸送業（エリア担当）	競争相手の様子	・他社の見積を見せられ料金見直しを要請された企業が、応じられないと回答したところ、その仕事は他社に流れたとのことである。また、その仕事を受けた会社では、数か月後に再び料金見直しの要請をされ、しぶしぶ応じたようである。運賃競争はまだ続いている。
		輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・うるう年であった前年同月と比べると、営業日数が1日少ないため、発送、到着共に、物量は前年を下回っている。
		不動産業（経営者）	取引先の様子	・中小企業金融円滑化法の終了に伴い、景気は減速すると予想されるが、現時点ではその影響は表れていない。
		不動産業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・取引先は中小企業が中心であるため、円安のメリットはまだ享受していない様子である。
		広告代理店（制作担当）	取引先の様子	・企業側からの受注量は、あまり変わらず推移しているが、動きはほとんどない。
		行政書士	受注量や販売量の動き	・貨物の荷動きは、普通である。
		会計事務所（職員）	取引先の様子	・中小企業ではこれまで、役員報酬、家族給与、貸付地代・家賃で、会社の利益を調整してきた。しかし、減額を実施した後、回復していない企業がほとんどである。中堅企業では調整が難しいため行えないが、決算報告を見ると、報酬が増加に転じている企業は少ない。
		会計事務所（社会保険労務士）	取引先の様子	・売上、所得共に、あまり変動がない。
やや悪くなっている		紙加工品〔段ボール〕製造業（経営者）	取引先の様子	・取引先から、価格協力の依頼が増えており、販売価格は低下傾向にある。4月以降は、販売価格、受注量共に悪化が見込まれる。
		金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・例年ならば受注量が多くなる時期であるが、前年同月比10%程度のマイナスになっている。
		金融業（従業員）	取引先の様子	・自動車産業の取引先では、この先の目処が立っておらず、景気は若干悪い方向に向かっているとの意見が多い。
悪くなっている		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・取引先の設備投資が大幅に減ってきているため、当社の生産は少なくなり、売上も減少している。
雇用関連 (東海)	良くなっている	職業安定所（職員）	求人数の動き	・大型商業施設の開店に向けて、関連求人の動きが目立つ。
		人材派遣会社（社員）	求職者数の動き	・人材紹介の登録者に求職状況を確認すると、再就職が決まった人が多く見受けられるようになっている。
		人材派遣会社（営業担当）	周辺企業の様子	・円安による追い風を受けて、大手メーカーが増産にシフトしつつある。それにより、周辺企業にもまもなく恩恵が出てくると思われる。
		人材派遣会社（営業担当）	周辺企業の様子	・客からの引き合い件数が、増加している。
		アウトソーシング企業（エリア担当）	周辺企業の様子	・自動車産業では、このところの円安で、生産台数が上向きの傾向にある。そのため、周辺企業の業績も上向きである。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人数が伸びている。ただし、地場産業の焼き物、瀬戸物の企業では、整理的な届け出が数件出ている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	変わらない	人材派遣会社 (経営企画)	求職者数の動き	・人材ビジネスでは、需要過多であり、人材獲得競争が激しい。供給がままならないため、売上を伸ばすことは困難である。
		人材派遣会社 (経営者)	求人数の動き	・大企業ではある程度の求人を見込めるが、中小企業ではまだそこまでいっていない。それと同時に、なかなかマッチングができないのが現状である。
		人材派遣会社 (社員)	求人数の動き	・送別会、婚礼の利用状況が好調である。
		人材派遣会社 (営業担当)	それ以外	・株価の回復が印象に強い。
		人材派遣会社 (支店長)	求人数の動き	・求人数は、前年同月比90%と減少傾向である。テレマーケティング案件の比率が、5%上がっている。4月の契約更新に向けた派遣依頼の求人数の動きが、例年に比べて遅い状況になっている。
		新聞社〔求人広告〕 (営業担当)	求人数の動き	・株価上昇、円安はあるものの、仕事も生活も一進一退であり、まだ何も変わっていない。
		新聞社〔求人広告〕 (営業担当)	求職者数の動き	・大型商業施設の開業に向けて、飲食、物販の新規求人の動きが目立つ。製造関連の求人は、相変わらず厳しい状況にある。
		職業安定所(所長)	求人数の動き	・新規求人数は、前月と比べてやや減少している。自動車部品等の製造業では、円安に伴う増産があっても、3、4次の下請ではまだその内示がない事業所が多い。また、単価の低下や原材料の高騰を背景に、新規求人があっても、非正規が中心である。一方、建設・土木等の専門職や福祉・介護関係の求人は増加している。
		職業安定所(職員)	求人数の動き	・求人数は増加しているが、当地の基幹産業である製造業の求人数は横ばいまたは減少気味であるため、あまり変わらない。
		職業安定所(職員)	雇用形態の様子	・新規求人数は増加傾向にあり、数だけを見ると採用意欲が増しているように見える。しかし、契約、嘱託、派遣社員の比率が大幅に伸びており、正社員の比率は40%台前半になっている。
		民間職業紹介機関 (営業担当)	求人数の動き	・求人数の推移を見ても、政権交代による経済効果はあまりない。
やや悪くなっている		人材派遣会社 (社員)	雇用形態の様子	・金融業界では、派遣から直接雇用への切り替えに動いていることもあり、派遣業界にとっては逆風である。
		職業安定所(職員)	求人数の動き	・求人数は増加しているが、その内容は労働者派遣業のサービス業、医療・福祉業、建設業であり、製造業は依然として前年同月比マイナスの傾向にある。そのうち医療・福祉業は、景況感に左右されることなく増加が続いている。建設業は、補正予算によって公共工事が増えたことが要因である。そのため、求人増の継続性があるかは疑問である。
		職業安定所(次長)	求職者数の動き	・求職者数の前年同月比は、平成24年10月以降、増加傾向に転じている。1月には4か月連続の増加となり、2月の暫定値も増加である。窓口の様子を見ても、年度末を待たずに、求職者で途切れることがない。その一方で、求人数の前年同月比も、上昇率は低下したものの、依然として上昇している。大規模な雇用調整の情報も、今のところない。
悪くなっている		—	—	—

6. 北陸(地域別調査機関：(財)北陸経済研究所)

(－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない)

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (北陸)	良くなっている	住宅販売会社 (従業員)	お客様の様子	・客との会話の中で、仕事が増えてきているとの話が多くなってきた。特に公共事業関係の仕事をしている人からは、人手が足りない状態になってきたとの声を多く聞くようになった。
	やや良くなっている	一般小売店〔精肉〕 (店長)	お客様の様子	・今まで以上に客の年齢層に広がりが見えてきた。客単価も少しずつ高いものが売れてきた。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		一般小売店〔鮮魚〕（従業員）	お客様の様子	・少し大きいコンベンションが2件あったためか、駅周辺は大変なにぎわいがあった。やはり人出が増え、動いてもらえると確実に売上・景気は良くなるものだと実感した。
		一般小売店〔書籍〕（従業員）	単価の動き	・久しぶりに客単価が上がっている。これだけ上がったのは本当に久しぶりである。
		百貨店（売場主任）	販売量の動き	・改装中であり、天候、気温も不安定であるが順調に推移している。顧客のモチベーションも徐々に回復しつつある。
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・株価の上昇や消費税率の引上げ前という経済効果もあって、顕著にみられるのは高額品が売れるようになってきたことである。1品単価が100万円を超える商品も売れるようになり、以前では考えられない動きがみられる。
		百貨店（売場担当）	来客数の動き	・2か月連続で売上の前年同月比が100%を超えている。来客数は前年同月比105%、総売上高も前年同月比で102%となっている。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・来客数の動きが良いほうに変わってきた。競合店の状況も踏まえてだが、品ぞろえなど客の要望に沿った成果も出ている。
		コンビニ（店舗管理）	来客数の動き	・特に良い材料は見当たらないのだが前年に比べ天候に恵まれた。この要因のみで来客数は好調であった。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・景気回復ムードと期待された新型車の発売が連動した。前月の不振をばん回して2か月累計で前年を超える実績となった。今後を期待したい。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・今月は月初より来客数が多くなり、それに伴い販売台数も増えてきた。
		乗用車販売店（役員）	来客数の動き	・季節的な要因もあるが、アベノミクスの影響で円安や株高が進行しているので、消費者心理が喚起されて好調な受注状況である。先行き懸念がないわけではないが、この最大需要期は好調に推移するようである。
		乗用車販売店（経理担当）	販売量の動き	・乗用車の販売量は前年同月比90%であった。一方、前年11月の販売量は前年同月比80%となっており、回復基調にある。
		一般レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・株価も回復しており確定拠出年金などはプラスになった、凍結していた株が売れたなど、気持ちにゆとりが出てきた影響か好調に推移した。
		都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・宿泊、宴会、レストラン各部門ともに前年同月比で増加している。
		都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・レストランの来客数が少し増えてきている。
		旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・客からのヒアリングにおいて前向きな話が多くなっている。
		タクシー運転手	来客数の動き	・今月も例年になく寒い日が続き、積雪は少なかったものの降雪日は多かったように思われる。そのため3か月前よりはやや良かった。タクシーを下駄代わりにすることが多くなっている。
		通信会社（職員）	それ以外	・円安や株高で先行きに明るい見通しがあることから、景気の浮揚に期待する声が多い。
		通信会社（社員）	販売量の動き	・ユーザーの携帯新機種への期待が高まっている。
		通信会社（営業担当）	単価の動き	・SDカード、フィルム、ケースなどといったスマートフォンの付属品が販売数、単価ともに上がってきている。
		テーマパーク（職員）	来客数の動き	・2月が春節と重なったこともあり、団体客の動きはインバウンドが前年同月比で大きく伸び、また、国内の団体客も比較的好調だったため、団体客全体では前年同月比2けたの伸びとなった。一方、個人客については、悪天候が続いたために例年よりやや鈍い動きとなったものの、個人客全体としては前年同月をやや上回る状況となった。
		競輪場（職員）	単価の動き	・客1人当たりの平均購入単価が3か月前と比較して8%増加している。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・2月の後半になってから来客数が伸び、売上、来客数とも大きく前年をクリアできそうである。
		住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・相談受付件数やプラン依頼が大幅に増えてきており、特殊業務の人員を含めた人練りや業者の手配が急務となっている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・新築工事やリフォーム工事で、消費税率の引上げの影響による受注増が見られるようになってきた。
		住宅販売会社 (従業員)	お客様の様子	・消費税率の引上げの影響か、土地を確保した具体的な計画のある客が多いと感じる。
	変わらない	商店街(代表者)	お客様の様子	・購買意欲は弱いままで、あまり変化がないように思われる。
		商店街(代表者)	競争相手の様子	・例年だと1月末から2月にかけて冬物から春夏物へと商品が入れ替わるが、今年は冬物を継続して売り続ける店が多い。百貨店もまたしかりである。まだ先物よりバーゲン品のほうが売上があるからであろうが、資金繰りから先物を仕入れられないという店もあるかと思う。
		一般小売店〔事務用品〕(役員)	販売量の動き	・例年どおり2月は売上が上がらない時期と業界的に言われているがそのとおりの推移となり、売上が悪かった。3月にはまとまったものが期待できる予定である。
		百貨店(営業担当)	単価の動き	・融けては降る雪の影響で春物の動きも鈍く、高単価商品の動きも大変鈍かった。1月からのセールの名残がある時期でもあるので、割引率の高い商品ばかり動きがみられた。
		百貨店(営業担当)	お客様の様子	・クリアランスもほぼ終盤になり、客の動きとしてはセールというより春物に移行しているが、気温がなかなか上がらないこともあり、セール品で底値になっているものの中から選んでいる。ただ、冬物のセール品もほとんど商品が残っておらず、サイズにも偏りがある。かといって春物を店頭と並べても売れる雰囲気ではない。春物も欲しいがまだまだ寒いので冬物を買いたい求めるが、店頭には冬物のセール品も少ないという状況になっており、売上につながっていない。
		スーパー(店長)	単価の動き	・客の買上点数が前年同月比で増えていない状況である。特に食品、菓子、果物で悪化している。食品系はスーパーだけでなく、ドラッグストアなど他の業態とも競合しており、必要な数量以外は買われていないのが原因かと思われる。
		スーパー(総務担当)	お客様の様子	・商品動向としては、菓子、果実といったし好品の点数が増えない状況が続いており、必需品については横ばいである。地元スーパーの店舗縮小、再生などもあり、小売業界は厳しい状況と思われる。
		コンビニ(経営者)	販売量の動き	・ここ数か月ほど前年同月比で変化はない。競合店開店の影響で2号店での売上が低いこともあり、低レベルで安定している。
		コンビニ(店長)	それ以外	・3月に向けて全面改装準備に入っており商品の売り減らしが2月10日から中旬までであったため、販売数や売上、従来の商品準備量で判断できなかった。そのため来客数や同一の客の来店頻度で判断している。その結果、何も購入せず帰った客もいたため売上の減少はあったものの、来店頻度自体は3か月前及び従来の月と変わらず減少していない。また、し好品の売上は従来どおりだった事もあり、景気自体は変わらないと判断している。
		衣料品専門店(経営者)	販売量の動き	・セールも一服し、また寒い日も多かったため、春物の先物買いが活発化せず、販売量が伸びない。
		衣料品専門店(経営者)	お客様の様子	・景気回復への期待感はあるものの、現実的には一般消費者の収入が増えているわけではなく、売上の増加まで至っていない。
		衣料品専門店(経営者)	販売量の動き	・景気の反応が非常に鈍い。起伏がない。喜びも悲しみもない。これらが2月の印象である。円安や株高の恩恵を受けている人は多いと思われるがどうなのかと考えてしまう。円安の悪い面が出ているようにも感じている。
		衣料品専門店(総括)	販売量の動き	・1人の客の買上量に変化が見られない。
		家電量販店(店長)	お客様の様子	・新生活の準備の時期だが、本当に生活に必要な最低限の物しか求めていない。前年も傾向はあったが今年は特に感じられる。
	家電量販店(店長)	販売量の動き	・省エネ家電やお掃除ロボットといった伸びている商品でなんとかカバーしている。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		家電量販店（管理本部）	販売量の動き	・ここ4か月間、前年同月の販売量と比較して変動がない。
		自動車備品販売店（従業員）	単価の動き	・依然として、大きく集客は減少していないが単価は前年同月比10%低下が続いている。客の購買意欲に変化は見られず、景気の回復は実感できない。
		住関連専門店（店長）	お客様の様子	・円安や株価の上昇はあるが、一般の客の動きまでは変わっていない。相変わらずの節約志向に変化はない。
		その他専門店〔酒〕（経営者）	来客数の動き	・昔から2、8月は暇であるといわれているが、そのとおり暇であった。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（経営者）	単価の動き	・燃料の高騰により、客の動きがやや鈍ってきている。
		その他専門店〔医薬品〕（総務担当）	来客数の動き	・冬場の買物は天候に左右されることが多い。降雪時には、当然ながら来客数は少なくなるが、晴れた日にまとめて買物をしており、月間で通してみれば来客数に変化は見られない。一時期、中国からのPM2.5が話題になり、マスクの需要は増加したが、現在は通常ベースに戻っている。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	販売量の動き	・衣料品の売上は堅調であったが、冬的生活関連品や身の回り品、防寒関連が全体的に不調であった。施設全体では販売量は横ばいである。
		高級レストラン（スタッフ）	販売量の動き	・鉄板焼き部門が昼も夜も好調で前年同月比130%近い売上増である。利用する客は個人での利用が大半だが、久しぶりに建設関係の接待も入ってきている。しかし、経営する旅館やレストラン全体をみれば、売上に大きな変化はない。
		観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・9月以降集客に苦戦している。年が明けても状況は変わらない。
		旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・季節がら来客数も増えてきているが、それ以上に安価な商品も高額な商品も客の選別が厳しく、少しでも割安感、お得感のあるものが選ばれており、客の財布のひもはまだ固いままである。
		通信会社（役員）	販売量の動き	・客の中には株価上昇に伴う保有金融資産価値の上昇を話題とする人も多いが、現状ではそれが契約数の増加につながってはいない。
		その他レジャー施設（職員）	お客様の様子	・新規会員の獲得が伸びず、会員数が増加しない。
		やや悪くなっている		スーパー（総務担当）
スーパー（統括）	来客数の動き			・ここ2年間程度、来客数は低下していたが、今月は前年同月比で見ると下げ止まっている。しかし、買上点数についてはほぼ全部門で落ちている。
コンビニ（経営者）	来客数の動き			・客単価に関してはほぼ前年並みで推移しているが、来客数は微減となっている。
通信会社（営業担当）	販売量の動き			・学生の前倒し購入が目立つ一方、通常購入が半減している。
悪くなっている		スナック（経営者）	来客数の動き	・団体客がなく、前年でも悪かった同月と比較しても売上は9割にも満たず、単月では赤字である。雰囲気だけでも明るくなっていくと話す客もいるが、それは一部業種だけではないかと思われる。実態は大変悪く感じられる。
		観光型旅館（スタッフ）	来客数の動き	・前年同月比で総売上は84%、宿泊人数は79%、宿泊単価が103%となった。企画募集が前年同月比59%と高速道路におけるバス事故でバスツアーが落ち込んでいる。また、個人客は前年同月比88%で伸ばせなかった。
		タクシー運転手	販売量の動き	・前年同月と比較して、非常に売上が落ちている。
企業動向	良く なっている	-	-	-

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
関連 (北陸)	やや良くなっている	繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・まだまだ力強さに欠け、単価は厳しいものの、受注面で少し動きがでている。
		繊維工業（経営者）	取引先の様子	・次のシーズンの前向きな商品開発の件数が多く寄せられている。
		精密機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・当社の国内向け高付加価値商品の販売量も、依然として伸び続けている。また海外事業における円安による利益貢献も少なくない。
		金融業（融資担当）	取引先の様子	・為替の動きが円高から円安へと修正されたことにより、海外への機械の輸出関連企業においてやや改善の兆しがみられる。
		司法書士	取引先の様子	・不動産登記の減少が止まったように感じる。分譲マンションの売行きも好調である。
		税理士（所長）	取引先の様子	・土木建築業の関与先で、補正予算の関係であろうが、受注量が非常に多くなっている。仕事が急に来っており、こなしきれないほどの量となっている。製造業では、間もなく年度末で足踏みの状況もみられるが、円安の方向に向かっていくと確実に思われ、新規の設備投資の動きが活発化しており期待が持てる。
	変わらない	化学工業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注量は大きく増減せず推移している。
		プラスチック製品製造業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・住宅市場は、客の情報によれば少し動き出しているが、聞いてはいるが、当社の売上についてはまだ横ばい状況が続いている。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・3か月前は年末工期の仕事を完成させるのに、天候不順のなか大変忙しかったが、今月は天候が悪いなかでの年度末工期の官庁工事や、オープン日が決まっているコンビニの工事で多忙である。
		建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・低価格の受注競争がいったん落ち着いたかに見えたが、破格の価格で見積を提出する業者があり、し烈な受注価格競争が再燃している。
輸送業（配車担当）		取引先の様子	・円安により輸出関係の商品が動くと言われるが、まだ現状では荷動きが良くなったと感じられない。	
輸送業（配車担当）		受注量や販売量の動き	・円安、株高だが現在は特に明るい兆しは見られない。さらなる軽油価格の上昇が心配される。	
金融業（融資担当）		取引先の様子	・スーパーや耐久消費財の小売店とも、売上は前年同月実績を確保することが難しい状況になっている。3か月前と比較しても上昇機運にはない。足元の景気は横ばいとみている。	
不動産業（経営者）		受注量や販売量の動き	・同業者に聞いたところ、徐々に動きが出ているとする意見と、まだ動きがないとする意見が半々だった。	
やや悪くなっている	食料品製造業（役員）	それ以外	・前月同様、販売価格は下がったままで推移している。また燃料費は前月に引き続き上がってきている。直近では毎月燃料価格の見直しが発生している。	
	一般機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・円安で景気浮揚の期待があるが、実際に取引先をはじめ企業では設備投資までには至っていない。	
悪くなっている	—	—	—	
雇用 関連 (北陸)	良くなっている	—	—	—
	やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・職種ではIT系の求人数がやや良い状況を維持しているが、今の予想ではピークは秋ごろまでであろう。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・2月の求人広告の売上は前年同月比18%の減少であったが、減少幅が縮小するなど、傾向的には上向いている。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・求人件数が増えてきている。
	変わらない	人材派遣会社（役員）	求人数の動き	・求人内容でスキルを問われるため、成約が厳しい状況は変わっていない。
		求人情報誌制作会社（編集者）	求人数の動き	・求人数がほとんど変わらない。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は増加しているものの、正社員求人の伸びは小さく、新規求人のパート、臨時求人の割合が非常に多い。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・建設業で求人が増加しており、政権交代による期待の声が聞かれる。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		職業安定所（職員）	求人数の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・新規求人数は、前年同月比で微増ではあるが増加を続けているなかで、製造業においては減少傾向が続いている。 ・製造業関連の人材紹介、派遣の依頼が増えていない。 ・特に変化はない。
		民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	
		学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	
	やや悪くなっている	—	—	—
	悪くなっている	—	—	—

7. 近畿（地域別調査機関：りそな総合研究所（株））

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連 (近畿)	良くなっている	乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・円安によるガソリン価格の高騰のためか、ハイブリッド車の売行きが良い。
		通信会社（社員）	販売量の動き	・例年2月は申込数が3割ほどダウンするが、今年は前年比で150%程度に伸びており、かなり好調といえる。
		競輪場（職員）	単価の動き	・3か月前の客単価は8,270円で、今月の客単価は9,996円と、約1,700円上がっている。
	やや良くなっている	商店街（代表者）	販売量の動き	・昨年の秋から雑貨を強化してきた結果、新規客が増加し、来客数が増えている。
		一般小売店〔鮮魚〕（営業担当）	販売量の動き	・卸売での売上はほぼ横ばいであるが、店頭の小売販売が前月よりも5%増加している。
		一般小売店〔食料品〕（管理担当）	販売量の動き	・売上は例年どおりである。
		一般小売店〔衣服〕（経営者）	お客様の様子	・来客数は減少しているが、単価にこだわらずに華やかなドレスやブラウスなどを求める客が少しずつ増えており、売上が伸びている。
		一般小売店〔家具〕（経営者）	お客様の様子	・具体的な動きではないが、雰囲気は良くなっているように感じる。
		百貨店（企画担当）	単価の動き	・新年の高額の福袋や高級時計の売行きが好調である。海外の人気ブランドに関しても、値上げ前とはいえ通常期の3倍近い売上となっている。
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・高級宝飾品や高級バッグを購入する際、同じような商品であれば、より上質で、より高額な商品を買う傾向が強くなってきている。
		百貨店（販促担当）	単価の動き	・今月は入店客数、購買客数及び客単価が前年を上回り、好調に推移している。ただし、内容は高額品の販売増加や寒気の継続によるセール売上が中心であり、手放しで上向きとはいえない。
		百貨店（服飾品担当）	単価の動き	・皮革商材などの高額品の動きが例年に比べて良くなっており、良い物ならば多少お金をかけても手に入れたという客の気分がうかがえる。
		百貨店（マネージャー）	来客数の動き	・2月に入り、冬物の最終処分については全般に動きが悪いが、一部春物のスプリングコートなどに動きが出てきている。また、今年はひな人形の動きが非常に良い。百貨店のひな人形は祖父母が孫のために購入するケースが多く、百万円を超える高額なセットも好調に推移している。美術品、呉服、輸入時計など的高額品の動きも好調である。
		百貨店（店長）	お客様の様子	・今まで購入が控えられていた高額品が、少しずつではあるものの動くようになってきている。
		百貨店（外商担当）	単価の動き	・宝飾品や海外の高級ブランド品の売行きが上向いてきている。株価の上昇が富裕層の消費マインドに大きく影響している。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・来客数は増えていないが、1人当たりの買上点数が増えており、その分1人当たりの単価が上がっている。強い寒波で来客数に影響は出たが、買物の回数が増えた分、買上点数が増えている。
		コンビニ（経営者）	単価の動き	・相変わらずファストフードの売上が好調なほか、弁当類の売上も増加しており、客単価が上昇してきている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		家電量販店（経営者）	お客様の様子	・新政権に代わってからの景気対策や円安傾向、政治の安定感からくる安心感で、消費のムードは明るくなっている。
		家電量販店（企画担当）	販売量の動き	・業界では空気清浄機の販売が好調で（花粉症、PM2.5）、売上に大きな変化が出てきている。
		乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・客の話から、今年は景気が良くなるという期待感を感じる。収入アップを見込んで消費が刺激されているのか、引き合いが増えている。
		乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・新しい政権に代わってからムードが良くなった。株価の上昇と円安の動きに表れており、非常に楽しくなるような新聞記事も多い。
		乗用車販売店（営業企画）	単価の動き	・円安の影響で自動車関連の輸出が良好である。
		乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・アベノミクスによる円安や株高により、客の購入量が増加している。
		住関連専門店（店長）	販売量の動き	・本来の目的の商品にプラス1点を購入してもらえケースが増えてきたように思う。買うかどうかを悩んだ場合、買う方に決まる客も以前より増えている。
		その他専門店〔宝石〕（経営者）	来客数の動き	・新政権のおかげで円安傾向になり、株高が進んでいるので、客の気持ちの面でのムードが非常に良くなっている。来客数も増加傾向にある。
		一般レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・1、2月共に、来客数、客単価は前年を上回っている。
		一般レストラン（経理担当）	単価の動き	・新政権になり、株安や円高の是正への期待感はあるが、円安は原材料の値上げに直結するため、給与が増えない状況ではかなりの不安感がある。客が使う金額もシビアである。
		観光型旅館（経営者）	それ以外	・京都府北部は明るいニュース（ミシュランガイドに採用、経済活性化策の策定）が続いており、少しは良くなる。
		都市型ホテル（支配人）	お客様の様子	・株高や決算見通しの上方修正などのマスコミ発表により、政権交代以降、景気は上昇傾向にある。
		都市型ホテル（総務担当）	来客数の動き	・法人の宴会予約が増加傾向にある。ただし、レストラン部門については、いまだに低迷が続いている。
		都市型ホテル（客室担当）	来客数の動き	・受験の時期でもあり、例年2月は安定している。また、今月は春節により海外からの客が増えている。
		旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・昨年来、売上が前年を上回って推移してきた海外旅行は、竹島、尖閣問題で落ち込んでいるが、1月からはその他の地域の伸びで完全にカバーされ、前年比で120%以上の伸びとなっている。特に、欧州や米国などの高額商品の受付が増加している。
		旅行代理店（店長）	お客様の様子	・客の話からも、やや良くなっている。
		旅行代理店（営業担当）	販売量の動き	・客の旅行代金の低価格志向は強いが、高額、高品質商品の販売の動きが良くなっている。
		タクシー運転手	競争相手の様子	・新しい首相が就任し、少しずつ人の動きが活発になった感はあるが、まだまだ飲食店などに出かける動きにはつながっていない。
		タクシー運転手	お客様の様子	・政権交代による期待感により、社会全体の停滞感が払しょくされつつある。客の外出機会も増加し、必然的にタクシーの利用機会も増えつつあるため、前年よりも確実に営業収入が増えている。
		通信会社（経営者）	お客様の様子	・建設業などに景気回復の期待感がある。
		通信会社（企画担当）	販売量の動き	・先日行われた展示会への来場者数が昨年よりも増加しており、市況の改善が期待できる。
		テーマパーク（職員）	来客数の動き	・来客数の伸びの勢いに、購買がまだ追いついていないように感じる。
		その他レジャー施設〔飲食・物販系滞在型施設〕（企画担当）	来客数の動き	・円安の影響か、海外からの観光客の動きが堅調である。
		その他サービス〔コインランドリー〕（経営者）	来客数の動き	・円安、株高などの影響や、マスコミによる景気回復に関する期待報道により、何となく先行きが明るくなった雰囲気を感じる。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・住宅の需要期に入り、賃貸物件の取扱が増えている。昨年と比べて、消費者の賃料に対する感覚は上がり気味に感じられる。
		住宅販売会社（従業員）	競争相手の様子	・不動産業界はアベノミクスの政策への期待を背景に、事業用地の取得競争が激しくなっており、土地価格が高騰してきている。
		住宅販売会社（総務担当）	販売量の動き	・消費税の増税に一部の客が敏感に反応し、やや上向きに感じる。
		その他住宅〔展示場〕（従業員）	来客数の動き	・2月の住宅展示場への来場者は、前年同月比で1割ほど増えている。
		その他住宅〔情報誌〕（編集者）	お客様の様子	・分譲マンションの集客状況は上向いており、販売率も好調に推移している。
	変わらない	商店街（代表者）	お客様の様子	・アベノミクスによって株価などが上がっているが、日用品などの動きに変化はみられない。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・日曜日の売上が悪い。以前よりも客足の引き始める時間が早くなっている。
		一般小売店〔衣服〕（経営者）	単価の動き	・異常な寒波のため、冬物衣料の売行きは前年比で大幅にアップしたが、その反面春物が全く動かなかった。販売数量は増加したが、単価は低下している。
		一般小売店〔精肉〕（管理担当）	お客様の様子	・12月の総選挙以来、雰囲気は良くなっていると感じているが、実際は小売市場で販売量が増えたり、来客数が増えることは全くない。ただし、2月は外国人客（中国以外のアジア圏）の利用が想像していたよりも多く、円安は具体的に外国人観光客にとってはメリットとなっている。
		一般小売店〔衣服〕（経営者）	販売量の動き	・衣料品の動きが非常に悪いが、それは季節的な理由であって、景気が数か月前と比べて悪くなっているとは感じられない。ただし、上向いている実感もない。
		一般小売店〔野菜〕（店長）	お客様の様子	・相変わらず飲食関係の動きは悪く、まだまだ改善されていない。
		一般小売店〔菓子〕（営業担当）	販売量の動き	・2月は行事もなく、販売店の動きが悪化し、売上の減少が続いている。
		百貨店（売場主任）	お客様の様子	・高額品の動きが引き続き堅調に推移するなか、今月は円安による海外ブランドの値上げ前の駆け込み需要もあり、特に動きが良かった。ただし、衣料品関係は引き続き低調で、来客数も前年を上回っていないことから、消費拡大の動きは感じられない。
		百貨店（売場主任）	販売量の動き	・郊外店舗は先月と変わらず、ほぼ前年並みで推移している。いろいろな環境も良くなってきているが、全体的には大きな変化はみられない。
		百貨店（売場主任）	お客様の様子	・今月はアパレル、雑貨共に売上が不調であり、目標を下回る見込みである。一部の高額品に好調な動きが見受けられるものの、全体的に売上が上向きとは言い難い状況にある。モノが充足しているなか、緊急に必要な商品はともかく、客はよほど魅力のある商品以外は購買に対して慎重である。
		百貨店（売場主任）	販売量の動き	・円安や、値上がり前の駆け込み需要もあり、輸入ブランド品は好調である。また、広告効果もあり、バレンタインデー関連の別会場の売上も前年を上回っているが、婦人雑貨や衣料、食料品などは低迷している。あまり気温が上がらず、春物の先取り需要は壊滅状態である。
		百貨店（営業担当）	来客数の動き	・婦人服は動き始めているが、それ以外のファッション関連が鈍い。一方、食品は堅調で、宝飾品にもやや動きがみられる。
		百貨店（売場マネージャー）	それ以外	・商品や分野によって好不調の動きが全く違う。高額品については相変わらず好調に推移しているが、ミセスを中心とした衣料については、気候の影響もあるのか低調な推移となっている。ただし、食の物産展などは大いに反響があり、少しぜいたくな消費とハイエンドの消費に大きく分かれている。
		百貨店（商品担当）	販売量の動き	・円安、株高基調ではあるが、一部の高額品に動きはあるものの、全体的には一進一退である。例年よりも気温が低い傾向も、ここにきてマイナス要因となっている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		百貨店（サービス担当）	お客様の様子	・内閣支持率の上昇や金融緩和など、景気回復への雰囲気はあるが、まだ月給アップにつながるまでには時間がかかりそうである。依然としてバーゲン品や低価格の商材が好調に推移しており、来客数も前年比で減少傾向にあるため、前年の売上実績の確保が難しい状況である。
		百貨店（外商担当）	単価の動き	・一般品の動きは変わらない。株価は上がっているが、高額品の動きも鈍い。
		スーパー（経営者）	競争相手の様子	・2月に入って、競合店の広告の売価が一段と安売りの傾向となっているため、厳しい状況が続いている。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・衣料、住居関連の季節品の動きは、冬物のセールが芳しくないほか、春物の動きもあまり良くない。食料品についても、前年の実績に少し届かない傾向で推移している。上向きの実感はいまだにない状況である。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・寒波の到来が続いているが、冬物商戦は終息の方向である。一方、春物、新生活商材の動きが悪い。
		スーパー（店長）	単価の動き	・日用品の売価は非常に厳しいが、逆に良い物の値段が下がるとよく売れるという面もある。新生活、新学期商品の動きは良いが、食品や消耗品の傾向は、より安く、より少なくというものであり、割引やポイント付与などの特典なしに売上を伸ばすのは困難な状態が続いている。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・円安基調を受けて景気回復の兆しが出始めているが、実際の現場での顧客動向をみる限り、まだまだ小売業界の景気回復の動向は楽観できない状況である。
		スーパー（企画担当）	来客数の動き	・来客数が前年比で96%という推移は変わらず、厳しい状況が続いている。
		スーパー（経理担当）	販売量の動き	・景気の上向き傾向や高額品の動きの改善などが報道されているが、全体的に売上の動きは鈍く、日用品は引き続き客の節約志向が強い。
		スーパー（広報担当）	来客数の動き	・円安や株価上昇により、全体としては明るい兆しが見られる。ただし、所得の増加につながっているわけではないので、売上、来客数は厳しい状況が続いている。気温の低い日が続いているが、冬物商品の動きも芳しくない。個人消費の回復にはまだまだ時間がかかる。
		スーパー（販売担当）	来客数の動き	・客の動きをみていると、特定の店へのこだわりはなく、ポイントが何倍であるとか、日替わり商品があったり、何%値引きといった特典がある店をみて、買い回っている。
		スーパー（企画）	単価の動き	・来客数は昨年を上回っているものの、1品単価の下落傾向は衣料、住居、食品で継続しており、客単価が上がらない。
		スーパー（社員）	来客数の動き	・厳しい寒さが続いており、これが良い影響と悪い影響を与えている。農産部門や畜産部門は気温低下による相場高で売上が堅調であるが、今冬の寒さと天候の悪さによって、来客数はあまり伸びていない。春物商材の動きも今年は遅くなりそうである。
		コンビニ（店員）	お客様の様子	・相変わらず、特価商品や値引き商品を買って求める客が目立つ。
		コンビニ（広告担当）	来客数の動き	・まだ、アベノミクスの効果の実感も消費者にはない。関西は大手電機メーカーの経営悪化による悪影響の方が、下請企業などにとっては厳しい。
		衣料品専門店（経営者）	単価の動き	・バーゲンの表示を行うと客は店に入ってくるものの、価格が合わないので、売上にはつながらない。このような客は言動や立ち居振る舞いなどで、固定客に対して悪影響を及ぼしている。一方、価格重視の購買行動のなかにも、ほんの一部であるが、品質の良い品物を求めて来店する客が出てきている。
		衣料品専門店（営業・販売担当）	販売量の動き	・冬物セールは低調に終わり、春物の出足も悪い。
		衣料品専門店（販売担当）	お客様の様子	・買い控えが続いている。
		家電量販店（店長）	販売量の動き	・映像商品（テレビ、DVD）の需要先食いによる落ち込みから回復していない。また、4月以降の電気料金の値上げにより、高単価の節電商品は販売台数が伸びているが、4月以降の需要が読めない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		家電量販店（店員）	競争相手の様子	・2月ということもあり、家電量販店では競合店の価格が荒れている。売れないということで価格を安くしすぎており、これでは価値もなくなるし、景気も良くならない。いつまでもデフレが続くだけである。
		その他専門店〔食品〕（経営者）	販売量の動き	・全体的な状況は前年と変わらない。
		その他専門店〔宝飾品〕（販売担当）	お客様の様子	・購買意欲の低さが引き続き感じられる。
		その他専門店〔スポーツ用品〕（経理担当）	販売量の動き	・インフレ傾向にあるだけで、消費にはまだまだお金が回っていない。
		高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・寒さのせい、団体客が少ない。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・平日、週末共に、顕著な変化はみられない。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・寒暖の差が激しいため、来客数が偏っているが、総合すると若干減少している。特に、夜は家族連れが減っている。
		一般レストラン（店員）	来客数の動き	・先月と同様に変化がない。
		観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・今月は春節（旧正月）による台湾、香港などからの観光客が、円安の影響もあって例年よりも多かった。ただし、日本人客も含めた総来客数は思ったよりも伸び悩み、ほぼ前年並みとなっている。
		都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・宿泊は、中国人の団体客が壊滅状態となったにもかかわらず、国内のビジネス客が好調で、インターネット販売や旅行代理店の企画商品の売上が大幅に増えている。客室単価も少し上昇している。一方、料飲部門の落ち込みが大きく、食堂はランチ、夕食共に、来客数の減少に加えて、高単価商品の注文が伸びていない。宴会も、定例の大口宴会を中心に開催中止が重なり、記録的なマイナスとなっている。
		都市型ホテル（マネージャー）	来客数の動き	・客室部門は、アジアからの外国人旅行客が昨年旧正月に比べても増加しており、堅調に推移している。レストランも全体ではほぼ昨年並みであったが、宴会部門が苦戦しており、ホテル全体での景気判断としては大きな変化はない。
		旅行代理店（広報担当）	お客様の様子	・3か月前と比べて、客によってはアベノミクスの影響がプラスに出ていて、旅行の予算が上振れしている人もいる。一方、逆に以前よりも節約ムードが強まったり、今年は旅行に行かないという声も聞かれる。
		タクシー運転手	お客様の様子	・例年に比べて寒い、近距離であっても乗ってくれる客は多い。ただし、新聞などで景気が上向きといわれているが、我々にまで回ってくるのはまだまだ先とを感じる。
		タクシー運転手	お客様の様子	・冷え込みすぎており、今後どうなるかを心配している。
		通信会社（企画担当）	お客様の様子	・株価上昇など、景気の下げ止まり感はある。
		競艇場（職員）	単価の動き	・11月の1人当たりの購買単価は1万7千円台であったが、今月の単価は2万円に回復している。
		その他レジャー施設〔イベントホール〕（職員）	お客様の様子	・イベントの入場者数にほとんど変化はみられないが、レストランや売店の売上は横ばいというよりも、やや減少気味である。これは、単価の安い物に注文が移行していることが影響している。
		美容室（店員）	販売量の動き	・特に売上への直接的な影響はないが、気分的には良好とを感じる。
		その他サービス〔ビデオ・CDレンタル〕（エリア担当）	販売量の動き	・レンタル単独店の売上が悪く、全国のレンタル売上の前年比を押し下げている。一方、書籍や文具の物販は前年に比べると健闘している。
		住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・新政権発足後、円安、株高傾向が継続しているものの、各企業が積極的な経済活動を行うようになっていくわけでもなく、特段の変化はない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		その他住宅投資の動向を把握できる者〔不動産仲介〕（経営者）	お客様の様子	・新聞やテレビの報道では全体的に景気は少し回復しているようであるが、不動産業界では、特に関西地区はあまり変わらない。
	やや悪くなっている	一般小売店〔時計〕（経営者）	販売量の動き	・来客数が少なかったわけではないが、販売量が一向に伸びなかった。腕時計や目覚まし時計などの動きがなく、電池交換ばかりで売上単価が低くなり、その結果厳しい数字となっている。今必要としていない物は買わないという、財布のひもの固さがかなり感じられる。
		一般小売店〔珈琲〕（経営者）	販売量の動き	・政権交代により円安などの変化がみられるが、日用品などの買い回り品については影響がない。全体としては、将来的に消費税率が上がることへの不安感から、買い控えが出てきているように感じる。ただし、消費増税の前にはまとめ買いの需要などが予想されるので、準備をしていきたい。
		一般小売店〔花〕（店長）	販売量の動き	・来客数は例年並みであるが、単価、販売量共に悪化している。
		スーパー（管理担当）	販売量の動き	・野菜などの値上がりも含め、買い控え傾向の強まった感がある。
		スーパー（開発担当）	販売量の動き	・余分な物を買わずに、必要な商品だけを購入しており、決して消費は増えていない。
		コンビニ（店長）	来客数の動き	・近隣の府営住宅の取り壊しや、パチンコ店の改装により、若干来客数が減少している。
		住関連専門店（店員）	それ以外	・円安が進んでおり、利益が減っている。
		その他専門店〔医薬品〕（経営者）	単価の動き	・寒さの厳しい日が続いたため、インフルエンザにかかった人が多い一方、風邪を引いた人は少なく、風邪薬などの動きは鈍かった。そのほかの商品では、用途が同じ場合は単価の低い商品を選ぶ傾向が感じられ、単価が低下している。
		一般レストラン（経営者）	競争相手の様子	・予約の難しかった、繁盛店といわれる人気店舗が飛び込みで簡単に利用できたり、安さを売りにしている店舗が軒並み閉店するなか、高価でも価値のある商品を売りにしている店舗は需要が多い。これは景気が悪い時の外食産業の傾向である。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・2月は例年よりも言葉にならないほど暇であった。
		観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・閑散期ではあるが、予想以上に予約数が伸びない。売上も今までで最低となっている。
		観光型旅館（経営者）	お客様の様子	・ガソリン価格の上昇の影響か、近隣町村や京阪神地域からの日帰り客が減っている。
		ゴルフ場（経営者）	来客数の動き	・客の来場状況、予約状況が、昨年と比べて著しく悪化している。
	悪くなっている	コンビニ（経営者）	単価の動き	・昼食時の買物が、サンドウィッチや弁当などの高単価商品から、そう菜や菓子パンのように単価の安い物に変わってきている。また、プラスチック商材のデザートを安売りしても、購入量は全盛期から30%ほど減少している。
		衣料品専門店（経営者）	単価の動き	・冬物の最終セールということもあるが、単価の安い商品しか売れない。販売量も伸びず、2月は昨年よりも売上総額が落ち込んでいるのが現状である。
企業動向関連 (近畿)	良くなっている	出版・印刷・同関連産業（情報企画担当）	受注量や販売量の動き	・4月の入学や入社資料作成関係が動き、活況を呈している。一方、弱電業界では円安になっただけにもかかわらず、輸出に対する販促物の動きはほとんどなく、新年度以降に期待している。また、住宅業界では消費税の引上げを見据えた活発な宣伝やPRにより、仕事の量が増えている。
		化学工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・年明けから曇天気だけが良くなり、荷動きは悪かったが、ここへきて3、4月は対応できないほどの注文が入ってきている。
		金属製品製造業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・建築、土木関連の受注や販売量は低調であるが、太陽光発電関連が絶好調のため、人員の移動などで生産体制を拡充している。5月には新工場が完成し、更に生産量を増やせるように準備中である。決算賞与も、正社員以外の派遣スタッフにも還元できるほど利益が上がっている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明		
やや良くなっている		金属製品製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・年度末に向けて、自動車向けの出荷が少し増えている。また、住宅向けの出荷も増えている。		
		電気機械器具製造業（経営者）	それ以外	・新政権のここまでの成功だけで取引が増えることはないが、海外の工場との取引が多く、円安の進行で利益が増えるため、とりあえず明るい雰囲気になっている。		
		電気機械器具製造業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・戸建住宅、マンション、店舗関連の受注量が増加してきている。		
		その他製造業〔事務用品〕（営業担当）	受注量や販売量の動き	・受注の動きが出てきている。		
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・土地の動きが活発になっているのか、土壌汚染調査の問い合わせが増えている。また、再生可能エネルギーの固定価格買取制度の今年度締切りに向けて、太陽光発電関連の駆け込み需要も多くなっている。		
		通信業（管理担当）	それ以外	・スーパーなどの市場の価格については、さほど高くなったとは思えず、季節が暖かくなるにつれて野菜の価格も安定し、安くなっている。		
		新聞販売店〔広告〕（店主）	受注量や販売量の動き	・昨年12月から購読数が伸びている。新規購読が増えている、購読の中止が抑えられている。折り込み件数は全体に横ばい状態ではあるが、住宅や自動車関係のチラシが多くなっている。		
		広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・広告注文の件数が、今年に入って増えてきている。		
		その他非製造業〔民間放送〕（従業員）	受注価格や販売価格の動き	・株価上昇による景気浮揚感を、少しずつであるが確実に感じ始めている。		
		変わらない		食料品製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・販売量に波があり、良い月と悪い月が交互にきている感がある。全体的には販売価格も低下傾向にある。今年の冬は気候がはっきりしているので、メリハリがあっても悪くはないが、野菜価格の高騰など当社の取扱品には良くない影響がある。
				食料品製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・取引先からの受注量が非常に少ない。
				食料品製造業（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・得意先の販売価格が下がっているにもかかわらず、販売量は3か月前と比べても変化がない。
				繊維工業（団体職員）	受注量や販売量の動き	・年間を通じての閑散期であるが、例年以上にやや需要が低迷しているようである。
パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き			・顧客によって大きな差がある。上向きと下向きの会社があり、全体的には変化がない。		
プラスチック製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き			・新政権の今後の政策への期待感か、雰囲気は悪くないが、まだ実体に結びつかない。試作の依頼や問い合わせは増加気味であるが、従来のリピート品の受注は自然減であり、一増一減で現状維持となる。		
金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き			・市況や業界の環境は非常に明るくなってきているが、荷動きが活発化するまでには、まだまだ時間がかかる。		
一般機械器具製造業（設計担当）	取引先の様子			・取引先の受注増加が見込めない。		
電気機械器具製造業（経営者）	取引先の様子			・円安、株高ということで、ムードは良い。ただし、実態はまだ変わっておらず、設備投資が出てくるのはまだ先である。		
電気機械器具製造業（宣伝担当）	受注価格や販売価格の動き			・中国からのPM2.5の飛来による影響で、空気清浄機の荷動きが活発であるが、全体的には前年割れの状況である。		
輸送用機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き			・相変わらず国内の設備投資への動きが鈍く、受注に向けての価格競争が激化している。		
建設業（経営者）	取引先の様子			・景気回復の兆しはあるが、建設業の場合は景気が回復し、設備投資計画が企画、設計された後に仕事が始まる。		
建設業（経営者）	受注価格や販売価格の動き			・住宅、商業施設、公共施設共に、単価、利益率は低調なままである。		
輸送業（営業所長）	受注量や販売量の動き			・複写機などの搬入が、例年の2月に比べて微増となっている。		

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		金融業（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・円安の進行が予想より早く、取引先には警戒心がある。価格についても為替動向を注視している。
		不動産業（営業担当）	取引先の様子	・円安や株高により、消費者マインドが少しは好転している。土地の価格も下げ止まりつつあるが、事務所や住宅の賃料が下落しているなど、実体としては悪い。
		広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・年度末に向かって、広告出稿の大きな動きはみられない。
		経営コンサルタント	受注量や販売量の動き	・家電メーカーや関連会社のコンサルタントをしているが、業界では大手の大赤字などもあり、長らく低迷が続いている。
		コピーサービス業（店長）	受注量や販売量の動き	・数字的に目立った変化はないが、客との会話や雰囲気を見合わせると、やや上向きな印象が感じられる。
		その他サービス〔自動車修理〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・景気が良くなる要素が何もない。
		その他サービス業〔店舗開発〕（従業員）	受注量や販売量の動き	・駅構内の店舗については、飲食店舗は前年並みとおおむね好調であるが、物販店舗は前年比で90～98%と総じて不調である。バレンタインデー商戦も低調に終わるなど、1月の初売りとクリアランスセールとの反動減が続いている感がある。
		その他非製造業〔機械器具卸〕（経営者）	取引先の様子	・株高、円安の効果が出ていると思われるが、現状は実感がない。
	やや悪くなっている	繊維工業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・値引きを求められ、単価が維持できないケースが増えている。円安のために原材料や加工代が上がってきているが、コスト増加分が販売価格に転嫁できていない。
		一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・当社の主な取引先が大手同士で合併したため、多くの投資計画や取引が見直されている。多くの案件が保留となっており、受注が先延ばしされている。
		電気機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・受注が落ち込んでいる。
		輸送業（商品管理担当）	受注価格や販売価格の動き	・毎年であるが、2月は荷物の量が少ない。
	悪くなっている	広告代理店（営業担当）	取引先の様子	・12、1月はセール時期であるため、それに比べると2月は特に数字が下がる。
		輸送業（営業担当）	取引先の様子	・他社に客が流れているようであり、売行きが悪い。
雇用関連 (近畿)	良くなっている	—	—	—
	やや良くなっている	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・2月に入って、年度末までの案件で忙しくなっているが、4月以降の案件も出そろってきている。特に、公共事業、福祉関係、不動産関係など、2014年度の消費税アップを見越しての動きが出てきている。
		人材派遣会社（役員）	採用者数の動き	・求人に対するマッチングが増え、成約案件もわずかずつつではあるが、確実に増えてきている。
		人材派遣会社（支店長）	求人数の動き	・建設、土木関連を中心とした受注が増えている。
		人材派遣会社（営業担当）	それ以外	・円安、株高で好況感が感じられる。
		新聞社〔求人広告〕（管理担当）	求人数の動き	・当社が取り扱う中小企業が主体の求人広告は、3か月前の水準を安定的に上回っているなど、景気は上昇している。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は前年比で増加している。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・1月の新規求人数は12か月連続で対前年同月を上回り、昨年10月頃から鈍化していた伸びも3か月ぶりに2けた増となり、正社員求人の増加も目立つ。減少傾向にあった製造業からの求人も3か月ぶりに増加に転じたほか、建設業や卸売・小売業からの求人が大幅に増加するなど求人の動きは活発となっている。新規求職者数についても引き続き減少していることから、景気についてはやや上向きという感触を受ける。
		民間職業紹介機関（職員）	求人数の動き	・建設関連の日雇い労働者不足が指摘されながらも、いくらかは求人数が増えている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		民間職業紹介機関（大学担当）	採用者数の動き	・13年3月卒業の学生の動きは落ち着きつつあるが、14年3月卒業の学生に対する採用活動が活発になってきている。
		民間職業紹介機関（営業担当）	求人数の動き	・求人数が増加している。
		学校〔大学〕（就職担当）	周辺企業の様子	・2～3か月前よりも、近隣の港に入港する中国や韓国からのコンテナ船が増え、大型船での荷動きが活発になっているように感じる。
	変わらない	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	周辺企業の様子	・3月に向けて決算時期に入るため、求人の動きは低迷している。ただし、大阪では梅田や阿倍野地区で、大型プロジェクトの動きに対応した求人の動きが出ている。
		新聞社〔求人広告〕（営業担当）	求人数の動き	・新聞への求人広告の出稿量で見ると、政権が代わって増加したと言いたいところであるが、まだ大きな変化は感じられない。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数の動きについては、医療・福祉、建設業、卸売・小売業の求人は増加しているが、製造業の動きが悪化している。
		民間職業紹介機関（支社長）	求人数の動き	・新規雇用の需要の変化は今のところみられない。派遣などの非正規社員には動きがみられるが、正社員の採用には依然として慎重姿勢である。
	やや悪くなっている	人材派遣会社（支店長）	周辺企業の様子	・年度末ということもあるが、周辺企業では事業所の閉鎖や業務縮小といった組織変更の動きが出てきており、派遣のニーズが多少減ってきている感がある。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	それ以外	・新聞広告の動きをみると、大阪の地元企業の動きは前年比で8割程度である。特に、関西の地場産業の動きが鈍い。
	悪くなっている	—	—	—

8. 中国（地域別調査機関：（社）中国地方総合研究センター）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向 関連 (中国)	良くなっている	—	—	—
	やや良くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・昼時の来客数が以前に比べて確実に増えている。
		商店街（代表者）	それ以外	・土日集中ではあるが来街者の多さが感じられる。また株高、円安傾向のためか高額品の売上も堅調である。
		一般小売店〔印章〕（経営者）	来客数の動き	・会社、個人ともに印鑑の注文が増えて景気が良くなっている。
		一般小売店〔紙類〕（経営者）	来客数の動き	・道路の新規開通があったため県北部からの客が増えている。
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・前年同月比で110%を超えてきており、100%を上回る店舗が3分の2を超えている。昨年この時期は落ち込んでいたので一概に良くなっているとは言えないが、売上は回復基調にある。
		百貨店（営業担当）	単価の動き	・販売客数は減少しているが、客単価は特にデザインブランドで上昇している。財布に余裕がある客はまとめ買いの頻度も高い。
		百貨店（購買担当）	お客様の様子	・天候の関係で寝具関係は厳しい状況であるが、衣料品は春物が順調である。今年のアパレル業界の仕掛けとしてきれいな色目の商品を打ち出しており、景気の良さを表すように客の購買意欲が高い。コートやジャケットといった高額商品も売れている。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・食料品は若干販売量が増加しているが、衣料品や住居余暇商品は前年と比較しても販売量が伸び悩んでいる。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・全体的に来客数は増加している。朝と昼に工事現場からの客が多く、弁当やカップ麺、珈琲飲料の売上が好調である。
		衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・2月の売出しでは来客数も上がり単価の高い品物が出ている。
衣料品専門店（地域ブロック長）	来客数の動き	・来客数が増加しており、政治の影響もあって景気が良い。		

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		家電量販店（企画担当）	来客数の動き	・季節的な要因を差し引いても来客数がやや増加してきている。
		乗用車販売店（店長）	お客様の様子	・政権交代の影響か、来場者数が増え、成約に至るまでの時間が以前よりも短くなっている。
		自動車備品販売店（経営者）	お客様の様子	・来店客の様子が変わりつつある。話す内容が悲観的、否定的だった前年までとは違って変わって、期待感があり、明るい話が増えた。
		その他専門店〔海産物〕（経営者）	お客様の様子	・まだ売上が増えるところまではいかないが、今月の中旬くらいから客の様子がやや観光に向けて動きだしている。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（支配人）	販売量の動き	・政府の経済対策のアピールが心理的に多少影響しているのか、特に生活必需品の売上増加が見られる。ただし、高額品や単価の高い飲食、食品の購買意欲の向上には至っていない。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（運営担当）	来客数の動き	・前年同月よりも来客数は確実に伸びており、売上増にもつながっている。
		高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・週末の家族客、平日は予約なしの来客数が増えている。
		一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・気候が春めいてきた関係からか、客に明るさが感じられる。店舗利用時も1人当たりの利用金額が上昇している。
		一般レストラン（外食事業担当）	単価の動き	・今月に入り宴会の数が増えており、前年より2けたの伸びで景気が上向いている。客単価も上がっている。
		その他飲食〔サービスエリア内レストラン〕（支配人）	販売量の動き	・以前に比べ買上点数が増加しており、気候が良くなり気温が上がると客も増え、売上は上がる。
		観光型ホテル（支配人）	販売量の動き	・宿泊、宴会部門とも堅調である。特に宿泊は震災被災地からのツアーが2月だけで延べ400人が来館し、宴会も大型の特需物件が受注できた。
		都市型ホテル（企画担当）	来客数の動き	・宿泊客数、レストラン客数、企業宴席も若干伸びている。
		タクシー運転手	お客様の様子	・売上は前年の104%である。
		テーマパーク（広報担当）	来客数の動き	・ここ数年に比べて暖かい天候に恵まれ、また人気イベントを期間延長して実施している影響もあり、前年に比べて大幅に来場者が増加している。
		その他レジャー施設（アミューズメント）	来客数の動き	・11月から継続して来店客数が増加している。前年比30%増となっており、客単価の伸びはあまり大きくないが、娯楽目的で来店する客が増えている。
		設計事務所（経営者）	競争相手の様子	・消費税の駆け込み需要が発生している。
		設計事務所（経営者）	お客様の様子	・耐震改修への意識が官・民ともに高まっており、補助金を使つての工事が増えている。
		設計事務所（経営者）	来客数の動き	・戸建て住宅やオーナービルを消費税増税前に建築したいというクライアントからの引き合いが増えている。
		住宅販売会社（販売担当）	お客様の様子	・商談で前向きな発言が増えている。
	変わらない	商店街（代表者）	来客数の動き	・地方都市の中心市街地での来客数と売上が増加している様子は感じられない。
		商店街（理事）	来客数の動き	・寒さで客足はよくない。必要な商品だけを購入するという客がほとんどである。
		商店街（代表者）	単価の動き	・アベノミクスの影響で景気が上向いているという報道があるものの、客は将来に不安を感じており気持ちはまだ購買に向いていない。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・寒い冬であるが、人通りは例年と変わらない。
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・春物需要は気温の上昇に併せて徐々に高まっているが、バレンタインギフトや雑貨・インテリア等の動きは依然として鈍い。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		百貨店（販売促進担当）	お客様の様子	・前年の大雪と打って変わり、本年はほとんど積雪のない天候で推移している。その中で期待していた春物の立ち上がりは、婦人服を中心に低迷している。購買も単品中心の動きで、本当に必要なものしか買わないといった購買姿勢が強まってきている。客単価が低下傾向にある。
		百貨店（売場担当）	販売量の動き	・2月はハンカチなどのギフト商材は前年並みで推移したが、手袋や冬物ストールなどのセールが急失速している。11月から好調であった防寒系の勢いが収束し、やや前年を下回る見込みである。
		百貨店（売場担当）	来客数の動き	・今月末での閉店発表以降、多数の客が来店した。特殊な状況なので景気判断はできないが、当店の状況とすれば良い。
		百貨店（売場担当）	販売量の動き	・ブランド品やサンゴのアクセサリは売れているが、先行きは不明である。
		百貨店（販売担当）	来客数の動き	・客単価は前年を維持しているものの、客数が前年からマイナス2%と、来客数の減少により売上も苦戦している。
		百貨店（営業推進担当）	お客様の様子	・客の品物を選ぶ姿が慎重である。
		スーパー（店長）	単価の動き	・1人当たりの買上点数に変化はない。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・この半年は来客数が前年の98～99%で推移している。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・前年と比較して客数が減少傾向にある。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・来店客数が前年を下回っている。
		スーパー（総務担当）	販売量の動き	・生鮮の価格上昇で単価は上昇しているが、点数は伸びていない。
		スーパー（業務開発担当）	来客数の動き	・消費者の財布のひもは固く、必要なものを必要な量だけできるだけ安く買うスタンスは変わっていない。現状は非常に厳しい。
		スーパー（販売担当）	お客様の様子	・客数は依然として減少傾向にあり厳しいが、客1人当たりの購買点数並びに購入単価は若干ながらも上がってきている。総体的に景気の回復を実感するまでには至らないものの、景気の後退は感じられない。
		スーパー（販売担当）	来客数の動き	・来客数に変化はない。
		スーパー（管理担当）	来客数の動き	・客数減少、客単価維持の傾向に変わりはない。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・来客数の減少傾向は止まったが、上向きに転じていない。
		コンビニ（副地域ブロック長）	来客数の動き	・売上の前年割れが継続している。競合店の出店が大きく影響している。
		コンビニ（地域ブロック長）	来客数の動き	・客数の減少を客単価増で支えている。
		衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・今のところ大きな変化はない。
		家電量販店（店長）	販売量の動き	・省エネ商品の売上は好調であるが、テレビの落ち込みをカバーできるほどではない。
		乗用車販売店（統括）	販売量の動き	・2月の販売量は前年比90%と、エコカー補助金終了以降、前年割れが続いている。
		乗用車販売店（副店長）	来客数の動き	・来客数は前年と変わらない。クリーンディーゼル補助金が終わることも影響している。
		その他専門店 [和菓子]（経営者）	来客数の動き	・大きな変化はないが、客数は微増で推移している。
		その他専門店 [布地]（経営者）	お客様の様子	・一般市民は景気が良くなったという感じを受けていない。何かのきっかけで景気回復を感じれば消費は増える。
		一般レストラン（エリア担当）	来客数の動き	・週末の集客が悪くなっている。家族連れが減っている。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・株価の上昇や円安・景気対策などにより景気が良くなると思っていたが、冷静に見ると来客数も変わらないし、客の話を聞いても景気に変化はない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		都市型ホテル (スタッフ)	お客様の様子	・新政権になり景気回復が期待されるが、ホテルへの影響はまだ先の話である。
		都市型ホテル (総支配人)	来客数の動き	・宿泊客数は12月以降ずっと前年比2%程度落ちている状況である。
		都市型ホテル (企画担当)	お客様の様子	・円安、株価上昇とはいえ、灯油や水、光熱費は値上がり傾向にあり、給与も上がらず個人の消費意欲は萎縮している。
		通信会社(企画担当)	お客様の様子	・年度区切りに向けて必要なサービスの更新について考えるという客はいる。現状維持ではなく、必要であれば検討するという前向きな様子に見える。
		通信会社(営業担当)	お客様の様子	・年々多様化・複雑化する分野に対応が不十分なため、客が困惑している状況が続いている。
		テーマパーク (業務担当)	来客数の動き	・2月は期間を通して雪や雨が少なく、週末の天候が安定したことや花修景に関する報道周知の効果もあり、来園者数は前年に比べ2倍に伸びるなど、引き続き好調である。
		テーマパーク (管理担当)	来客数の動き	・今月は寒さも影響してか来客数が伸びない。前年同月と比べて微減で推移している。
		美容室(経営者)	お客様の様子	・客の様子に変化はない。
		美容室(経営者)	競争相手の様子	・新しいメニューを入れたり、客へのサービスを変更しても、最初の食いつきがよくてもあまり売上は伸びない。
		その他サービス [介護サービス] (介護サービス担当)	お客様の様子	・客との話のなかで、景気の変化が見られるような内容は聞かれない。
		設計事務所(経営者)	お客様の様子	・目立った経済の変化はない。
		住宅販売会社 (従業員)	お客様の様子	・客の購買意欲が若干出てきているものの、依然として慎重な動きがみられる。
住宅販売会社 (営業担当)	お客様の様子	・来場者の動きから特に変動要素が見当たらない。		
やや悪くなっている		一般小売店 [靴](経営者)	販売量の動き	・商店街の既存空き店舗に加え、売り物件が増えている。
		一般小売店 [茶](経営者)	販売量の動き	・政権が変わって景気が良くなる期待ムードはあるが、実際はますます消費は冷えている。先月も今月も前年を割っている状況である。
		一般小売店[酒店] (経営者)	来客数の動き	・1~2月は寒さが影響して来客数が少ない状態であった。全体的に人の動きが悪く、景気回復の実感もなく、節約志向が強い。
		一般小売店[酒店] (経営者)	販売量の動き	・料飲店の売上がさらに悪化している。企業の閉鎖などの影響もあり、外食に金が回らないのか、なかなか売上が上がらない。
		スーパー(店長)	来客数の動き	・食料品、特に珈琲や調理用油などのし好品の販売量の落ち込みが著しい。無理な安売りをしなくなっただけから客がディスカウントショップに流れている状況である。精肉や鶏肉の動きが特に鈍くなっており、他店よりも価格が高いところは、客数、点数ともに大きく落ち込みを続けている。
		スーパー(財務担当)	販売量の動き	・価格競争の激化による単価下落と、節約により買上点数が減少している。
		その他専門店 [時計](経営者)	販売量の動き	・客数と買上単価が低調である。円安は一般的に燃料代などが値上がりして悪影響である。
		タクシー運転手	来客数の動き	・運行回数が減少しており、客の様子に先行きの明るさは見えない。
		タクシー運転手	来客数の動き	・世間に不景気感が浸透している。
		通信会社(広報担当)	販売量の動き	・新商品の発売前の段階であり、他社攻勢にあっている。
		通信会社(工事担当)	販売量の動き	・契約数が想定以下になっている。
		ゴルフ場(営業担当)	来客数の動き	・閑散期であり、天候不順もあって客の動きが悪い。
悪くなっている		商店街(代表者)	販売量の動き	・政権交代があったにもかかわらず、景気上昇の実感はない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		自動車備品販売店（経営者）	来客数の動き	・来客数が前年度よりも減少している。
		住関連専門店（営業担当）	来客数の動き	・チラシを打つ回数を増やしても客が増えない。
		一般レストラン（経営者）	販売量の動き	・株価上昇や円安で景気が良くなる雰囲気がある。
		旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・12月の総選挙以来、客の動きが止まっている。株高、円安で状況が変わると期待しているが、現在のところ動きがない。
		競艇場（職員）	販売量の動き	・3か月前のG1レースの売上が多かった反動で今月はあまり良くない。
企業動向関連 (中国)	良くなっている	輸送用機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・地元の大手自動車メーカーが好調で受注量が増加している。機械加工で住宅関係も増えている。
		建設業（総務担当）	取引先の様子	・型枠工事や軽量鉄骨下地工事等の協力業者は、1年先にかけて工事予定が詰まった状態で、職人不足が深刻な状況になっている。仕事はあっても工期内に完了できない恐れがあり、受注を控える必要性が出てきている。
		通信業（営業企画担当）	取引先の様子	・製造系の客を中心に年度内の予算消化に向けた設備投資に関する受注と、来期に向けた設備投資に関する引き合いが順調に増加している。
やや良くなっている		木材木製品製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・財政政策による景気上昇や円安による輸出企業の利益増への先行期待がある。
		化学工業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・国内の素材産業等に景気回復の実感はまだないが、川下産業に景気回復の兆しがある。
		鉄鋼業（総務担当）	それ以外	・依然として見通し以下の受注水準が続く。
		鉄鋼業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・円高是正等により輸入鋼材の相対的競争力が低下しているものの、自動車メーカーを中心に、輸出産業の競争力がアップしている。
		非鉄金属製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・自動車関連では製品により販売量の増減が分かれるが、電子機器関連では予想以上に増加が続いている。
		電気機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・前期より受注の確度が高い商談となっている。その反面、円安基調がいつまで続くのか見極めたいという動きもある。まだ受注価格には反映されていないが、受注量には改善、増加の兆しがある。
		金融業（自動車担当）	取引先の様子	・自動車メーカーは最近の円安により輸出採算が好転し、受注台数もほぼ計画通りで推移している。協力先の部品メーカーでは売上高は前年並みであるが、コスト削減効果もあって収益面では前年比プラスで推移している。
		不動産業（総務担当）	それ以外	・来店数と成約件数が増加している。
		広告代理店（営業担当）	取引先の様子	・春の足音が聞こえてくるシーズンで、広告関連事業での取引先の動向や出稿状況の流れ、営業での募集も増加傾向であり、クライアントからの直接電話依頼も増えている。販売告知広告や求人広告、イベント告知広告、大学や専門学校広告などの依頼も増加している。
		会計事務所（職員）	取引先の様子	・天候の影響からか小売・医療サービス関係は客足が鈍っている。しかし、製造業や公共工事関連では大きな金額の確保はないものの、前年より受注状況が活発化してきている。自動車の板金・修理も例年になく順調な出足になっている。
変わらない		食料品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・特売状況などに現状では大きく変動がない。
		繊維工業（統括担当）	受注量や販売量の動き	・景気が改善しつつあるが、当業界ではまだまだである。
		化学工業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・国内経済は株高や大幅な円安により景気浮揚の期待があるが、まだ具体的な受注量増加につながらないのが実情である。また、取引先は輸入材料の値上がり分を価格に転嫁できないので、仕入れ価格の値下げを要請してくる。
		金属製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注量は生産能力の60%程度しかなく、依然として厳しい状況が続いている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		輸送用機械器具製造業（経営企画担当）	受注量や販売量の動き	・超円高の是正で受注量が安定しており、ノックダウン向けも回復してきている。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・デパートは閉店セールで売上が上がったようであるが、建設関係は停滞している。
		輸送業（業務担当）	取引先の様子	・円安になり約1か月が経過したが、取引先の企業の輸出数量がまだ増加しない。
		輸送業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注量に変化がない。
		通信業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・例年であれば年度末に向けた営業活動で通常月より受注量、受注高が上昇すると期待したものの、相変わらず設備投資が進まない状況で伸び悩んでいる。3月期末も期待が薄い。
		金融業（営業担当）	取引先の様子	・多くの取引先と面談する機会があり、以前より経営者の心理が明るいと感じる。しかしながら、月次の業況でみると具体的に数字が改善するまでには至っていない。また、景気回復の指標である設備投資についても、まだまだ盛り上がり欠けており、3か月前と大きく変化しない。
	やや悪くなっている	農林水産業（従業者）	それ以外	・1月と10月を比較すると水揚げ数量790tの増加、水揚げ金額1,695万円の減少である。1月単月の前年比では水揚げ数量270tの減少、前年の87.6%、水揚げ金額では1億5,700万円の増加、前年の142.8%である。
		食料品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・年末の買いだめがあり、1～2月の売上は伸び悩んでいる。
		窯業・土石製品製造業（総務経理担当）	受注量や販売量の動き	・計画量を上回る生産量をこなしてきていたが、2月は焼却場新設の工事も終わり、鉄鋼向けの需要も大きな変動がなく生産量は減少している。
		輸送用機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注量の減少傾向が続いている。
その他製造業〔スポーツ用品〕（総務担当）		受注量や販売量の動き	・円安で輸入材料の価格が上昇しており、採算面で非常に苦しい。	
輸送業（支店長）		受注量や販売量の動き	・会社関係、個人関係とも発送個数が伸び悩んでいる。取引客数は前年並みであるが、発送個数が減少している荷主が増えている。	
悪くなっている		—	—	—
雇用関連	良くなっている	—	—	—
(中国)	やや良くなっている	求人情報誌製作会社（サイト運営担当）	採用者数の動き	・中途採用の募集メディアが好調である。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	雇用形態の様子	・地場大手の運送会社が運転手の確保に困っている。他社による好条件の引き抜きもあって運転手不足が恒常的になっていて新たな確保が難しい。その分、物流が動いているということである。
		民間職業紹介機関（職員）	求職者数の動き	・求職希望者数が前年比で減少しており、実際に求人企業側も応募者数が漸次低下している模様である。
	変わらない	人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・3か月前と比較しても求人の動きは横ばいであり、景気は変わっていない。
		人材派遣会社（営業担当）	周辺企業の様子	・企業の方からのヒアリングで、景気や状況が良くなったという声を聞かない。
		求人情報誌製作会社（広告担当）	採用者数の動き	・求人数は前年と比べて若干の伸びがみられるものの、求職者側と雇用側のスキルやキャリアにおけるミスマッチが多く見受けられる。
求人情報誌製作会社（採用支援担当）	求人数の動き	・新卒採用に関しては元々底堅い動きをしていたため、最近の景況感の改善に伴う変化はあまり感じない。新規で弊社メディアを使いたいという話はあまりない。		
新聞社〔求人広告〕（担当者）	求職者数の動き	・有効求人倍率は上昇しているが、企業の人員整理の動きが落ち着き、新規求職者が減ったことが倍率を引き上げている。まだまだ本格的な回復ではない。		

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		職業安定所（雇用開発担当）	求人数の動き	・新規求人数が前年同月比、前月比とも増加となった。特に前月比は5か月ぶりに増加に転じた。建設関係と医療福祉関係が増加しているが、製造関係と販売関係は前年同月比で減少しているため変わらないとした。
		職業安定所（産業雇用情報担当）	求人数の動き	・1月の新規求人数は3か月前に比べ8.3%増となっているが、臨時雇用の募集が多く、正社員求人は依然として少ない。
		民間職業紹介機関（人材紹介担当）	周辺企業の様子	・株高や円安の影響で景気が回復していくように思われるが、製造業を中心とした輸出産業の業績に大きな変化が見られない。
		学校〔短期大学〕（学生支援担当）	求人数の動き	・政権が変わって明るい雰囲気はあるようだが、まだ具体的なものが見えてきていない。
		その他雇用の動向を把握できる者〔労働機関〕（職員）	求人数の動き	・物流センター新設に伴う大量募集があった運輸業や、比較的好調なコールセンター向けの派遣業からの求人増加があったが、製造業を始め他業種が低調だったため求人全体では緩やかな増加にとどまった。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	やや悪くなっている	職業安定所（産業雇用情報担当）	求職者数の動き	・新規求職者が3か月前と比べて約23%増加しており、今後も店舗閉鎖に伴う求職者が増える。
	悪くなっている	—	—	—

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向 関連 (四国)	良くなっている	○	○	○
	やや良くなっている	商店街（代表者）	それ以外	・ようやく経済政策が動き出した感があるが、円安や電力会社の値上げは特に内需型産業や流通小売業にとってはマイナス材料だ。株価上昇が可処分所得の増加につながり、消費を刺激することを期待したい。
		商店街（事務局長）	来客数の動き	・人の動きが以前より活発化しており消費マインドは上向いていると思われる。しかし、公共料金、原材料の値上げや消費税増税等の先行き不安から、店頭売上には厳しさが感じられる。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	来客数の動き	・春に向けて、開店・送別・卒業などの商品の予約や注文が増えている。また、繁華街の人出も増えてきた。
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・毎日来店する客も見受けられる。また、購入量も増えてきている。
		コンビニ（店長）	来客数の動き	・出勤前と帰宅時に立ち寄る来店客数が伸びており、特に建設関係者の来店が増加している。身の回りでも住宅の建築工事をよく見かけようになった。
		乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・自動車販売市場全体は厳しさを増してきているが、軽自動車は普通自動車などに比べて落ち込んでいない。人気車種では需要に供給が追い付かず登録に結び付かないものが多くある。
		乗用車販売店（役員）	販売量の動き	・2月に入り、モデルチェンジした主力車種が好調で受注・販売とも伸びているが、全体としては前年を割っている。エコカー補助金終了の影響は大きく、景気が上向いているとはいえないと思う。
		観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・宿泊者数も宴会等も、昨年より増えてきている。景気がやや良くなってきた感があり、消費者がお金を使おうという雰囲気になっている。
		通信会社（企画）	お客様の様子	・価格がやや高い商品を出したところ、予想以上に反応が良い。
		競艇場（職員）	販売量の動き	・2月の売上は、前月比22.6%減、3か月前比10.3%増、前年比1.0%減となった。引き続き堅調に推移しており、売上は前年並みか前年以上に戻りつつある。
		美容室（経営者）	お客様の様子	・卒業式などを控え、2月後半から忙しくなっている。
		設計事務所（職員）	競争相手の様子	・公共事業の発注量が増加しており、受注量も増えてきている。年度末は繁忙期であるが、例年以上の仕事量を受注している。
		変わらない	商店街（代表者）	来客数の動き
一般小売店〔酒〕（販売担当）	販売量の動き		・料飲店への納品の動きが悪い。	
一般小売店〔書籍〕（営業担当）	販売量の動き		・店頭売上、外商売上ともに前年を割っているが、下旬以降は回復傾向にある。	
百貨店（総務担当）	来客数の動き		・為替が円安になり、一部の輸入雑貨が2月15日より値上げされた。それに伴う駆け込み需要があり、好調に推移している。	
百貨店（企画担当）	お客様の様子		・寒さが続いていることから冬物はいまだ好調であるものの、春物の動きは悪く、全体として良いとはいえない。	
スーパー（店長）	単価の動き		・商品単価の下落が続いており、全般に景気は低調である。	
スーパー（店長）	販売量の動き		・売上の前年比推移が3か月前と変わらない。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		スーパー（企画担当）	お客様の様子	・来店客数は前年より増えている店舗が出てきているが、購入金額が伸びないために売上高は前年を割り込む状況が続いている。価格の安い店を回る行動が定着しているように感じる。来客数増の要因にはコンビニの改装閉店も影響しているようだ。
		スーパー（財務担当）	販売量の動き	・来店客数は前年と比べて増加したが、売上は若干減少しており、トータルではほぼ前年並みである。
		衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・2月は天候不順や大型ショッピングセンターの影響により厳しかった。
		家電量販店（店員）	来客数の動き	・例年、2月はシングル需要で来客数が増えるのだが、今年は出足が鈍い。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・政府の経済政策が注目されているが、販売量は少し上向いた後に頭打ちとなった。3月の決算期を控えているが、動きが悪い。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・ガソリン価格が上昇しており、新車の販売はハイブリッド車の比率が高まっている。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（副支配人）	来客数の動き	・来客数はやや増加しているが、動きに力強さが無い。
		その他飲食〔ファーストフード〕（経営者）	単価の動き	・キャンペーンを開始しても以前のように来客数の増加につながらない。買い控えされているように感じる。
		通信会社（営業担当）	販売量の動き	・前月比に大きな変動は見られない。
		ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・週末の客が少ない傾向が続いている。客単価も下落しており、先行きも厳しい状態が続くのではないかと考える。
		美容室（経営者）	販売量の動き	・前年同月と同じ水準である。
		住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・来場者数は増えているが、受注にはつながっていない。
		やや悪くなっている		一般小売店〔酒類〕（経営者）
スーパー（人件）	販売量の動き			・1～2月にかけて前年割れが顕著になっている。先行き不安が不要なものを買わない行動につながっている。
都市型ホテル（経営者）	来客数の動き			・政府の経済対策で明るい雰囲気になっているが、まだ地方には及んでいない。来客数が伸びず、単価も落ち込んでいる。
旅行代理店（支店長）	お客様の様子			・円安の影響で、個人や団体の海外旅行の申込がかなり減少している。海外で日本人が被害に遭った事件の影響もあるようだ。
タクシー運転手	お客様の様子			・3か月前よりも乗客数、単価ともに悪くなっている。建設業関係の利用が少なくなっていることが、一番響いている。
悪くなっている		一般小売店〔菓子〕（総務担当）	販売量の動き	・客単価が下がり、買い控え等の傾向も続いている。
		衣料品専門店（総務担当）	販売量の動き	・前年と比べて客単価が大幅に下がっている。購入点数は変わらないが、より安い商品の購入に流れ、全体の売上を押し下げている。
企業動向関連 (四国)	良くなっている	食料品製造業（商品統括）	受注量や販売量の動き	・販売量が前年を上回ることが多くなり、安定しつつある。
		一般機械器具製造業（経理担当）	それ以外	・円安によって輸出採算性が向上し、価格競争力が回復している。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・再生可能エネルギーの固定価格買取制度が徐々に浸透してきているため、たくさんの受注がある。倍々ゲームのような感覚で、太陽光発電の設備工事が出てきている。
	やや良くなっている	繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・東北地域からの発注や小売店での販売が、引き続き好調に推移している。最近、低価格商品から高額商品へと売れ筋がシフトしつつある。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		木材木製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・円安・株高でムードが大分良くなっている。昨秋からの復興需要に加えて、消費税増税前の駆け込み需要も始まっている。住宅着工数が、ここ4か月で前年比10%以上増加しており、明るい見通しが出てきた。
		電気機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・官公庁や国公立大学からの需要が増え、良くなってきた。
		通信業（部長）	受注量や販売量の動き	・年度末需要もあると思われるが、それだけでなくタブレット端末を中心とした引き合いが増えており、今後もこの傾向は続くと感じている。
		金融業（融資担当）	取引先の様子	・政権交代によって株価が上昇し、公共工事も増加することが見込まれ、個人消費も増えると予想される。
		不動産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・最近は、問い合わせや来客数が増えている。消費マインドが上がっているようであり、不動産も、購入意欲が上昇しているように感じる。
		公認会計士	取引先の様子	・関与先の試算表内容を見ると、若干ではあるが、赤字企業が減少している。やや回復の兆しが出てきたと感じる。
変わらない		農林水産業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・燃油価格の高騰が生産量に影響している。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・依然として受注状況は悪い。特にギフト関係は引き合いも少なく、落ち込み幅が大きい。
		鉄鋼業（総務部長）	受注量や販売量の動き	・昨年の円高の影響が現在も続いている。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注が伸びない。
		輸送業（経営者）	取引先の様子	・株価が上昇して、雰囲気はかなり良くなっているが、中小企業には良い影響がまだ現れていない。
		輸送業（支店長）	取引先の様子	・荷主の生産調整が再開されたことや、公共事業発注量が伸びない影響を受けている。
やや悪くなっている				
悪くなっている				
雇用関連 (四国)	良くなっている			
	やや良くなっている	人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・短期の雇用も含まれているが、全体として求人数がやや増加傾向にある。
		求人情報誌（営業）	周辺企業の様子	・周辺企業において採用活動が活発になっているが、必要な人材を充足できていないケースも多い。
		職業安定所（職員）	それ以外	・1月の月間有効求人倍率は、0.95倍で、3か月前より0.07ポイント上昇している。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・有効求人倍率は過去最高水準となっている。また、正社員求人割合も上昇している。
	変わらない	人材派遣会社（営業）	求人数の動き	・今の時期は、正社員の求人よりも年度末の繁忙期に合わせた期間雇用の求人が目立つ。求職者の状況をみると、即戦力になる人材が不足傾向にあると感じる。
		新聞社「求人広告」（担当者）	周辺企業の様子	・年度末を控え、追加広告出稿が期待される時期だが、好調なのは自動車販売店くらいで、小売業や地方公共団体などは不調である。
		民間職業紹介機関（所長）	周辺企業の様子	・政権が代わって、景気の高揚感も出ているようだが、地方まで経済効果が波及してくるのは、数年先になるのではないかとこの経営者が多い。
	やや悪くなっている	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・多くの企業が新政権による金融緩和策や内需刺激策を期待しているが、実体経済の波及の遅れや中小企業金融円滑化法の終了が大きな懸念材料になっている。海外の景気減速といったリスク要因もあり、中小企業経営者は慎重な見方を崩していない。先行き不透明感から、採用募集を手控えている状況が続いている。
	悪くなっている			

10. 九州（地域別調査機関：（財）九州経済調査協会）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向	良くなっている			

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
関連 (九州)	やや良くなっている	商店街（代表者）	お客様の様子	・高額品の動きが若干ではあるが、やや良くなっている。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・自由民主党に政権が移ってから、客からは期待感が感じられる。
		百貨店（売場主任）	お客様の様子	・円高や株価上昇等の影響はまだ具体的に店頭には出ていないが、一部の高額品等の動きが良くなっている。
		コンビニ（販売促進担当）	販売量の動き	・先月までは量販店の特売頻度が多く、販売個数自体は横ばいだったが、今月に関しては量販店用の75円食パンの売行きが好調で、販売個数を底上げし、若干であるが売上が昨年を上回っている。
		コンビニ（エリア担当・店長）	お客様の様子	・テレビのパラエティ番組で取り上げられたデザートや総菜の効果もあり、少しずつ売上が伸びている。そのおかげで来客数も増えており、少しずつデザートや総菜の認知度が高まっている。
		衣料品専門店（チーフ）	来客数の動き	・2月後半からフレッシュアーズ等、まとめ買いの客の来店が非常に増えている。そのため単価も日々アップし続けている。
		乗用車販売店（従業員）	来客数の動き	・ディーラーが決算時期ということで、安く買えるのではないかと考える客の来店が多くなっている。
		乗用車販売店（総務担当）	販売量の動き	・今月は新車販売台数が前年を上回った。好調だった前年を超えることができたのは久しぶりであり、3か月前に比べると確実に景気は上向いている。
		住関連専門店（店長）	来客数の動き	・今年は寒さが長引いたが、今月の中旬以降は暖かさが戻ってきたため、一気に客の動きが良くなった。単価の高い商品も売れている。
		その他専門店〔コーヒー豆〕（経営者）	販売量の動き	・最近気候がだんだんと暖かくなり、客足が店に向いている。コーヒーの利用量が若干増えつつある。
		その他専門店〔書籍〕（地区支配人）	来客数の動き	・入居する館内のイベントスペースの稼働状況や隣接するレストランの来客数等が明らかに上昇基調にある。外部からの導線に近い施設は来客数の増加が見てとれる。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（広報担当）	来客数の動き	・平日の来客数が昨年を上回る日が増えつつある。しかし、客の価格に対する意識は根強く、1点単価及び客単価は上がらない。
		観光型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・当地では大きなイベントが開催され、曜日と天候にも恵まれ、過去最高の人出となった。宿泊も前年比でかなり伸びている。それに波及してレストランも好調であった。
		都市型ホテル（副支配人）	販売量の動き	・2、3月は例年の団体客を含めて予約が多く、個人の動きが非常に活発である。例年に比べて2割ほどの上昇である。
		タクシー運転手	お客様の様子	・世の中が少しずつ動いている。企業間の動きも活発になっており、人の流れが出てきている。
		通信会社（営業担当）	それ以外	・新政権となり、景気が良い方向に向かっている。どの客からも建設的な意見が出ており、明るい雰囲気になっている。
		美容室（店長）	お客様の様子	・2月は例年売上が落ちるが、今年は思いがけず良くなっている。
		その他サービスの動向を把握できる者〔介護サービス〕（管理担当）	来客数の動き	・年末年始にかけて入院等の要因で減少傾向であったが、現在増加傾向となっている。3月以降もこの状況が継続する。
		設計事務所（代表）	来客数の動き	・来客数が増えている。
		変わらない		商店街（代表者）
商店街（代表者）	来客数の動き			・今月は市議会議員選挙もあり、来街客数が大変減っている。
一般小売店〔生花〕（経営者）	販売量の動き			・後半になって、卒業式等の春の注文が入り、良くなっているが、景気が良いとはいえない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		一般小売店 〔茶〕（販売・事務）	販売量の動き	・店頭売りは例年と変わらないが、外交販売においては事務所用の給茶器がかなり普及し始めたため、通常の茶葉の売行きが減少している。味よりも便利さに動いていく現状に不安を抱く。
		百貨店（総務担当）	販売量の動き	・競合商業施設のリニューアルが行われ、他店に客が流れており、売上が全体的に低迷している。
		百貨店（営業担当）	単価の動き	・現金や掛売上の買上単価は前年を維持している。一方、これまで順調であったクレジット利用では来客数や数量はアップしたが、買上単価が減少している。また、紳士服と婦人服が苦戦していたが、客の支持が高い物産催事は好調である。食品は現金、クレジット利用共に好調である。ただクレジット利用への慎重な姿勢が目立った。
		百貨店（営業統括）	単価の動き	・来客数、買上客数は増加しているが、客単価が落ちている。主に宝飾や美術、家具関連の購買金額、単価がダウン傾向にある。
		百貨店（営業政策担当）	競争相手の様子	・当地中心の駅エリアは堅調である。昨年春以降リモデルした都心の専門店もおおむね好調を維持している。反面リモデル施策を打っていない地区の既存百貨店や専門店が全体的に苦戦が続いている。消費者の回遊の兆しはみられるが、景気そのものが上向いているとは言い難い。
		百貨店（業務担当）	お客様の様子	・株価が上がり、景況感が改善している旨の報道が多くなされているが、客の声は非常にシビアである。買物の決定にはより時間がかかる。消費税増税への懸念もある。季節の変わり目で、最終処分の商品購入にもシビアである。
		百貨店（店舗事業計画部）	お客様の様子	・必要な物だけを直前に買う傾向が続いており、余裕は感じられない。バレンタイン商戦や防寒雑貨、入学・卒業に着るスーツ等季節商材は健闘しているが、前もって買って準備する客は非常に少ない。必要になるギリギリでの購入が目立つ。
		スーパー（経営者）	お客様の様子	・ガソリンや電気等が値上がりすることで、先行きへの不安感から客は買い控えをしている。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・政権交代への期待感のなかで、株高、円安傾向にあり、全体としては景気の先行きに明るい兆しがみられるとことだが、小売については、今のところ実感はない。相変わらず、オーバーストアによる価格競争のデフレ真ただ中の状況に変わらない。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・価格への客の目が厳しくなっている。ごく一部で高価格品の動きがある。
		スーパー（店長）	単価の動き	・相次ぐ競合店の出店により、価格競争が激化している。単価を合わせることで、来客数を何とか維持できているが、単価が落ち、売上は減少している。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・競合店の出店により、来客数が軒並み前年比7%減と落ち込んでいる。1人当たりの買上点数は昨年と変わらないが、来客数の落ち込みが非常に大きい。
		スーパー（総務担当）	お客様の様子	・客単価は以前に比べ減少していない。また、来客数もほぼ横ばい状況となっており、営業実績には大きく変化はみられない。しかし、昨年以上の実績を確保するためには、価格を下げる体制を維持しなければならず、客の確保には販売促進経費も投入せざるを得ないため、厳しい状況となっている。
		スーパー（総務担当）	お客様の様子	・客の様子として、曜日ごとのイベントやチラシ等で価格の比較をし、買物をする店を替えて利用する傾向が続いている。
		スーパー（経理担当）	販売量の動き	・2月にしては暖冬のせい、鍋物材料、冬物の商材の売行きが悪い。
		スーパー（業務担当）	お客様の様子	・競合与件もなく、大きなマイナス材料は見当たらないが、生鮮食料品の価格が低迷しており、現状の来客数では平日の売上は前年比で横ばいである。
		コンビニ（経営者）	単価の動き	・コンビニエンスストアの客は大半が目的買いの客である。したがって景気が良くなると、目的の商品以外にもついで買いのプラスアルファの購入をすることが多くなっていく。ただ、現在においてはそのような状況はほとんどみられない。消費マインドは上昇に向かっているようであるが、まだ実際に客の行動にまでは現れていない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		衣料品専門店 (店長)	来客数の動き	・少しずつではあるが、客の様子が変わってきている。売上が下げ止まりとなったのか、それとも一時的なものか、売上は微々たるものであるが伸びている。
		衣料品専門店 (店員)	単価の動き	・寒さが続くので冬物衣料は動いているが、セール品なので単価が低い。春物の定価品が例年より動きが鈍く、前年の7割程度しか売れなかった。最終売上は前年並みでも、正価販売品率がかなり下がり、好景気感が薄れた。
		衣料品専門店 (取締役)	販売量の動き	・3か月前の11月は実需期であった。1、2月は大きなセールの後の端境期になるので、物の動きは極端に厳しくなった。ただ、前年実績は上回っている。景気が良くなっているのとはまた違うようで、何とも判断し難い状況である。
		衣料品専門店 (総務担当)	それ以外	・当地特有の事情としては、大きなイベントが非常に好調であったことから、ムード的には良い。ただ、現実に同業者の売上状況を聞くと、特に上場企業を中心に、前年に比べてかなり悪い状況である。それは先月、先々月より更に悪い状況になっている。
		住関連専門店 (経営者)	競争相手の様子	・毎月のキャンペーンで今月は良い数字が出た。今月は高額商品の商いができた。ただ同業者の会合でも置き家具の売行きは良くない。
		その他専門店 [ガソリンスタンド] (統括)	販売量の動き	・燃料油の仕入価格の推移に伴い、小売価格が上がり気味である。暖房用の灯油価格も値上がりし、客からは不満気味の声が聞かれる。燃料油の販売量は相対的に昨年並みである。
		その他小売の動向を把握できる者 [ショッピングセンター] (支配人)	販売量の動き	・売上高に大きな変化がない。
		高級レストラン (経営者)	来客数の動き	・今月は1月と比べて少し予約が減っている。2月24日に市議会議員選挙があり、企業があまり動かなかった。当店のような割烹料亭は、企業接待が主になるので、大きな痛手となる。
		高級レストラン (専務)	来客数の動き	・3月の会社の異動やそれを見込んで、現在は動きがない状況である。また、すごく寒いので人の出足が悪い。
		居酒屋 (経営者)	来客数の動き	・売上が前年割れとなっている店舗が多く、飲食店の稼ぎ時である週末も人の少ない日々が続いている。
		都市型ホテル (販売担当)	単価の動き	・以前とあまり変わらない状況である。政権が変わっても地方にはすぐに浸透しない。また、中小企業の景気もあまり変わらず、行政の事業も縮小している。
		旅行代理店 (従業員)	来客数の動き	・国内LCCの運行から1年が経過するが、既存航空会社に大きな影響はみられない。ただし単価は減少気味である。
		旅行代理店 (企画)	お客様の様子	・新政権に代わり、株価の上昇や円安の進行により、景気は上向きのようなのであるが、実感には至っていない。
		タクシー運転手	お客様の様子	・景気が良くなっているのかもしれないが、タクシーの動きは朝だけ、夕方だけの状況が続いている。
		タクシー運転手	来客数の動き	・今月は思った以上に客の稼働が良く、売上もアップした。ただ夜の稼働は選挙の関係で今一つだった。
		通信会社 (管理担当)	それ以外	・3か月前と変わらず資金繰りが厳しい。
		通信会社 (企画担当)	販売量の動き	・引越しシーズンという特殊要因を除くと販売量に変化がみられない。
		通信会社 (業務担当)	販売量の動き	・2月も先月同様、販売台数は昨年より落ち込みが大きい。スマートフォンの販売比率は上がっているが、従来型の携帯電話の販売が著しく低下している。週末も来客数、売上台数共に昨年の勢いはなく、全体の販売台数としては厳しい状況が続いている。
		通信会社 (総務局)	販売量の動き	・対象は個人消費者向けが大半であり、特段変化はみられない。
		ゴルフ場 (支配人)	来客数の動き	・2月は例年入場者数が最低となる。冬場の雨と寒気団が交互にくるため、ゴルフは敬遠される。昨年よりは今年のほうが雨は少なく、土日の入りは良い。しかし、月後半の市議会選挙期間中はゴルフを自粛する人が多く、客足は伸びなかった。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		美容室（経営者）	販売量の動き	・3か月前の年末と比べると、どうしても今一つ景気回復の動きが遅れている。1、2月の売上はどうしても横ばいの傾向にあるが、政府の景気対策が少しずつ功を奏しており、上向きになってくることが期待される。
		設計事務所（所長）	お客様の様子	・新政権に代わって期待感があるのか、建て替えの相談や改修等の話が若干増えている。
		住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・仲介業務やマンション、一戸建の分譲業務における客の様子をみると、景気が良いという実感はない。消費税増税前の駆け込み需要が予想されていたが、そこまでの動きは今のところみられない。静観している様子が見受けられる。
		住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・営業担当に聞くと消費税増税への関心は高まっている。ただし、現状ではそれが契約への動機づけにまでは至っていない。
		住宅販売会社（代表）	お客様の様子	・基本的にはあまり変わっていないが、消費税増税や金利の上昇を考えている客の動きが少しある。
	やや悪くなっている	商店街（代表者）	お客様の様子	・12、1月の出費が大きく、2月は客の動きがあまり良くない。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・寒い日の来客数は極端に減っており、大型店に集中している。当地ではお雛様関連の展示やイベントがあり、土、日曜日の人手はいつもより多かった。
		商店街（代表者）	販売量の動き	・3か月前に比べると年賀状などの印刷がない分、売上が減少傾向である。しかし、当社のレーザー彫刻の動きが良い傾向である。ただ、全体的には若干悪い。
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・客の購買動向がかなりシビアになってきている。例えば婦人服はジャケットとスカートの組み合わせで買っていたが、手持ちのスカートに合わせるジャケット、もしくは手持ちのジャケットに合わせるスカート、パンツ等、手持ちの物をいかに生かすかを考えている客が多い。買い方が非常にシビアになっている。
		百貨店（売場担当）	競争相手の様子	・同業の2社の様子を見ると、1社の11月の売上は前年比5.4%増、2月は同1.7%増であった。もう1社は11月が前年比4.8%増、2月は同4.0%減となっている。当社は11月が前年比3.6%増、2月が同3.5%減となった。2月に地元の大規模なイベントが開催され、来客数は前年を上回っている。客は入っているものの、売れていないという状況である。単価がダウンし、購買率もかなりダウンしている。
		スーパー（店長）	競争相手の様子	・競合店が今までのスーパーマーケットからディスカウントスーパーに業態を変更し、当店は前年比7%減で推移している。ディスカウント化にはとてもかなわない状況であり、しばらくこの状況が続く。あと2か月すると1年になるため、2か月後には昨年並みの売上となる。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・衣料品と住関連商品についての来客数の減少が顕著である。衣料品においては婦人服、子ども服、下着関係の動きが悪い。
		コンビニ（店長）	販売量の動き	・販売量は、減少する一方である。
		家電量販店（店員）	販売量の動き	・今月の景気は前年に比べて非常に悪く、12月で若干盛り返したにもかかわらず、販売量が相当な落ち込みとなっている。
		その他小売の動向を把握できる者〔土産卸売〕（従業員）	それ以外	・空港の納入先の店舗が改装しており、現在仮店舗で営業しているため、納品が少なくなって売上が落ちている。3月中旬のリニューアルオープンまで影響がでそう。
	高級レストラン（支配人）	来客数の動き	・予約数、来客数、客単価がいずれも低調である。	
	ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・地元プレー者の入場者数の動向が落ち込んでおり、県外や海外からの客も軒並み減っている。景気が良いように見えるが、実際の観光サービス業は停滞気味である。	
	悪くなっている	一般小売店〔鮮魚〕（店員）	販売量の動き	・時化のせいなのか、温暖化のせいなのか魚の入荷量が少なく、魚価は上がるはずだがそれほど上がっていない。どこの店も鮮魚が売れていないのが原因である。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明	
		衣料品専門店(店長)	乗客数の動き	・乗客がほとんどなく、たまの乗客も見ただけで売上につながっていない。	
		家電量販店(総務担当)	販売量の動き	・春需要は盛り上がり欠け、年間最需要期を迎える携帯電話も動きが悪い。	
企業 動向 関連 (九州)	良くなっている	—	—	—	
	やや良くなっている	農林水産業(経営者)	受注量や販売量の動き	・毎年のことであるが、1、2月は予想通り大変厳しい内容であった。3、4月以降は大手加工メーカーの新規の取引等が入り、また居酒屋、スーパー関連等は行楽行事等のシーズンでもあり、かなり期待できる。	
		繊維工業(営業担当)	競争相手の様子	・少しずつ受注量が増えており、同業者は忙しくなっている。例年よりも寒いことも、良い影響を与えている。	
		家具製造業(従業員)	受注量や販売量の動き	・毎年2～4月は繁忙期であるが、例年以上に受注が増えている。特に店舗用特注家具製作工場はどれも1か月以上先まで生産予定が入っており、急な納期対応が追い付かない状況である。例年の指数を100としたら120くらいの状況である。	
		一般機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・3か月前と比べて2月の実績は良くなっている。ユーザーにとっては円安が影響している。	
		精密機械器具製造業(従業員)	受注量や販売量の動き	・受注先からの要望で生産が増えている。今後の生産計画も増えつつある。	
		通信業(経理担当)	それ以外	・当社の企業年金の運用実績が期待収益を突破し、楽観シナリオの上限設定値まで達した。	
		金融業(営業)	取引先の様子	・円安により、製造業の海外生産の移転は、小休止の傾向にある。国内生産が維持されており、下請企業も安定した受注を受けている。	
		金融業(営業担当)	取引先の様子	・建設業を中心に受注工事件数、金額共に増加傾向にある。中小零細企業も全体的に建設関係の事業者は受注が増加傾向にある。また、資金需要も運転資金融資の相談が増えている。	
		金融業(調査担当)	取引先の様子	・株価上昇や円安が取引先のマインドを大きく改善している。	
		新聞社(広告担当者)	受注量や販売量の動き	・売上をけん引する通信販売や旅行が前年比10～50%増と前年を超える出稿量であった。また不動産や金融も前年を上回り、全体でも前年を上回った。	
		経営コンサルタント(代表取締役)	取引先の様子	・数字として把握できてはいないが、全般的に忙しい。若干、販売量も増えてきており、動きが出ている。不動産関係の動きも若干出てきているという話をよく聞き、本格的に景気は良くなってきている。	
		経営コンサルタント(社員)	取引先の様子	・新店の出店が始まっている。新商品の開発も少しずつ前向きに動いている。	
		経営コンサルタント(代表取締役)	取引先の様子	・取引先に業況を聞くと、良くなってきている、仕事が増えてきているという回答が多くなっている。	
		変わらない	食料品製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・販売量はここ何年かは下降気味であるが、売り方次第で売上は上がる。物産館で試食や店頭販売を行ったが、客は商品、価格に納得すれば購入する。
			窯業・土石製品製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・2、3か月前とほとんど変わっていない。世の中は円安傾向で経済も大分動いているが、焼物業界ではその傾向がみられない。特にギフトは例年に比べると落ち込んでいる。
			一般機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・あらゆる業種で設備製作や機械部品加工の受注量が伸び悩んでいる。
			建設業(社員)	受注量や販売量の動き	・官公庁の発注がなく、景気はあまり良くない。この時期、繰越工事の発注があってもいい時期であるが、なかなか発注されていない。手持ちの工事も工期を迎えている。早期の発注を期待する。
			金融業(従業員)	取引先の様子	・百貨店やスーパーでは売上がやや減少しているが、コンビニエンスストアの売上は前年を上回っている。また、住宅投資は回復傾向にある。一方、自動車関連等の輸送機械や鉄鋼関連業種の生産がやや減少し、雇用面も引き続き厳しい状態が続いている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		金融業（得意先担当）	取引先の様子	・経済関連各種指標に改善の兆しが見受けられるが、企業を取り巻く実態経済は依然として厳しい状態が続いている。景況感に大きな変化は感じることはできない。中小零細企業を取り巻く環境はますます厳しさを増しているような状況であり、事業の継続を断念する企業も発生している。当該企業を始め、取引先の業者も先行きを懸念している。
		経営コンサルタント	受注量や販売量の動き	・営業活動を行っているが、全然反応がない。
	やや悪くなっている	農林水産業（従業者）	受注価格や販売価格の動き	・円安になり、生乳販売は厳しい状況になっている。飼料の価格が上がってきており、非常に厳しい状況である。
		食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・需要がピークを過ぎたため、売上は減少している。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量と販売量の動きが止まっており、今後6月を過ぎないと動きが分からない。非常に重苦しい空気になっている。また少し動きだしたとしても、以前からすると操業に値する数字ではなく、大変厳しい局面にある。
	悪くなっている	輸送業（総務）	受注量や販売量の動き	・全体的に荷物の動きが良くない。
		輸送業（総務担当）	取引先の様子	・倉庫に預かっている荷物の荷動きが非常に悪くなっている。
その他サービス業〔設計事務所〕（代表取締役）	競争相手の様子	・国の平成24年度の補正予算で建設関係の事業が盛り込まれているが、市町村での補正予算は少なく、私たちの建設コンサルタントにも発注されていない。実態として、仕事の少ない状態は変わっていない。		
雇用関連	良くなっている	—	—	—
(九州)	やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	それ以外	・目の前の求人数が増えているわけではないが、雇用主の意識及び求職者に光明がさすのではとの明るい期待感が出ている。期待感には景気の実態よりも大事であり、この意識が全体を持ち上げることになる。
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・求人数が前年比30%増となっており、企業の求人ニーズが堅調である。
		人材派遣会社（社員）	求職者数の動き	・3月を機に転職する人が増えている。在職中にもかかわらず転職活動する人が増えている。不況で仕方なしに働いていた労働者に、転職で気分転換をしたいという余裕が出てきた。条件は良くなってはいないが、求人数は増えている。
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・既存の客からの追加注文が増えている。企業によっては10名単位で注文がある。
		人材派遣会社（営業）	周辺企業の様子	・景気が良くなるだろうといった声を聞く機会が増えた。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	それ以外	・株価の上昇や円安傾向により、景気は良くなっている。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	求職者数の動き	・地元の求人の動きはまだ弱いですが、県外からの求人数は増加傾向を示している。
		職業安定所（職員）	それ以外	・若干の変動はあるが、前年同月と比べ新規求職者数は減少している。さらに新規求人数は増加傾向にあるため、有効求人倍率は上昇しており、景気はやや良くなっている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は前年比で4か月連続増加しており、求人意欲が高まっている。
		学校〔大学〕（就職支援業務）	求人数の動き	・昨年度の求人件数は前年度を若干上回ったが、今年度の求人件数は前年度を更に上回っている。
		学校〔専門学校〕（就職担当）	求人数の動き	・サービス系や航空系、システム系を中心に前年同時期よりも採用時期が早く、採用人数が増加している。
		変わらない	人材派遣会社（社員）	求人数の動き
	新聞社〔求人広告〕（担当者）		周辺企業の様子	・求人広告の状況を見る限り、景気の回復から求人広告が増えたとは言いがたい。
職業安定所（所長）	それ以外		・例年同様、年末での離職者やそれに伴う求人等季節的な様相に特に変わった動きはない。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		民間職業紹介機関（社員）	求人数の動き	・更新確認の時期であるが3月派遣終了という客の声がある。予算がとれるかどうか等、派遣継続の確定をしたところが多くない。
	やや悪くなっている	求人情報誌製作会社（編集者）	周辺企業の様子	・例年1～3月期は求人需要が活発で、これまで当社もこの期に利益を稼ぎ出していたが、売上が低迷している。単価が下がっており、求人件数にも伸びがない。介護関係や給食関係、清掃関係等の労働集約型で、割と低賃金の業界での採用が厳しくなっている。また、建設関連の求人需要も出ているが、採用は厳しい。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	悪く なっている	民間職業紹介機 関（支店長）	求人数の動き	・求人数が全く伸びておらず、次年度へのマイナスの 影響が懸念される。

11. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (沖縄)	良く なっている	百貨店（営業企 画）	販売量の動き	・前月は衣料品のクリアランス商材の品薄で前年を 割ったが、今月に入り春物衣料品の入荷状況も改善さ れ、動向も上向きとなっている。2月は前年が閏年で あったため営業日数が1日減となっているが、店舗合 計では前年比105%の推移となる。3か月前に比べて も伸び率で上回り、上向き傾向にある。
	やや良く なっている	一般小売店〔菓 子〕	販売量の動き	・県外への出荷量が増えている。
		コンビニ（経営 者）	お客様の様子	・景気が良くなってきており、購入意欲が少しではあ るが出てきているとみられる。
		その他飲食〔居 酒屋〕（経営 者）	来客数の動き	・例年より平日の入客数が2割ほど増えている。地元 客がじわじわと平日外食に出るようになってきているよ うである。しかし、深夜の入客は以前ほどには回復して いない。
		観光名所（職 員）	来客数の動き	・来客数は増えているが、お土産などの購買が弱く なってきた。
		ゴルフ場（経営 者）	単価の動き	・来客数を増やすことよりも商品を良くして単価を アップする方針に転換したところ、来客数については あまり変わらないが、単価が上がった分だけかなり数 字は良化している。
		住宅販売会社 （総務・企画分 野）	お客様の様子	・完成見学会や建売棟等への案内や集客が、計画と比 べて悪くない状況である。建売棟への来客者の商談内 容も、真剣味があり、販売についても前向きな客が増 えている。
		住宅販売会社 （代表取締役）	来客数の動き	・住宅や民間アパート建築に関して、消費税増税前の 駆け込み需要が増えているとみられる。また弊社の営 業地域で建築需要増加がみられる。
	変わらない	スーパー（販売 企画担当）	来客数の動き	・付近に競合店の新規出店があり、前年と比較して来 客数が減少している。野菜や魚の売上が大変厳しく なっている。
		コンビニ（経営 者）	来客数の動き	・街の集客力の低下により、来客数が前年より10%減 少している。
		コンビニ（エリ ア担当）	お客様の様子	・ホットスナック商材でPBを出したところ、非常に よく売れている。値ごろ感があり購買意欲につなが ったためとみられる。値ごろ感がある商品は今後も売 れ続けると見込む。
		通信会社（店 長）	販売量の動き	・例年だと2月は販売が落ち込むが、競合他社対応の 施策の効果で前年後半からの好調が続いている。
	やや悪く なっている	その他専門店 〔楽器〕（経営 者）	販売量の動き	・前月は前年よりは売上などが良く、まずまずであ った。今月も売上や来客数はあるが、売上が安価な商品 に集中しており、売上のアップや景気回復の様相はあ まり感じられない。
観光型ホテル （マーケティング 担当）		販売量の動き	・今月の稼働率はほぼ前年同月実績並みとなっており、 稼働率の前年同月比のプラス幅が3か月前より小 さくなってきている。	
悪く なっている	○	○	○	
企業 動向 関連 (沖縄)	良く なっている	建設業（経営 者）	競争相手の様子	・マンション販売が絶好調である。
	やや良く なっている	窯業・土石製品 製造業（経営 者）	取引先の様子	・公共工事は前年より減少しているものの、民間工事 は増加している。
		通信業（営業担 当）	競争相手の様子	・協力会社等に技術要員の派遣を依頼するも、既に出 払って派遣する技術要員がいない状況と聞いている。 既に新卒者や訓練生等への求人も盛んで、1社で 20名の求人を出している企業もある、と聞いている。
変わらない	輸送業（本社事 業本部）	受注量や販売量 の動き	・物流の取扱量は、増加する食品関連と減少する家電 関連というように、業種により異なっており、総合的 には大きな増減はない。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	やや悪くなっている	食料品生産業 (総務)	取引先の様子	・ガソリン代を始め、物価の値上がり、給与に先行している感がある。取引先の量販店でも特売を減らしている。
	悪くなっている	—	—	—
雇用 関連 (沖縄)	良くなっている	—	—	—
	やや良くなっている	人材派遣会社 (経営者)	求人数の動き	・派遣依頼は堅調に続いている。1か所の派遣も追加の依頼が多い。
		人材派遣会社 (総務担当)	求人数の動き	・受注案件は、ある程度好調に維持しており、即就業の案件も増加してきている。
		求人情報誌製作 会社(営業担 当)	求人数の動き	・アルバイト、正社員共に採用する企業が増えている。
		学校[大学] (就職担当)	それ以外	・アベノミクス報道による期待感がある。
		学校[専門学校] (就職担 当)	採用者数の動き	・特にIT企業の求人が増えている。県外企業が沖縄に進出する雇用創出事業が活発になっているため、雇用数が上向き傾向にある。しかし即戦力を求めているので、新卒の採用は相変わらずハードルが高い上に柔軟性に欠けている。
	変わらない	○	○	○
	やや悪くなっている	—	—	—
悪くなっている	—	—	—	